

# 令和4年度 しまくとぅば実践教育プログラム開発事業 事業報告書 目次

## 目次

しまくとぅば実践教育プログラム開発事業 事業報告書 .....	1
1 はじめに ―発刊にあたって― .....	1
(鈴木耕太しまくとぅば実践教育プログラム開発事業プロジェクトリーダー)	
2 実施概要 .....	2
3 実践教育プログラムについて .....	4
3-1 舞踊実技 (比嘉いずみ) .....	4
3-2 舞踊創作演習 (比嘉いずみ) .....	7
3-3 舞踊実技 (嘉数道彦) .....	11
3-4 総合実習 (比嘉いずみ、嘉数道彦) .....	13
3-5 地謡実技 (新垣俊道) .....	16
3-6 琉球古典音楽研究Ⅱ (新垣俊道) .....	32
3-7 学生による授業評価アンケート .....	37
3-7-1 学生アンケート結果 (R4・前期) .....	37
3-7-2 学生アンケート結果 (R4・後期) .....	40
3-8 しまくとぅば関連授業の取り組み .....	43
3-8-1 琉球語 (仲原) .....	43
3-8-2 詞章研究 (鈴木) .....	47
4 「誇らしゃ しまくとぅば」講演会概要 .....	49
4-1 第11回講話「しまくとぅばで語る芸能人生」概要 .....	49
4-2 第12回講話「しまくとぅばと首里系組踊」概要 .....	49
5 第9回・第10回「誇らしゃ しまくとぅば」講演会講演録 .....	50
5-1 第9回講話テープ起こし .....	50
5-2 第10回講話テープ起こし .....	69
6 次年度への展望 .....	83
7 小中学生新聞 りゅうPON 連載記事・ていーち! Teach!! しまくとぅば .....	84
8 令和4年度しまくとぅば実践授業録画日一覧 .....	96

## しまくとぅば実践教育プログラム開発事業報告書

### 1 はじめに — 発刊にあたって —

鈴木 耕太（しまくとぅば実践教育プログラム開発事業プロジェクトリーダー）

「沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育プログラム開発事業」は、平成 28 年度より行われた「ハワイ大学等交流事業」の中の「しまくとぅばプロジェクト」で発足し、平成 29 年度には「ハワイ大学等交流事業 しまくとぅば実践教育プログラム開発事業」と名称を変え、平成 30 年度から「ハワイ大学等交流事業」という名称を外して現名称で活動を行ってきた。内容はこれまでと変わらず、しまくとぅば実践教育とその方法、教材研究、そして普及活動という事業内容である。本年度から琉球舞踊・組踊の講義を増やすために、あらたに嘉数道彦准教授が研究会に参加し、講義を担当いただいた。

今年度の沖縄県立芸術大学では前・後期の講義について、座学系講義は基本オンラインで行い、実技系講義は感染拡大状況を鑑みながら対面講義を行うという流れであった。昨年に引き続き本学における感染防止対策に則って、琉球芸能専攻において行ってきた、特別講師を招いての対面講義は、週に 1 度開催となったが、コロナ以前にくらべるとまだまだ不十分な学習環境となった。本年度も昨年度に引き続き「舞踊創作演習」に中曽根律子先生、久米ひさ子先生を特別講義として、時代明朗劇「夢の契り」をご指導いただいた。講義については「3. 実践教育プログラムについて」を参照していただきたい。

そして今年度も昨年に引き続き、「誇らしやしまくとぅば講演会」は本学における感染拡大防止の観点から、本学奏楽堂で観客を収容しての開催は実施せず、録画をして、すべて動画配信サイト（YouTube）を用いたネット配信を行った。本年度は琉球古典音楽太鼓の喜舎場盛勝先生と、昨年首里系組踊を指導いただいた知念積有先生をお招きした。本事業についての詳細は「5. 『誇らしやしまくとぅば』講演会」を参照していただきたい。

そして昨年度から引き続き、しまくとぅばの魅力を県内外に伝えるために、琉球新報社の小中学生向け新聞「りゅうPON!」へ 4 月から毎月 1 回、「ていーち！ Teach!! しまくとぅば」と題して身近にあるしまくとぅばや本事業に関わる内容を分かりやすく紹介した。連載記事は本書 P84 を参照していただきたい。

上記の事業を行った今年度の研究会のメンバーは以下の通りである。

鈴木 耕太（芸術文化研究所：事業代表者）

高良 則子（全学教育センター）

比嘉いずみ（音楽学部琉球芸能専攻）

阿嘉 修（音楽学部琉球芸能専攻）

嘉数 道彦（音楽学部琉球芸能専攻）

新垣 俊道（音楽学部琉球芸能専攻）

西岡 敏（沖縄国際大学教授、沖縄県立芸術大学芸術文化研究所共同研究員）

仲原 穰（県立芸大非常勤講師、沖縄県立芸術大学芸術文化研究所共同研究員）

波照間永吉（沖縄県立芸術大学名誉教授）

令和 4 年度は昨年同様、研究会は基本的にリモート開催とした。研究会は毎月 1 回の予定であったが事務調整などで合計 5 回開催となった。

令和 4 年度の「沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育プログラム開発事業」の事業計画は以下の通りであった。

1. しまくとぅば実践教育プログラム開発研究会（毎月 1 回開催）。[担当：全員]
2. 前期 4 科目・後期 4 科目の実践教育を行う。[授業実施担当：比嘉・阿嘉・新垣・嘉数]
3. 「琉球語 I」(後期開催)へゲストスピーカーを招き、「実践教育プログラム」との連携を図る。

[担当：仲原]

4. しまくとぅば講演会（第11回：2月・第12回：2月）。[担当：全員]
5. 実践教育におけるしまくとぅばキーワードの蒐集（データの集積および編集）
6. 「しまくとぅばプロジェクト」のシンポジウム参加（9月）。[担当：鈴木]
7. 札幌大学との危機言語に関する学生交流会（9月）[担当：鈴木・比嘉]
8. 「琉球舞踊実技」における副教材の研究開発（継続）。
9. 授業における教員—学生間の会話事例集の作成および刊行（継続）。

本事業は沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻という教育現場に「しまくとぅば」を導入し、教育実践することで、琉球芸能を教授するときにおいて、「しまくとぅば」でしか表現出来ない独特の「わざ」や表現を学習させ、学生の表現力や作品理解力などを総合的に高めようというねらいから行われた事業である。本年度の事業成果については、各章に詳細を掲載した。次年度以降、実践教育プログラムの対象の講義を増やしていく計画である。本年度の結果を踏まえ、よりよい教育プログラムを作成し、琉球芸能における「しまくとぅば」の用語を充実させていきたい。

## 2 実施概要

通常、しまくとぅば実践教育プログラム研究会では年間12回（毎月1回）の定例研究会において以下の事項について検討し、実施した。しかし、事務員の異動などで、令和4年度は定例研究会は5回しか開催できなかった。少ない会議回数であるが、会議以外に構成員の先生方と鈴木で細かな連絡を行い、以下のように事業を実施した。

まず、令和3年度からの変更点は、これまで対面で行ってきた「琉球舞踊実技」「組踊実技」における、特別講師を招いての実践授業について、本学における新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を行った上で、新型コロナ以前同様、毎週での対面形式での実施が可能となった点である。そして、新たに舞踊・組踊の実技教員として嘉数道彦先生に本事業への参加をしていただいた。

授業を担当する教員にそれぞれの授業を担当する「特別講師」を選定してもらい、研究会の承認を経て、「特別講師」の先生方へ事業内容を説明し、4月から半期の授業実践を担当する特別講師が決まった。特別講師は「舞踊実技（比嘉）」が宮城幸子先生、「組踊実技（阿嘉）」は金城清一先生となった。各特別講師の先生方のプロフィール等は、次の授業実践の報告に譲ることとする。また、今年度からの参加となった嘉数道彦先生の「舞踊実技」は二代目宮城能造先生をお招きして講義を行った。

「しまくとぅば講演会」については、開催そのもの方法について、本学の有観客での公演が開催できない状況が続いているため、公演内容を録画し、動画配信サイト（YouTube）において配信する、という内容で決定した。今年度は予定していた講話者の体調により、通常7月・11月という形で開催できず、第11回は令和5年2月20日に、国指定重要無形文化財「組踊」保持者の喜舎場盛勝氏を招いて行い、第12回は令和5年2月14日に首里系組踊の指導者である知念積有氏招いて収録を行った。

新型コロナウイルスの感染拡大が収束を迎えない中であつたが、少しずつ以前のようなイベント、シンポジウムなどが今年度は行われた。9月にはハワイ大学ヒロ校、ハワイ語学部の大原由美子氏からの紹介で、札幌大学のウレシバのメンバーとアイヌ語の状況、または沖縄でのしまくとぅば実践教育プログラム開発事業によるしまくとぅばを用いての講義について、お互いの意見を交換するディスカッションを開催することができた。学生間での危機言語に関する考え方や、講義についての捉え方を知る良い機会となった。

今年度の実施事項の詳細は以下の通りである。次ページに時系列で示した。

令和4年	
4月13日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
4月18日	授業録画（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
4月20日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
4月22日	第1回県芸しまくとぅば実践教育研究会
4月27日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
5月11日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
5月18日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
5月23日	授業録画（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
5月25日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
6月1日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
6月8日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
6月6日	授業録画（地謡実技Ⅲ：新垣）
6月13日	授業録画（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
6月13日	授業録画（地謡実技Ⅲ：新垣）
6月15日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
6月20日	授業録画（地謡実技Ⅲ：新垣）
6月20日	授業録画（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
6月22日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
6月27日	授業録画（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
6月27日	授業録画（地謡実技Ⅲ：新垣）
6月29日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
6月29日	授業録画（琉球古典音楽研究Ⅱ：新垣）
7月4日	授業録画（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
7月4日	授業録画（地謡実技Ⅲ：新垣）
7月6日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
7月13日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
7月13日	授業録画（琉球古典音楽研究Ⅱ：新垣）
7月18日	授業録画（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
7月20日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
7月25日	授業録画（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
7月27日	授業録画（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
9月9日	沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育プログラム 札幌大学「ウレシバ」としまくとぅば研修
9月21日	「舞踊創作演習Ⅰ」しまくとぅば事業成果撮影 芸能から受け継ぐ「誇らしゃしまくとぅば」 琉球歌劇「夢の契り」収録
9月28日	第2回県芸しまくとぅば実践教育研究会
10月3日	授業録画（舞踊実技Ⅳ：比嘉）
10月17日	授業録画（舞踊実技Ⅳ：比嘉）
10月24日	授業録画（舞踊実技Ⅳ：比嘉）
10月28日	授業録画（総合実習Ⅱ・Ⅳ：比嘉、嘉数）
11月7日	授業録画（舞踊実技Ⅳ：比嘉）

11月11日	授業録画（総合実習Ⅱ・Ⅳ：比嘉、嘉数）
11月18日	授業録画（総合実習Ⅱ・Ⅳ：比嘉、嘉数）
11月25日	授業録画（総合実習Ⅱ・Ⅳ：比嘉、嘉数）
11月28日	授業録画（地謡実技Ⅳ：新垣）
12月2日	授業録画（総合実習Ⅱ・Ⅳ：比嘉、嘉数）
12月5日	授業録画（舞踊実技Ⅳ：比嘉）
12月5日	授業録画（地謡実技Ⅳ：新垣）
12月12日	授業録画（舞踊実技Ⅳ：比嘉）
12月12日	授業収録（地謡実技Ⅳ：新垣）
12月16日	授業録画（総合実習Ⅱ・Ⅳ：比嘉、嘉数）
12月19日	授業録画（舞踊実技Ⅳ：比嘉）
12月19日	授業録画（地謡実技Ⅳ：新垣）
12月23日	授業録画（総合実習Ⅱ・Ⅳ：比嘉、嘉数）
12月26日	授業録画（地謡実技Ⅳ：新垣）
令和5年	
1月11日	授業録画（舞踊実技Ⅳ：嘉数）
1月18日	第3回県芸しまくとぅば実践教育研究会
1月18日	授業録画（舞踊実技Ⅳ：嘉数）
1月13日	授業録画（総合実習Ⅱ・Ⅳ：比嘉、嘉数）
1月23日	授業録画（舞踊実技Ⅳ：比嘉）
1月23日	授業録画（舞踊実技Ⅱ：嘉数）
1月27日	授業録画（総合実習Ⅱ・Ⅳ：比嘉、嘉数）
2月2日	授業録画（舞踊実技Ⅱ：嘉数）
2月3日	「金細工またよし」工房見学（総合実習Ⅱ・Ⅳ：比嘉、嘉数、阿嘉）
2月6日	第4回県芸しまくとぅば実践教育研究会
2月14日	第12回講話（講師：知念積有氏 聞き手：鈴木耕太） 前舞踊撮影、収録
2月20日	第11回講話（講師：喜舎場盛勝氏 聞き手：嘉数道彦）
3月6日	第11回、第12回講師の先生方にお礼状作成
3月9日	第5回県芸しまくとぅば実践教育研究会

### 3 実践教育プログラムについて

#### 3-1 舞踊実技（比嘉いずみ）

実践授業1：舞踊実技Ⅰ・Ⅳ

**授業期間** 前期：（琉球舞踊実技Ⅰ）令和4年4月18日～令和4年7月25日

後期：（琉球舞踊実技Ⅳ）令和4年10月3日～令和5年1月16日

**授業回数** 前期：8回 後期：8回（特別講師を招いての回数。講義は各全15回）

**対象学年及び受講人数** 前期：学部1年次3人 後期：学部2年次3人

#### 特別講師について

宮城幸子（みやぎ ゆきこ）89歳／「真踊流佳幸の会 会主」

昭和26年に琉球舞踊真踊流家元の真境名佳子師に入門され（芸歴71年）、昭和43年に宮城幸子琉舞道場を開設し、昭和58年に沖縄タイムス芸術選賞大賞を受賞。平成8年、沖縄県指定無

形文化財「沖縄伝統舞踊」技能保持者に認定され、平成21年には国指定重要無形文化財「琉球舞踊」（総合認定）保持者に認定、令和元年に沖縄県功労者として表彰された実績を有している。真境名佳子師からはしまくとぅばでの舞踊指導を受けており、当時の指導法を体得し、伝授できる重鎮な舞踊家の一人である。

令和3年に琉球舞踊立方として初めて国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定。

#### しまくとぅばキーワード

キーワード	意味・動作など
ドゥーテーサーニ ウビーリヨー	体で覚えなさい（体得する）
チブルヌマチジカラ チビヌミーマディ ティーチ	頭の天辺からお尻まで一つ（体の中に軸を立てる）
ネーチリイリレー アギイリレー	下腹にあげを入れなさい
クシイシヤーニ ヤファッテングァー ヒサンジャセー	腰を据えて柔らかく足を出す
メーホーヤーナラングトゥ ウッチャカレー	前のめりにならず寄りかかるだけ
ドゥーテーサーニ ヒサヒッパッティ イチュン	胴体で足を引っ張って行く
シチャワタンカイ ネーチリ イリリヨー	下腹に上げを入れなさい
クシ イシレー	腰を据えて
スリケーラン グトゥ	反り返らないように
チブルヌ マチジカラ チビヌミーマディ ティーチ	頭の頂点から、で一つにする
チュイチ ヌチュン	一息抜いて
ユルッテングァー	ゆるみをもって
ドゥーテーサーニ ウビーリヨー	体で覚えなさい
サンシンヌ チル フミヨー	三線の弦を踏むように歩く
ヤファッテングァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
ドゥーテーシ ヒッパッティ イチュン	胴体で引っ張っていく
ヤファッテングァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
シナヌ ナーカンカイ ヒサ イッティ シナ トゥバ	砂の中に足を入れて、砂を飛ばさないように足を出しなさい
サングトゥ ヒサ ンジャセー	
シチャワタンカイ ネーチリ イリリヨー	下腹に上げを入れなさい
クシ ミグラサーニ ウッチャカイル ウッピ	腰を回したら寄りかかるだけ
チブルヌ マチジカラ チビヌミーマディ ティーチ	頭の頂点から、で一つにする
ドゥーテーシ ヒッパッティ イチュン	胴体で引っ張っていく
メーンカイ ウッチャカレー	前に寄りかかりなさい
ヤファッテングァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
マルヌベーサン	全部は伸びないように（腰を入れた状態を保つ）
クシ ミグラサーニ ウッチャカイル ウッピ	腰を回したら寄りかかるだけ
リクチューアラン ドゥーテイサーニ ウビーリヨー	理屈ではなく、体で覚えなさい
ドゥーテーサーニ ウッチャカレー	胴体で寄りかかりなさい
イチ ヌジュシト マジュン シチャ ワタンカイ アギ イリレー	息を抜くのと同時に、下腹にあげを入れなさい
クシ ミグラサーニ ウッチャカイル ウッピ	腰を回したら寄りかかるだけ
ヤファッテングァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
クシ イシヤーニ ウヌマーマー ヒサ ンジャセー	腰を据えて、そのまま足を出しなさい
ウチナーヌ ジーヌーヤ リクチューアラン ドゥーテイサーニ ウビーリヨー	沖縄の芸能は、理屈ではなく、体で体得しなさい

キーワード	意味・動作など
チュヒサナー チュヒサナー	一步一步
メーンカイ ウッチャカレー	前に寄りかかりなさい
クシ ミグラサーニ ウヌマーマー ウッチャカレー	腰を回したらそのまま、寄りかかりなさい
ヤファッテングワァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
クシ イシヤーニ ウヌマーマー ヒサ ンジャセー	腰を据えて、そのまま足を出しなさい
ユイン チキヨー	余韻を聞きなさい
チブルヌ マチジカラ チビヌミーマディ ティーチ	頭のとっぺんからお尻の穴まで芯を立てる
ハニーネー ヤファッテングワァー	跳ねるときは柔らかく
クシ イシヤーニ ウヌマーマー ウッチャカレー	腰を据えたら、そのまま、寄りかかりなさい
ヤファッテングワァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
イチ ヌジュシトゥ マジュン ネーチリ イリレー	息を抜くのと一緒に、上げを入れなさい
ハニーネー ヤファッテングワァー	跳ねるときは柔らかく
クシ イシヤーニ ウヌマーマー ウッチャカレー	腰を据えたら、そのまま、寄りかかりなさい
ヤファッテングワァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
イチ ヌジュシトゥ マジュン ネーチリ イリレー	息を抜くのと一緒に、上げを入れなさい
メーンカイ ウッチャカレー	前に寄りかかりなさい
ヤーヌ ハーヤーヌグトゥ マシグ タテュー	家の柱のように、真っ直ぐ立ちなさい
ハーダーリー ナテュー ナラン	ダラダラしてはいけない
ヤファッテングワァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
シチャワタンカイ ネーチリ イリレー	下腹に、上げを入れなさい
ドゥーテイサーニ ウビーリヨー	体で覚えなさい（体得しなさい）
サンシンヌ チル フミヨー	三線の弦を踏むように歩きなさい

### 学生の反応・印象に残った言葉など

【前期】(丸数字は講義の回数 ①＝第1回講義)

- ①今回受講する学生は1年次3名(1名は濃厚接触者のため欠席)で、第1回目の授業では少し緊張気味であった。姿勢・歩み・回転の3つの基本を意識しながら歩みを重点的に繰り返し行い、宮城幸子先生に細かく一人一人ご指導いただいた。「かぎやで風(男)」の所作を再度確認した。
- ②全体的に姿勢と歩みが美しくなりつつある。目の表情が硬いので、基本の歩みと同時に修練する。
- ③宮城先生を招いての久しぶりの授業で、基本練習を中心に行った。全体的に歩みはよくなった。
- ④全体的に歩みはよくなった。背中のみもだいぶ抜けてきている。藤島さんの回転の時の足使いがまだ課題が残る。
- ⑤姿勢づくりをするときの、息の抜き方が良くなった。歩みの基本練習の時に、目の表情や瞬きにも意識を向けるよう促す。団扇の扱い方もよくなった。
- ⑥3節4節の所作、音取り、間の取り方が少し難しいように感じられた。回転の時の重心移動に課題が残る。
- ⑦歩みと姿勢は全体的によくなった。目の表情にも意識を向けるよう、宮城先生から注意があった。
- ⑧前期最後の授業は、1年生にとって、初舞台となる初任者研修(8月16日)向けの練習を行った。中里芽衣さんと宮里夏佳さんは若衆で扇子、藤島弘美さんはうみないびで団扇、2年生森山和人さんは、親雲上で扇子舞いを担当し、4人構成で演じる。前期に学んだ授業の成果が、扮装も含めて舞台上で発表できるよい機会となるよう、取り組んでほしい。

### 【後期】

- ①今回の2年次3名の受講生は、昨年につき2度目の「しまくとぅば実践授業」となるが、基本の歩み・姿勢・回転は、昨年に比べるとかなり良くなっている。基本動作の姿勢、歩み、回転がよくなってきている。
- ②「作田」では小道具の扱いが重要なので、団扇が体の一部になるように扱い方を学ぶ。
- ③学生それぞれが、自分自身の体の整え方を意識するようになってきた。基本動作の歩み、回転がよくなっている。姿勢は、猫背のためか頭部が前に倒れ、それを直すために顎が上がるので、日頃から姿勢を整える意識が必要である。
- ④基本動作の歩み、姿勢、回転がとてもよくなっている。
- ⑤「イチ ニュジュシトゥ マジュン ネーチリイリレー」というしまくとぅばが、体得できつつある。
- ⑥しまくとぅばに対する理解がだいぶできてきた。基本動作を繰り返し行うことで、根幹が安定してきた。身体の使い方のコツ(ため、ネーチリ)が掴めてきて、動きがしなやかになりつつある。
- ⑦時間をかけて基本動作の練習を行うことで、体幹がかなり安定してきた。
- ⑧琉球舞踊における基本の反復練習を行い、学生の基礎力が安定してきた。今後も基礎練習を継続して行い、根幹の安定した表現を目指してほしい。

### 今年度の授業について

#### 【前期】

前期受講した1年次(3名)は、しまくとぅばに少し戸惑いもあったが、回を重ねるごとに基本動作(姿勢・歩み・回転)が美しく整い、舞踊表現の土台となる基礎力の向上が感じ取れた。

#### 【後期】

後期受講した2年次(3名)は、昨年受講した経験があり、基本姿勢のしまくとぅば表現も身につけており、全体的に所作がとても美しくなっている。

### 次年度への展望

本事業も6年目となり、しまくとぅばによる実技指導の成果と重要性が、学生を通して感じることができた。これらの貴重な「わざ言語」の保存と継承法などを研究会で検討し、今後の伝統芸能の普及と発展につなげていきたい。

### 3-2 舞踊創作演習(比嘉いづみ)

実践授業2：舞踊創作演習I

授業期間 前期：令和4年5月11日～令和4年7月27日

授業回数 前期：15回

対象学年及び受講人数：学部3年次3人／聴講生2名

#### 特別講師について

中曽根律子(81歳)／「劇団うない 代表」

1941年本部町に生まれ、1964年(23歳)に乙姫劇団に入団。2002年の閉団までの38年間、県内をはじめ県外・海外で団員として活躍。2004年には、新たに「劇団うない」が旗揚げされ、2009年に同代表として「琉球歌劇」の若手育成を行いながら、公演活動を行っている。2011年に沖縄タイムス芸術選賞「演劇部門功労賞」を受賞し、2013年には沖縄県指定無形文化財「琉球歌劇保持者」に認定された。2016年より本学の非常勤講師として、「舞踊創作演習I」の科目で「琉球歌劇」を指導。

久米ひさ子(62歳) / 「劇団うない 団員」

1960年沖縄市に生まれ、1975年(15歳)に乙姫劇団に入団。2002年の閉団までの27年間、団員として活躍された。その後2004年に旗揚げされた「劇団うない」では、演者のみならず企画制作全般を担い、琉球歌劇を通して沖縄の豊かな文化(肝心)を次世代に継承していきたいと、若手育成にも尽力されている。2021年より、中曽根律子氏の指導助手として、琉球語と「琉球歌劇」の演技を指導。

しまくとぅばキーワード

キーワード	意味・動作など
ンジチャー ニジチャーシ ハナシヤ スンドー	動きながら話(台詞)しなさい
ンーチャー ニーダンシガ	見たことはないが
アイメー クサメー	人の前からウロウロする動作を表す言葉
ンーチャー ニーダンシガ	見たことはないが
ヒャクニチ カユティ グアワンタティル タイガ マ グクル	百日通って、願いを立てる二人の真心
タンディ ウカミガナシ サッシティ タボリ	どうか神様お察してください
タイガワカムヌ ユウチキ	二人の若者よく聞きなさい
ウククルヌフドゥ ヤグミサドゥ アイビール	お心が大変ありがたい
カミヌウヒチアワシ	神のお引き合わせ
クリーティナ シアワシナクトゥー ネーヤビラン	これ以上の幸せな事はありません
ンパセー ナラドローヤー	いやと言っははいけない
カーミヌ チビ ティーチ	あの世まで一緒(甕に入っても)
ジントー シダサギサル ナーヤッサー	本当に涼しそうな名前だな
ワーラーグワ	人と思えないような顔
チム ドンドン	気持ちがドキドキ上がる
チム ワサワサ	落ち着かない
ワーバー サーバー	余計な事
チャメチャメ	感嘆詞で場面によって意味が変わる
ミー グルグル	見渡す
ナジッテン グワァー	やわらかく
ワーバー サーバー	余計な事
ワンニン モーイブサ アシガ	私も踊りたいけど
ウママディ ウーティ チャーニ	ここまで追ってきて
シグ ブチクン テーヤ	直ぐに気絶する
ヤスンジ ドゥクル ヤサ	諦めるところだね
イメン ソーラン ガ ヤー	いらっしやいませんか
ヤサ ンチ カンゲー ヤーマー	そうだと考えて
タンカー ナー	向き合っ
ナミ ハガリレー	舌でなめられるよ
マチマチソーティ ウフイユ チカラサーンデ ウムティ	待ちに待って、大きな魚を取ったと思っ
ウティン カラヌ ウチジ シラシニ マチゲーヤ ーラン	天からのお告げに間違いはない
イシティ ヒキヨー	テンポを抑えて弾で
チュヒサ サチナライ	一足先になるね

キーワード	意味・動作など
ミーチキ トンドー	見つめているよ
ミー グルグル	目渡す
パタラゲー	ドタバタ
ウフ イーチ	ため息
ダテン	とっても
ナー クテングワー イシティ クイリ	もう少しテンポを抑えて
ミー ヒチャトーン	にらんでいる
ムノー イエー ユーサン	ものも言えない
トゥン モーイ	びっくりした
ウマンカイ イキーヨー	ここに行きなさい
ヤサ ンチ カンゲー ヤーマー	そうだと考えて
シラナミヌ ハマンカイ ユシル グトゥン	白波が浜に押し寄せるようにう
ダテン アビリヨー	大きく声を出しなさい
ワタカラ クィー ンジャチ マーニ	腹から声を出してみなさい
ナーヒン ハナヤカシ ヨーヤ	もつとにぎやかに
カンシ シーNDER	こうしてみなさい
ナーヒン クィー ンジラニ	もつと声がでないか
アビティ マーニ	歌っごらん
クィー アーチ	声を合わせて
ヌーヤタガ	何だったか
タックアユン	くつつく
ターン クーンカヤー	誰もこないのかな
カミヌ ウヒチアワシ	神の引き合わせ
バッパーチャー シマンドーヤ	間違っははいけないよ
ンバチ コームイン	ばちがあたるよ
アンヤサヤー	そうだね
シダサ ギサル	涼しそうな
シーグリサル トゥクルヌ アラー チキヨー	やりにくい所があれば、聞きなさいよ
シチャン ンージュナヨー	下を見ないで
チャー タックァーシ サンド	長くは、くっつけないで
セリフ ウビーランネー ンジュカサラン	セリフを覚えないと動かせない
グマー アッチー サン	小さく歩かないで
チュビョーウシ ウキヨー	ひと拍子おいて
アンシシ アビーネー ジョウトウヤサ	そのように歌うと上等だね
ウタイネー サンシンヌ ウーティ チューサ	歌うと三線が追っくるよ
ナーチュケン	もう一回
マキテュー ナラン ダテン アビレー	負けてはいけない、もつと歌いなさい
ウヌママ アビティ マーニ	そのまま歌っごらん
ウタヌ チビ サギンナヨー	歌の尻を下げないように
ユクシムニーヤ シミソーランハジ	嘘は言わないはずだ
イインネーシ	言ったとおりに
インドー スナ	遠慮しないで
ナマ ジュン チモー アラン	まだ、まともな精神状態ではない
トゥチチン ネーラン	突然に

キーワード	意味・動作など
ハナシヌ ナカブニ オイグトゥ	話の腰を折るから
ドマンガヤーマ	驚いて
マンダマシ ヌギトーレ	真の魂が抜けていけば
イイグリサヌ トゥクルヌ アミ	言いにくい所がありますか
クビチリドゥシ	親友
ウドウルチャーマ ンージャン	驚きながら見る
カメートン	構えている
イチチョーグトゥ ムノー イエーサニ	生きているからものも言えるだろう
ヤスンジ ドゥクル ヤサ	諦めるところだよ
チム イフナー	気持ちが変な感じ
ヒサ マチブイ スナ	足を交差させない
チョツチョ	うぐいす
イイノーシ サンティン シムンドー	言い直さなくても良いよ
ティー チカティ	空手を使って
チケー ネーミ ソーラニ	大丈夫ですか
ンパシェー ナランドー	いやだと言っではいけない
アタマニ イナグトゥ インヌ ネーランドゥ アルムン	はじめから女性と縁がない
グリー	おじぎ
ヤルムン ヤルムン	そうだそうだ
トゥメーヤー トゥメーヤー	探し探し
ンーチェー ンーダンシガ	見たことがないが
ンージャー ンージャーシ ハナシ スンドー	動きながら台詞を言いなさい
ヤラヤー ヤラヤー	そうだそうだ
トッチチン ネーラン ユシリティッチ	突然にもかかわらずお尋ねして来て
ダテン アビランネー チカランドー	大きな声を出さないと、聞こえない
カタキ	悪役
ヤーン ワンニン	あなたも私も
ヤスンジ ドゥクルヤサ	我慢するところだね
マジエー チチンデー	まづは聞いてみなさい
ンーチェー ンーダン	見たこともない
チムグリ ギーナー	可哀想に
ミーチキドゥ スンドー	見つめるんだよ
ウシクルバサーニ ハーエー ナイン	押し転ばして、走ることができる
ヤスンジ ドゥクルヤサ	あきらめるところだね
イフナークトゥ チチサクトゥ	変なことを聞いて
チム イフナー	気持ちが変な感じ(動揺)
アイメー クサメー	(人の前から)うろうろ
ナジッテングァー	柔らかく

### 学生の反応・印象に残った言葉

- ・それぞれの配役の台詞を唱えたが、ある程度台本が読めるようになっている。
- ・発声については、お腹からの声が出ていないので、時間をかけて修練が必要である。
- ・ウチナーグチ独特の発音が難しいように感じられたが、それぞれが興味を持って取り組んでいる。
- ・セリフの言い回しがよくなってきた。
- ・歌の音程がなかなかとれず、中曽根先生に繰り返し指導して頂いた。
- ・1幕の所作とセリフ・歌を繰り返し、地謡の音楽と合わせを行い、次第に発声もよくなってきた。
- ・1場のセリフをほぼ覚えたことで、動作がよくなった。
- ・発声が良くなった。
- ・全体的に動作が小さいので、大きな演技と発声を心がけるよう指導する。
- ・2幕の台詞がまだ暗記できておらず、動きができていない。
- ・発声が弱く、声が届いていない。2人のタイミングは次第に良くなった。
- ・後半部分第2幕の台詞を覚えており、動作が次第に良くなってきている。
- ・立ち方5名がなかなか揃わず、タイミングを合わせることが厳しい現状であるが、中曽根先生に代理で入っていただき、間の取り方や演技法を直に学ぶことができた。回を重ねるごとに、沖縄語や表現力が身についている。

### 今年度の授業について

時代明朗劇「夢の契り」は、登場人物が5名必要な作品のため、昨年受講した学生2名に聴講生として参加してもらい、15回の授業で沖縄語の台詞と芝居表現を学び、成果発表を兼ねた舞台収録を完了できた。

### 次年度への展望

次年度は、6名の学生が受講することが予想される。そのため講師の先生方と相談の上、早めに演目を選定し、この授業を通してウチナーグチをはじめ、芝居における心情や所作の表現方法などを体得することで、琉球舞踊や組踊における表現の幅が、広げられるよう取り組んでいく。

### 3-3 舞踊実技(嘉数道彦)

実践授業3：舞踊実技Ⅱ・Ⅳ

授業期間 後期：令和5年1月11日～2月2日

授業回数 後期：(舞踊実技Ⅱ)2回 後期：(舞踊実技Ⅳ)2回(特別講師を招いての講義回数)

対象学年及び受講人数 後期：(舞踊実技Ⅱ)学部1年次3人 後期：(舞踊実技Ⅳ)学部2年次3人

### 特別講師について

宮城能造(みやぎ のうぞう) 70歳 宮城流二代目家元

昭和28年に初代宮城能造に師事し、幼き頃から琉球舞踊をはじめ組踊、沖縄芝居など数々の舞台上で研鑽を積む。昭和45年に家元より名取(宮城能葵)を許名、昭和48年に教師免許授与、後進の育成にもあたりつつ、県内外での舞台活動を精力的に行ってきた。平成13年に、二代目宮城能造を襲名、平成30年、国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者。

しまくとぅばキーワード

キーワード	意味・動作など
<b>【舞踊実技Ⅱ】</b>	
ドゥーナ カラダンカイ ウターチ	自分の身体に合わせて
チンシ マギラングトゥ	膝を曲げないように
ドゥーイシティ	身体を落として（腰を据えて）
ヤファッテングワー	柔らかく
ティーヤ サギラン、ドゥードゥ ウトゥスル	手を下げるのではなく、身体を落とす
ミジグワーヌ タマイルグトゥシ ティーカミティ	水がたまるように（手のひらをつっぱらず）、掌を上に向ける所作
シミチリ	角切り（舞台の角を切り、斜めの導線）
ミーヌシン	目の芯
トゥイグワーヌ ンージュンネー	鳥が物を見るように（キョロキョロあちこち見ること）
チノー ドック ウチャーサンヨーイ	着物はあまり（ピタリと）重ねないように
アッチャガチー ミグランヨーイ、ニジリヌヒサイ ッティカラ	歩きながら回らないように、右足を入れてから
<b>【舞踊実技Ⅳ】</b>	
ンジグチカラ アッチャガチー アドゥムチャギティ	最初から（出羽・出てくる時から）、歩きながら、踵をあげて
カサ ウッチントゥー シミランヨーイ	笠の面がうなだれないように（下に向けないように）
ウワービンカイ ムチャギティ	上に向けて持ち上げて
アマンケー クマンケーサン	あちこち、よそ見をしない
ンマヌ キットゥビキットゥビ スンネーヤサンドー	馬が足を蹴るような足遣い（後ろに跳ねるような足）はしないよ
スーリー ナランヨーイ	体を反らさないように
ドゥーナークルッシ アッキョーヤー	自分で何事も（化粧や結髪、着付けなども）やるようにしなさいよ
ドゥーイシティ ドゥームチュン	身体を落としてから、身体を持つ
チンシ マギラングトゥ ドゥー ウトゥスン	膝を曲げないで、胴（身体）を落とす
チラー タカウチャガイ サングトゥ	顔は、上向き（顎をあげて威張り顔）にならないように
ンジグチグワーヤ ガッテングワー	出羽は軽く（軽やかに）
クファパッチランサン ユッタイクワッタインサン	固く力み過ぎずに、柔らか過ぎず
ヒサー ナガネーイサンドー	足を出しすぎない（伸ばしすぎない）
フェーシグワーヤ ダヤーナラングトゥ クィーヤアギティ	囃子は、だれないように（低く沈まないように）、声は上げて発声

学生の反応・印象に残った言葉

**【舞踊実技Ⅱ】**

音取りなど細かい点などを先生にご指導いただき、着実に仕上げに入ってきていると感じた。また、休憩中の談話のなかでも、先生の発するしまくとぅばの単語に興味を持って聞いていた。

特別講師を招いて2回のみ授業であったが、後半では学生から講師への素朴な質問もあり、先生もそれに気さくに答える感じで、和気あいあいとした雰囲気授業を進めることができた。

**【舞踊実技Ⅳ】**

手順を身につけたうえで、細かい身体の使い方や音の取り方を、先生から丁寧に指導を受けていた。また、先生の琉球舞踊をはじめたきっかけや、先達の先生方との思い出話も関心を持って聞いている印象があった。

宮城流の踊りを、家元である宮城能造先生から直接ご指導頂けることは、貴重な経験であり、授業終盤には、学生自ら先生との写真撮影を希望し撮影を行う1コマがあった。また実技とあわせ、映像鑑賞を行い、初代能造師の芸に触れるのも、意義深い時間となった印象を受けた。

**今年度の授業について**

舞踊実技Ⅱ、舞踊実技Ⅳいずれも、演目を確定後、担当教員で指導を行い、全15回のうち終盤に各二回ずつ、特別講師（宮城能造先生）をお招きした。手順等を抑えたうえで、それぞれ後期実技試験、学内演奏会などに向け、仕上げの段階として細かい点を指導して頂いた。また、実技指導の合間には、能造先生のこれまでの舞台活動や、初代能造師の芸風や芸談、また先達の先生方との共演エピソードなど貴重なお話を伺いつつ、初代の舞台映像を鑑賞するなど、宮城流の芸風に触れることができた。通常接する機会の少ない先生から直にご指導頂けることは、学生にとっても有意義な時間となっている。

**次年度への展望**

指導の要所に講師が発するしまくとぅばには、独特の表現が感じられた。しまくとぅばならではの表現を、しっかり理解し、学生の身体表現にどのように結びつけていくか、今後も引き続き本事業を通し内容を深めていきたい。

琉球舞踊や組踊においても、標準語での指導が主となっている現在、しまくとぅばを通しての指導や会話ができる先生方と接する時間は何より重要と感じている。実演に関する言葉やキーワードはもちろんのこと、日常会話として発せられる言葉を大切に受け止め、直訳にとどまらず、そのニュアンスや世界観を自ら体感することで、舞台表現に活かせる教育プログラムを目標に、引き続き取り組んでいきたいと思う。

**3-4 総合実習（比嘉いずみ・嘉数道彦）**

実践授業4：総合実習（舞踊）Ⅱ・Ⅳ

授業期間 後期：令和4年10月28日～令和5年2月3日

授業回数 後期：10回（特別講師を招いての講義回数）

対象学年及び受講人数 総合実習（舞踊）Ⅱ：3年次3人 総合実習（舞踊）Ⅳ：4年次2人

**特別講師について**

中曽根律子（82歳）

1941年本部町に生まれ、1964年（23歳）に乙姫劇団に入団。2002年の閉団までの38年間、県内をはじめ県外・海外で団員として活躍。2004年には、新たに「劇団うない」が旗揚げされ、2009年に同代表として「琉球歌劇」の若手育成を行いながら、公演活動を行っている。2011年に沖縄タイムス芸術選賞「演劇部門功労賞」を受賞し、2013年には沖縄県指定無形文化財「琉球歌劇保持者」に認定された。2016年より本学の非常勤講師として、「舞踊創作演習Ⅰ」の科

目で「琉球歌劇」を指導。

久米ひさ子(62歳)

1960年沖縄市に生まれ、1975年(15歳)に乙姫劇団に入団。2002年の閉団までの27年間、団員として活躍された。その後2004年に旗揚げされた「劇団うない」では、演者のみならず企画制作全般を担い、琉球歌劇を通して沖縄の豊かな文化(肝心)を次世代に継承していきたいと、若手育成にも尽力されている。2021年より、中曽根律子氏の指導助手として琉球語と演技を指導。

しまくとぅばキーワード

キーワード	意味・動作など
マジュン ミグティ タックアレー	一緒に回ってくっ付きなさい
ティー ハラリヨー	手をはらいなさい
クサーンカイ	後ろに
ンジティ チャーニ	出てきてから
イーンカイ ワティ	上に割って
ヒルギティ メーンカイ ヌバシエー	広げて前に伸ばしなさい
カチミレー	掴みなさい
ティー アギティ ミグル トウクマン アイン	手を挙げて回るところもある
ウチナーグチ ガーキ ソータン	沖縄の言葉に飢えていた
ミーヤ アマンカイ	目はあそこに向ける
ウッピル ンージュン	これだけ見る
シーティ ンーダン	無理しては見ない
シーグリサン	やりにくい
クーチヌ アタイネー チュラサン	間合いが合うと美しい
ワチ ムトゥンカイ ティー アティレー	脇の下に手を当てなさい
ナーヒン タマティ マーニ	もう少しためを入れてごらん
ドゥー ムル チカレー	身体全体を使いなさい
メーンカイ トーリリヨー	前に倒れなさい
ヨーサン	弱い
スットントン ソーン	真っ直ぐになっている
クーチヌ アタラントウク アイン	息の合っていないところがある
クーチヌ アタイネー ジョウトウ	息が合えば上等
ヘーシ イリレー	囃子を入れなさい
チュビョーシ ヌジェー ウムサン	一拍子抜くと面白い
ヒョウジョウ イリーネー ウドゥイ ヤッサン	表情が入れると踊りやすい
チラヌ ヒョウジョウ ンジャシヨー	顔の表情もだしなさい
ヤファッテングアー モーリヨー	柔らかく踊りなさい
ヨーサン	弱い
スットントン ソーン	真っ直ぐになっている
クーチヌ アタラントウク アイン	息の合っていないところがある
クーチヌ アタイネー ジョウトウ	息が合えば上等
ヘーシ イリレー	囃子を入れなさい
チュビョーシ ヌジェー ウムサン	一拍子抜くと面白い
ヒョウジョウ イリーネー ウドゥイ ヤッサン	表情が入れると踊りやすい
チラヌ ヒョウジョウ ンジャシヨー	顔の表情もだしなさい
ヤファッテングアー モーリヨー	柔らかく踊りなさい

キーワード	意味・動作など
カンシグアーシ ハニティ クイリヨー	このようにはねてくれて
ナーチュケン	もう一度
エーティンカイ ハニリヨー	相手にはねなさい
ワチヌ ナーヒン アキレー	脇をもう少しあげなさい
ナーヒン マギク モーレー	もう少し大きく踊りなさい
クーチヌ アタティ チョン	間の取り方が(息)合ってきている
イー エーティ ヤサ	いい相手だ
ワチ ハリヨー	脇を張りなさい
クチビルグアー ヤワラカクシーヨー	口元を柔らかくしなさい
ウキトゥティ トウラシ	受け取ってくれ
ウタカラ ウビーリヨー	歌から覚えなさい
アッチャガチ モーレー	歩きながら踊りなさい
モーヤーヌ ンーチョティ サンシンヤ ヒチュンドー	踊り手を見ながら三線は弾くように
ウタムチヤ カングーティ イッティ クイリ	歌持ちは考えて入れてくれ
ブタイヌ ハネーカサンネー ウチャクヌ ウムコーネー	舞台を盛り上げないと、お客さんは面白くない
ナーメーメーヌ カタヌ ンジティ チョーン	それぞれの形が出てきている
ウタカラ ウビーリヨー	歌から覚えなさい
ドゥーヌ ジンブヌ ンジティ チョン	自分の知恵が出てきている
チュウヤ ピッターリ ユー アタトータン	今日はピッタリとよく合っていた
ミーサーニ エージシ モーユン	目で合図をして踊る
ナーヒン ヒサ アギティ マーニ	もう少し足をあげてみなさい
モーイヌ ジカタヤ チュートーラントー ナラン	踊りの地謡は上手でなくては務まらない
ウドゥイ イカスシン クルスシン ジカタ シデー	踊り手を活かすも殺すも地謡次第である
ウチャクヤ クサー ナサングトゥ	お客を後ろにしてはいけない
イヤーン マジュン クーワ	あなたも一緒に来なさい
ウジュクシガ グマサン	動くのが小さい
モーイガチ アビレー	踊りながら言いなさい
イナググアー ナトール ククルムチシ モーレー	女性になった気持ちで踊りなさい
クシ イシリヨー	腰を据えなさい
クサール ンジュン	後ろを見なさい
マギーク ンジュシエー マシヤンドー	大きく動く方がいいよ
チムヤ ニマイメ ドウサシ サンマイメンカイ	気持ちは二枚目であり、動作は三枚目に
トゥンケール グトゥ	振り向くように
ナマー クマ	今はここ
シバイ ソーネーシ ウドゥティ ンデー	芝居をしているように、踊ってごらん
チブルン マーチ	頭も回して
クビン ンジュカチャイ	首も動かしたり
クーチ アティレー	呼吸を合わせなさい
ネーシ ウドゥティ ンーデュー	芝居をしているように踊ってみなさい
クーチヌ アタイネー チュラサン	間の取り方が合うと美しい
アッチャガチ モーレー	歩きながら踊りなさい
モーヤーヌ ンーチョティ サンシンヤ ヒチュンドー	踊り手を見ながら、三線は弾くようにしなさい
ナーメーメーヌ カタヌ ンジティ チョーン	それぞれの形が出てきている

キーワード	意味・動作など
ミーサーニ エージシ モーユン	目で合図をして踊る
チュビョーシ ヌジュー ウムサン	一拍子抜くと面白い
ウチナーグチ ガーキ ソータン	沖縄の言葉に飢えていた
ナーヒン タマティ マーニ	もう少しためを入れてごらん
ドゥー ムル チカレー	身体全体を使いなさい
ヤファッテングァー モーリヨー	柔らかく踊りなさい

### 今年度の授業について

今年度、特別授業として「総合実習Ⅱ・Ⅳ」の2科目で、芝居舞踊を学んだ。「総合実習Ⅱ」では打組舞踊「金細工」を教材にして、作品に登場する三者三様の表現と、呼吸を合わせながら「歌うように踊る」ことを意識し、雑踊りのリズム感と芝居舞踊の表現を学ぶことが出来た。

「総合実習Ⅳ」では、乙姫劇団で創作された「通い船」を教材に、クーチーモーイとユーモアーな表現、様々な体使いや間の取り方、動き方の加減など、芝居独特の表現の面白さを学んだ。指導者の先生方からは、「ナーメーメーヌ カタヌ ンジティ チョーン（それぞれの形が出てきている）」「ドゥーヌ ジンブンヌ ンジティ チョン（自分の知恵が出てきている）」と、沖縄語による高い評価の言葉も頂き、学生の表現の幅を広げる授業成果が伺えた。

### 次年度への展望

「総合実習Ⅱ・Ⅳ」の2科目による「しまくとぅば実践教育プログラム事業」は、次年度は実施計画は予定されていない。しかし、芝居舞踊における沖縄語の表現が多くあることを今回知ることができ、とても貴重な機会であった。このような伝統芸能における琉球語の表現を、一つでも多く掘り上げ、後世に残していくことが必要と実感した。

## 3-5 地謡実技(新垣俊道)

実践授業5：地謡実技Ⅲ・Ⅳ

授業期間 前期：(地謡実技Ⅲ)令和4年6月6日～7月4日

後期：(地謡実技Ⅳ)令和4年11月28日～12月26日

授業回数 前期：5回 後期：5回

対象学年及び受講人数 前期：学部2年次3人 後期：学部2年次3人

### 特別講師について

#### 【地謡実技Ⅲ】

銘苅盛隆(めかる もりたか)

琉球古典音楽野村流音楽協会師範

沖縄県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」保持者

国指定重要無形文化財「組踊」保持者

国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者

#### 【地謡実技Ⅳ】

比嘉康春(ひが やすはる)

1953(昭和28)年、東村出身。1973(昭和48)年、安富祖竹久氏に師事。1990(平成2)年より沖縄県立芸術大学で教鞭を執る。多くの琉球舞踊、組踊の地謡を務め、1998(平成10)年には独唱曲53曲をリリース。2014(平成26)年に沖縄県立芸術大学第7代学長に就任。2期務めた。現在は沖縄芸能協会会長、伝統組踊保存会副会長を務めながら国指定重要無形文化「組踊」保持者として、実演活動ははじめ後進の育成にも尽力している。

### しまくとぅばキーワード

キーワード	意味・動作など
<b>【地謡実技Ⅲ】</b>	
ヌミジン	呑吟 唱法
ミグキグァー	廻り小 唱法
アギジン サギジン	揚吟、下吟
ネーイ	ネーイ 唱法
フキグァー	振り小
ウチグイ	内グイ 唱法
チブ	勘所
サンシンヌ チブヤ ヒジャイ イービ チトゥミ チュラウトゥニ ナシュル ワザトゥ ナイサ	三線の勘所は左指の務め。美しい音を出す技となるよ。
ニジリ バチチケーヤ クマサチグァ チカティ ミミ ザワイ ナシュナ チブヌ ククル	右手の撥の使い方は、細かい先端部分を使って音を出しなさい。耳障りにならない勘所の心があるのである。
サンシンヤ チュラバンチグァシ ウトゥグァ ナケー シヨー	三線は綺麗な弾き方をして音色を泣かせなさいよ。
ナカジルグァヤ ナケーチ ミージュルグァヤ ハチト ウバチ ウーシロー チカラジューク	中絃は泣かせるように。女絃は弾いて飛ばすように。男絃は力強く。
チューヌ チークガタ ユタシク ウニゲーサビラ	今日の稽古、どうぞ宜しくお願い致します。
ツイチ(同じ読み)	月、土
ツイチヌマサカイヤ	月の真っ盛り
ヤクスイク(歌の場合) ヤクスク(会話の場合)	約束
ヤクスイク シチョティ	約束をして
スイクトウバ	首里言葉
クネーダヤ カシカキ サシガ チューン マタ ナ ーイックアイ クイケーシヌ ビンチョーシ イケーヤ ーンディ ウムトクトウ チバティ イカヤ	この前は「かしかき」を稽古したが、今日もまた、もう一回繰り返し勉強をしていこうと思っ ているので頑張っていこうね。
ピンチョー	勉強
ウキミソーチ	おはようございます。起きましたか。
ウキミソーレー	起きてください。
ハイサイ チュウツウガナビラ	こんにちは
ヒティミティ	早朝
ヒティミティムンヤ ウサガミソーチ	朝ごはんは、召し上がりましたか？
チャーガンジュー ヤミセーガヤー	お変わりなくお元気でしょうか？
チャーガンジュー アッチミセーミ	お元気でお過ごしでしょうか？
イー クイーソーシェー	良い声質しているね。
サンシンヌン ユーナトーイ チブン イイチブグァ ウットーン クイーン イイ クイーグァーシ ミッチャ イ ユーアーティ クーチーグァ ユー アートンドー	三線も良く響いていて、勘所も良いところを 押している。良い声質で三名ともよく合っ て、呼吸も良くあっているよ。
クーチーグァ	呼吸
イー ウタ ヤンヤー	良い歌だね。
イー クイーカラ イイ ウタンカイ ナイン	良い歌だね。
アーケーズー	蜻蛉
カジフチ トンボ	台風の後に出てくる蜻蛉

キーワード	意味・動作など
リュウカンディイシエー サンジュウモジヌ サンパチ ガロクンカイ チミラットール ウムイ	琉歌というのは30文字、8・8・8・6の中に詰まっている思い。
ヌファブシヌ ハイヤーマターヤ タカイウトウンディ イヤーニ ガーアビーシエー ナラン トーゴエシシ ウタレーンディ シンシーカラ ナラタン	「伊野波節」「ハイヤマタ」は、高い音だからといって、大きく歌ってはいけない。「遠声」で歌いなさいと先生から習った。
ナサキウタンディ イシエー ウタイダシトゥ ウタジ リヤ ダイジ	情歌というのは、声出しと声切は大事
ワカル シチガ チュークトゥ シージャ カタガタヌ クトゥバ ナラーシン ミミヌニン フラチ チチ ウ ムイヌグトウシ アビラリルグトウシ ビンチョーシヨ ミミガクムン ソーチャーネー イチカ ヤクダツ	いつか理解、分かる時が来るから、先輩方々の言葉や習わしを耳の根をしっかりと聞いて、思いのまま歌えるよう勉強しなさいよ。 耳学問をしていたら、いつか役立つ
ナミウチ ジングア	波打吟。波打つような歌い方。揚吟、下吟を交互にする技法
ンカシヌチュンチャーヤ ソウイウフウニ ナラシーネ ー ウキトウイヤッサンディ イヤーニ フンニヤ ネ ーンシガ イルイルトゥ ヒョウゲン スタン	昔の人達は、そういうふうに見えるのと受け取りやすいから、本にはないけれども色々表現していた。
ナミグアー ウッチャイ ユシタイ ユタイ ナミウチ ジングアーシ ウタレー	波が引いたり寄せたり「波打吟」で歌いなさい。
チューヌ チークガタ イッパー ニフェーデービタン	今日のお稽古、大変ありがとうございました。
カンシ ウスイネー ウトアウヤ ワルクナイクトゥ	こうやって押すと音が悪くなるから
カンチリカンチリグアーシ ウタウ	噛み切るよう歌う
ワッターヤ クヌ プヨウシーネー クヌ シャクヤ ヒクナンディイチ ナラタン	私たちは、この舞踊(万歳)の地謡をする時は、この「尺」は弾くなと習った。
ナンドゥルー	力がない
エイヌ トウクルヤ タミグアー イッティカラ	「エイ(万歳口説)」の所はタメを入れてから
ワカランヨーイ ユクシヌミー ナランクトゥ	分かってないのに分かったふりはできないから。
ワカイルムノー ナラースクトゥ ワカランシガ アイ ネー トゥーレー	分かるものは習わすから、分からないものがあつたら聞いなさい。
チャンナ(チャンナサヨ)	綺麗。綺麗だな。誉め言葉。
エーヤマヌ トクヌメーカラ ンジティチエーシ ワヌ メンマンカイ ムッチチェールバーヨ アッサ ミヨー ジョートヤッサンディ イチ ウリカラ ニ チョウ トウッティ アンスクトゥ ワヌ レコーディ ング ソーシエー アヌ サンシン ナトーン	八重山の床の間から出た木を私の所に持ってきた。わー、上等な木だと感動して、これから二挺とって。だから、私がレコーディングしたCDは、あの三線を使用しているよ。
ウニーパーチン ンディイヤーニヨ メイジジダイヌ サンシンアンバーヨ カンテー ンジャチャクトゥ マ サオシンシーターヤ クレー クーマカビグアアラン ンディ イミシエータシガ シンシー ウレー カーマ ンカシカラ メイジジダイカラヌ サンシンンディイチ チカサットーン ジューヤ ミジカイ ゴウゲ タック アーチェーン	宇根親雲上といってね、明治時代の三線があるのだけれども、鑑定に出したら島袋正雄先生達は「これは小真壁ではないか？」とおっしゃっていたが、これはずっと昔から、明治時代からの三線と聞かされている。尾は短くて象牙がくっつけられている。
シタイヒャー チバラナヤ シタイヒャーヤ ワカイヤ ヤ	したひゃー頑張ろうね。したいひゃーは分かるようね？

キーワード	意味・動作など
チーグシ グーサン	杖
黄金	金
ナンジャ	銀
クルカニ	鉄
フルガニ	錆びついた鉄
ミジガニ	水銀
シルカニ	スズ
ンニ	稲
マサティ ミグトウ	勝って見事だ
サググア	技巧的な奏法
カキバンチャー	掛弾き
トゥンジャービチグア	跳ねて飛びながら弾く奏法
ナンドゥルービチ	メリハリのない弾き方 奏法
ティーチバンチ	一弦一弦弾いていく奏法
サンシンノー アシバシヨー ナサキグアー イリリヨ ー チャー サンシンヌ ミージルグアーヤ グマテ ンテングアー ナカジルグアーヤ ナチウタグア シミ ティ	三線は遊ばせなさいよ。情けを入れなさいよ。いつも三線の女絃は小さくテンテンさせて、中絃は泣歌させなさい。
イー クィーソーシエー	良い声質しているね。
シヌンタタンヤ	役に立たないね。
イナグガル サージ クィール	女性から手拭をあげる
ワッターガ フィチュル マングラー	私たちが弾いている時代は
カネー	揚げ代
ナマゲー カナヒー ヤクトゥ	お調子者だから
ナマグスー	お調子者
インネースンネー	そうこうしているうちに
ウシュビサルバーイ	首尾よくまとめたんだね。
ヨーガラチ	痩せさせて
ウタイクグア	歌の熟し方
タックワーチ ンチャイ	くっつけてみたり。
ウチナグチェー スグ ナマナマーシ ウビラリルム ノーアラン マルヒージーカラ ヤーンジン チカティ ナマー オーバーターン ドゥークロー ホウゲン チカ ーインチ シミソーランクトゥ ムル ウマンガンカイ アーチ ヤマトウグチドゥ チカイクトゥ	ウチナグチは、すぐに覚えられるものではない。日頃か家でも使って。今はオーバー達も自分で方言を使わなくなったからね、全部、孫に合わせて大和口を使っているからね。

学生の反応・印象に残った言葉など

- ① 銘苅盛隆氏とは初対面でもあり、終始、緊張気味ではあった。しかし、実際の指導に入っていくと、技法はもとより多くのことを受け取ろうという姿勢が伺えた。また、指導を受けていく中で、学生それぞれの演奏の変化が見られた。同時になかなか熟せない箇所もあり、課題も見出すことができたものと思う。
- ② 2回目の授業ということもあり、学生たちも前回のような緊張はなく、少し和らいでいる様子であった。今回はウチナグチを使用した指導、会話が多く意味が分からず戸惑っている時もあったが、その際は私のほうで訳をして理解させていった。また、より上手に節回しをす

る方法、より上手く三線を弾く方法を表現したウチナーグチでの指導も刺激を受けている様子であった。実演の習得については、音程を取り方が前回より改善されていた。

- ③高平良万歳は、一度は地謡を務めてみたいと思う憧れの演目の一つでもあり、学生も多くのことを学ぼうとする姿勢が伺えた。楽譜に記載されている歌い方と実際の歌い方との違い、踊り手を引き立たせる弾き方、歌い方の習得に励んでいた。特に「エイ」の箇所をずらして歌う方法には、苦戦している様子であったが、ずらさず歌う方法とずらして歌う方法の大きな違いや効果を感じ取っていた。
- ④楽譜には記載されていないより実践的な演奏法、歌唱法、表現法の指導があり、受講生も刺激を受けている様子であった。今回、指導された技法がすぐに実践できるわけではないが、今後の演奏に大きな参考になったと思う。また、万歳だけではなく、取納奉行の歌詞による仮名の付け方、花風、本花風の述懐節の歌い方の違いなどの説明もあり、それに対し真剣に耳を傾けて少しでも多くのことを取り入れようとする姿勢が伺えた。
- ⑤早弾きの名手でもある銘苅先生の演奏に圧倒されている様子であった。早弾きのコツや雑踊りと古典の歌い方の違いのほか、金細工や取納奉行など歌詞によって仮名を付ける位置の変更に対し、熱心に耳を傾けていた。また、雑踊りでは民謡が多く使用されており、歌心、ウチナーグチの重要さも感じ取っていた。

#### 今年度の授業について

銘苅盛隆氏による地謡実技の指導が行われた。課題曲は「かせかけ」「高平良万歳」「鳩間節」で節回し、吟使い、音程の取り方、リズムなどより実践的な指導が行われた。また、呼吸法や喉の使い方など発声法についても細かく指導していた。曲指導の合間には、銘苅氏のこれまでの経験や師匠をはじめ、先達とのエピソードなどを交えた話もあり、学生たちは興味深く聞き入っていた。その他、しまくとぅば入門の冊子も持参し、さまざまな言葉を紹介していた。実技だけではなく、日常の言葉も習得させ歌三線に反映させたいという意図が伺えた。また、五十音のウチナーグチ変換表も配布するなど、本授業の趣旨を理解した指導が展開された。さらには、より高度な節回しをする方法や上手く三線を弾くコツをウチナーグチで丁寧に説明していた。中には三線の弾き方を表現した方言もあり、ウチナーグチの温かさを感じることができた。「鳩間節」では早弾きの奏法だけではなく、雑踊りでは重要となる歌詞の意味を踏まえた発音や仮名の付け位置などの指導もあった。また、雑踊りで使用されている楽曲にいて、舞踊と民謡としての歌い方の違いの説明もあり大変充実した時間であった。

#### 次年度への展望

今年度は受講生のやる気を十分に伺うことができ、課題曲の予習復習もしっかりなされていた。そのため、授業の進み具合も大変スムーズであった。受講生のレベルにもよるが、次年度も今回のように特別講師が担当する授業までには、しっかりと課題曲を習得させていきたい。より高度な技法の習得をはじめ、しまくとぅばの理解度を上げる機会を提供し続けていきたいものである。

#### しまくとぅばキーワード

キーワード	意味・動作など
<b>【地謡実技IV】</b> チューカラ ゴシュウ レンゾク デキルダケ シマクトゥバ チカティ ジュギョウ スクトゥ ムシワカラナイネー ナマー ヌンディ イヤビタガ ナマ イチョーミシエール クトゥヤ チャングトル クトゥ ヤイビーガ トゥーレー	今日から五週連続 出来るだけしまくとぅばを使って授業するので、もし、分からないことがあれば、「今、何と言いましたか？今、おっしゃったことは、どのようなことでしょうか？」と質問しなさい。
ムトゥヌチバナ ンディ イイシエー ハルヌ ヤマカワヌ サワヤカナ ウタ ヤサヤ ヤクトゥ キムチン ウヌ キムチ サーニ	本貫花というのは、春の爽やかな歌だね。だから気持ちも、その気持ちで。
ヌンディガ イレー ウタ ナトークトゥ アトゥヤ チャーシ ブヨウ ヒチタティティ イクカ	どうしてかと言うと、歌は出来ているから、あとはどのようにして舞踊を引き立てていくか。
ウチナーグチ サイニ セツメイ ナランシガ リュウカ ンディイシエー サンパチルク ミーチ ターチ アルイヤ イチチ マタ ターチ ミーチ イチチ アンサーニ ハチモジ チュクラットーサヤ ウマンカイヤ アクセントヌ アンバー ヤクトゥ クヌフージ リカイ サーニ ワカンデー ウタヌ ウムイイリ ナラン	ウチナーグチでは説明できないのだけれども、琉歌というのは8 8 8 6 3つ、2つ、あるいは5つ、また2つ、3つ、5つ それで8文字が作られているよね。ここにはアクセントがあるのだ。だから、これを理解しないと歌の思い入れができない。
ヤクトゥ カンナジ クンクンシー ドゥーイ ヤカー ブヨウ ヒチタティル ウタイカタ フシイリウレー ジウテヌ センス	だから、必ず工工四通りよりかは、舞踊を引き立てる歌い方や節入れ、これは地謡のセンスだ。
ダイガク ヨネン ウティ チャッサ カワイクトゥ チャッサ ヌビークトゥ ヌンディガ イイネー イッパンヌ チュヌチャーヌ ニジュウネンブンウマウティ ヨンカネンシ スクトゥ	芸大の4年間で、どれだけ変わるか。どれだけ伸びるか。どうしてかと言うと、一般の人たちが20年かけて習得するものを芸大では4年です。
ナマー カツヤク ソールチュヌチャーヤ ウチナーグチン チカーイクトゥ クヌ ウチナーグチ チュカイシトウ チカユーサンチュトウ ウタヌ ウフェー カワイクトウヤ ウチナー カジャグアースン ヤクトゥ コテントウカ ブヨウキョク ウタットーセー ナー フントーヌ ウチナーグチヤサ	今、活躍している人たちはウチナーグチを使うからね。このウチナーグチを使う人と、使えない人は少し歌が違う。ウチナーの香りがする。だから、古典しかり舞踊曲で歌われている歌詞は本当のウチナーグチだから、ウチナーグチを使うのは重要だ。
センシュウヤ チャングトゥ ヤタガ ムチカサラヤ シマクトウバトウ マンチキヤーニ ジュギョウ スンディ イレーカラー	先週はどうでしたか？難しいよね？島くとぅばと混ぜて授業をするというのは。
トー チュー マタ マジュン ピンチョウー サヤ ンディ イイネー ユタサルグットウ ウニゲー サピラヌ エーサチ カラ イレーヤ トーマジ イチンデー マジ ウヌフージーカラ イーユサンデー クトゥバ チカイル キッカケヌ ネーナイク トゥヤ チャー チチュル ウッピセー クトゥバー	「さあ、今日もまた一緒に勉強しましょう。」と言ったら、「宜しく願いいたします。」とあいさつから言いなさいね。では、まずは言ってごらん。まずは、この様なことから言えないと、言葉を使うきっかけがなくなってしまうからね。聞くだけでは言葉は覚えられない

キーワード	意味・動作など
ウビューサン タダ タンニ ワーガ イルトゥーイ ヌ ハナシ チチョール ダキヤ アラン ドゥーク ル サーニ ウリ リカイ サーニ クンドー ドゥ ーヌ クトッパ サーニ マチガティン シムクトゥ ウチナーグチシ ウフェー マンチキヤー マンチキ ヤー サーニ ハナシ サントー ウヌ ジュギョウ ナリタタン ハジ ヤクトゥ ウヌ チムエーシ ウ ヌ ジュギョウ カンゲーティ アルハジ ヤクトゥ ヤ トー ハジミティンダナヤ	い。ただ単に私の話を聞くだけではない。自 分でこれを理解して、今度は自分の言葉とし て間違ってもいいからウチナーグチ、大和口 を少し混ぜて話していかないと、この授業は 成り立たないはずだから。この考え、ねらい でこの授業を考えているはずだから。さー、 はじめてみようか。
チューヤ マジェー ムンジュル カラ イカヤ マ ジ ミッチャイ サーニ ヒチ チカチンデー	今日はまずは「むんじゅる」からいこうね。 まず、三人で弾いて聞かせてみてください。
ハイチュクテンヤ コウトゥ シャクヌ ウトゥ リ ッパ チカイワキ サンネー アンサンネー チャー ナンペラー ナインダー ナーチュケーン セイジ ュンヲ ウチナーグチシエー ヌーンディガ ワカラ ンシガ ワカ イナググアガ ンジチュールバード ゥ ヤクトゥ コウトゥ シャクヌ ウトゥヤ キレ イ サンエンー ウヌ フンイキヤ ンジランクトゥ ナンペラー ナティ イチュクトゥヤ	「早作田節」は「工」と「尺」の音は、はっ きり使い分けないと。そうしないと、ずっと 平たくなるよ。もう一回。清純をウチナーグ チでは何と言うか分からないけれども、若い 女性が出て来るから「工」と「尺」の音は綺 麗にしないと、その雰囲気は出ないからね。 平坦な歌になってしまうからね。
ブヨウキョク ンディイシエー コテンビケー アラ ンシエー ミンヨウ カラ チョール キョクン ア シエー ウレー ムンジュルブシ ンディイシエー ドチラカト イネー ウレー ミンヨウカラ チョ ール ウタヤクトゥ チュニユッテー シンシーニ ユッテー チガイン ミンヨウフウ ウフェー ジュ ウナンニ カンゲーティ ウタ ナラースン カンシ ウタインドー タトゥイルンシエー ナマー ガク フ ドゥーイ ヤシエー ウフェー ゲンカラ ハン ディタイ アトー フシ ウフェー マーチャイ ス シ ウヌフージーヌ ナラーシカタン アンバー ヤ クトゥ チャー マットーバー アラン ウフェー ウタ ハンダチャイ ミグラチャイ ウヌフージーサ ーニ ウタイン ウレーナー シンシガー ナラース トゥーイ シンシーガ ウーティ クーワ ウヌフ ージーシ ナライル ウタン アルバー フントー ン カシヤ タトエバ シロマ トクタローシンシター ンデー ワッターガ ナマサチ ウタタン ウタヤ カ ナーフィン ハンディトータン ヤシガ ナマー ムル クンクンシー ンチ ナラーチョークトゥ ク ンクンシーカイ ムル トウイツサーニ ウトート ゥ アンシ ウムンディイヤーニ ウフェー ワカテ ィ クリカラ シンシーカラ チャングトール ソー ンドー ンディ ナラレーヤ キホンテキニハ ウン ナ カシ ヤンドーンディイチ チャントゥ リカイ サーニ クリ ウタヌ ナーカニ クミルグトゥ	舞踊曲というのは、古典曲だけではない。民 謡からきている曲もあるよね。この「むんじ ゅる節」というのは、どちらかと言うと民謡 からきている歌だから人によって、先生によ って違う。民謡風、少し柔軟に考えて歌を教 える。こんな風に歌うのだよのように。例え ば今は楽譜通りだよ。少し絃から外れたり、 それから節を少し廻したりするような習わし 方あるわけ。だから、ずっと真っすぐではな い。少し歌を外したり、廻したりして歌う。 これは、先生が教える通り、先生が追ってこ い、このような方法で習う歌もあるのだよ。 例えば城間徳太郎先生たちは、今さっき歌っ た歌より、もっと外れていた。だけど、今は 全部工工四を見て教えているから、工工四に 全部統一して歌っているから。このようなこ とを少し理解して、これからは先生から「こ のようにしている」と習ってくださいね。基 本的には、このような歌詞だということ理解 して、これを歌の中に込めていくこと。

キーワード	意味・動作など
クガキ コウイウトコロヲ ナメラカニ カキティ イチーネー ウタヌ ヤワラカク ナイクトゥ チョ クセンテキ ナトートゥヤ クンクンシー ドゥー イ ウタティン チャントゥ カキトウカ フシ リ ッパ イリレーカラー ウタヌ ナサキグアー ンジ ティ チュークトゥ フシイリンディイシエー リッ パ サントー クーサル ムン ヤティン チガギテ ィ チャントゥ イリランネー ナラン	「小掛」、こういうところを滑らかに掛けてい くと、歌が柔らかくなるから。直線的になっ ているからね。工工四通りに歌っても、ちゃ んと「掛け」とか節をしっかり入れると、歌 の情けが出てくるからね。節入れというのは、 しっかりしないと。小さなものでも、注意し てちゃんと入れないといけない。
ブヨウキョクヌ ナカウトーティ クドゥチトウ ク ヌ ムンジュルブシ ウリカラ ハマチドゥイ ウレ ー ワン ケイケンヤシガ ワッターシンシーアラン ビチヌ シンシーカイ ヌラーツタン ヌーンディガ イネー クンクンシー ドゥーイ ウタトール チ ムエー ヤシガ シンシーヌ ウタ ネービ ソーン バー クンクンシーカラ ハンディトン シチマディ ヤシガ ワンガ ウタイネー ハチマディ イチュル バー ウレー ハチマディ ンジョール チムエーヤ アラン チヌーヌ ウッティエーヌ サッカーヌ ハナ シヤ アランシガ ボールヌ ワービカラ ンデー カラ ンジターウラン ワームノー ハチャ ンジェ ーウラン ハチ ンジャル フージー サーニ ス バマディ アギティ ゴ ンカイ イチュル ヤクト ゥ ウヌ サッカーヌ ンチャーニヨー クレー ワ ッターガ ウタトール ハマチドゥイトゥ ムンジュ ルブシトウ イヌムン ヤッサヤンディ イヤーニ ウリガ シゼン ヤサ シチヤ ウマヤサヤ ゴー ルライン シチマディ ンジカラ ウマカイ イチュ ルンディ イネーカラ ウマカラ イチュイヌ チ ョークトゥ ウヌママ スグ イカランシエー ヤ クトゥ ウマウティ ハニチキヤーイ ウルスンバー ヤクトゥ ウマリカーヤ クンクンシーカイ カカラ ンクトゥ ワンネー アンシ ウムトーン	舞踊曲の中で「口説」、この「むんじゅる節」、 それから「浜千鳥」。これは私の経験だけれ ども、私の師匠ではなく別の先生から怒られ た。どうしてかという、工工四通り歌って いるつもりだけれども、先生の歌を真似てい るわけ。工工四から外れている。歌の「七」 の音高を私が歌うと「八」まで行くわけ。私 としては、これは「八」まで行っているつも りではない。昨日のサッカーの話ではないけれ ども、ボールを上から見ると出ていない。私 も一緒に「八」まで行っていない。「八」 まで行っているようにみせて、「八」の側ま で上げて「五」に下ろしていく。だから、こ のサッカーを見ていて、これは私たちが歌っ ている「浜千鳥」と「むんじゅる節」と同じ だと思った。これが自然だよ。「七」は、こ こまでだよ、ゴールライン。「七」まで行 ってから、ここに持っていくと、ここから勢 いがつくから。このまますぐには行けないよ ね。だから、ここで跳ねつけて下ろしてい くわけ。この辺は工工四には書けない。私は、 そう思っている。
ナマナー ワッター フージー コテノンオンガク ソール チュガ ブヨウヌ ジウテー ソーシガ ウ チナーヌ キンダイヌ ジウテーンディ イネーカ ラー タルイルンシエー イタラシキチョウケン ノ ボリカワセイジン アヌ チュンチャーガ センゴ ヌ ゴーウドゥイ コテンヤ アランクトゥ コテン ヤ コウチカメチヨトウカ ヤシガ ゴーウドゥイヌ ジウテー ンディイネー ノボリカワセイジンサン ター ミンヨウスル シンシターガ ウタイミソー タン ヤクトゥ ウヌ シンシターヤ ウフェー ミ ンヨウ ウティ キタエタ ウタヌ ナガリガ アク トゥ コテンヌ シンシターヤ チャー マット ーバー ヤシガ ウヌ ミンヨウヌ シンシター ン ディイシエー ウタヌ ウムサン トウクマヤ ナ ガリン ナガリール グトゥ ナガリティ ンジャ ーニ ウタイン ナー アリトゥ イヌムンター テツ	現在は私達のような古典音楽をしている人た ちが舞踊の地謡をしているが、沖縄の近代の 地謡という、例えば板良敷朝賢、登川誠仁。 あの人たちが戦後の雑踊の地謡を務めてい た。古典ではない。古典は幸地亀千代などだ けれども、雑踊の地謡といえば登川誠仁先生 たち、民謡をしている先生たちが歌っていた。 だから、この先生たちは少し民謡で鍛えた歌、 流れがあるから。古典の先生たちは、いつで も様式的に歌う。だけれども、民謡の先生た ちは歌が面白いところは流れるように歌う。 そうだ、鉄棒と一緒にだね。鉄棒を見ていると、 着地するのと同じだよ。だから、歌というの は最初は工工四通り歌うが、あとは歌いこ なしていくと、気持ちが入ってくると引き延 ばしたり、このようなことをするからね。ま

キーワード	意味・動作など
<p>ボウヌ ンジャーニ ウティーシトゥ イヌムンヤサヤクトゥ ウタンディ イイシェー サイショヤ クンクンシー ドゥーイ ウタイーシガ アトー ウタイシンデー キムチヌヌ イッチチーネー ヒチヌバチャイ ンナクトゥン スクトゥヤ マタ ドゥーナター ジウテー グループ サーニ ディカ クマー アンサナ ウマー ワーガ ウントゥーシ ムチュルクトゥ マジュン ムッチ トゥラセー ウントゥー チョウセイヌ スンバー ソウイウ ジウテーガ プョウカカラ キモチガ イイネートカ マーガキモチガイイネーヤ アラン ゼンタイテキニ ウタヌ フンイキ ナガリヌ チガイッサー ウンナ トゥクルガ ジウテーヌ リキリョウ チカチドゥクルヤクトゥヤ ヤクトゥ ワッターヤ クンクンシードーウイ アランクトゥ ムル アタラン アタランシガ テクニック サーニ アーチ イチュルバーウヌ シンシータートゥ ヤレー ドゥーヌ ウターアタランクトゥ アワスシガ ムロー アーサン ウフィグァーヤ ワーメーンカイ ヒッパティ イチュルバー ウリン ジウテーヌ タヌシミ</p>	<p>た、自分たちの地謡グループで「ここは、こうしよう」「ここは、私がこのように持って歌うから、あなたたちも一緒に持ってくれ」など、このような調整があるわけ。そういう地謡が舞踊家から「気持ちがいいね」とか、どこが気持ちがいいかではなく、全体的に歌の雰囲気、流れが違う、このようなところが地謡の力量、聞かせどころだからね。だから私たちは工工四通りではないから、他の人達と合わない。合わないのだけれども、テクニックで合わせていくわけ。この先生たちとだと合わない。しっかり合わせていくのだけれども、全部は合わせない。少しは私の歌い方に引っ張っていくわけ。これも地謡の楽しみ、醍醐味だよ。</p>
<p>クヌ フージーヤ ウチナーグチシェー ナラング トゥ ナマー シーティ ヤマトゥグチ サーニ ソールバー ヤクトゥ サチフドゥヌ ゴールラインヌ ハナシトゥカ ウタヌ フイトゥカ ウレー ティーチヌ ヒョウゲンリョク ウリカイ フシヌ マチガ トーン ヤームノー チガトーン トゥカ ネーラン ヤシガ ナマー ナラールバーヤ クンクンシー サーニ ナラティ アトゥアトー ウタイクディ イチネー ナンクル ウヌ ナガリガ ナティチューン</p>	<p>この辺はウチナーグチでは説明できないから、今はあえて共通語で話しているのだよ。だから、先ほどのゴールラインや歌の振りなど、これは一つの表現力。これに節が間違っている、あなたの歌は違っているなどはない。だけれども、今は習う場合は工工四で習って、後々は歌いこんでいけば、自然にこのような流れが出来て来る。</p>
<p>トー マジュン ンナ サーニ ンナシ ウタユルバーヤ ヒチガナ チャングトール ソーガヤー ンディイチ チチナガラ</p>	<p>さあ、一緒に皆で！皆で歌う場合は弾きながら、どのようにしているのかなと聞きながら。</p>
<p>ナーフィン ウムサンシガ アリテー ウンナ マチシタニ マチシタ ヌーガ マーチヌ シチャ ヤシェー ウチナーグチ シーネー マチシチャ ヤシガ ウンアブシヤ マチシタ ヤシェー ウレー ヨウスルニ ゴカン ゴノ カンカク ヒビキ タガ マシンディ イヤーニ マチシタ ナトール イヌ リュウカヌ ナーカ ウティン クマウテー タナヤーニ クンドー ウマウテー チャ ンカイ ナイン ブンガク ケンキュウシャトゥ ジツエンカトゥ ウンナ トゥクルガ チガイール トゥクガ アン</p>	<p>もっと面白いのが、これさ。「恩納松下に」、なんで「まーちぬしちや」だよ。ウチナーグチでは「まちしちや」。だけれども、恩納節は「まちした」だよ。これは、要するに語感、語の感覚、響き。「た」のほうが良いといっって「まちした」になっている。同じ琉歌でも、ここでは「た」になって、ここでは「ちや」になる。文学の研究者と実演家と、このようなところで解釈のちがうところがある。</p>
<p>ナマー ミッチャイシ ソーシェーヤ ナマー ニートゥイヤ ターランドイ キマティ ウランシェー ヤクトゥ シュウゴトニ イリケーヤーニ チュウヤ</p>	<p>今は3人で。今は根取りは誰と決まっていないうね。だから、週ごとに入れ替えて、今日は久保君が根取り、来週は高松君、再来週は</p>

キーワード	意味・動作など
<p>クボクンガ ニートゥイ ライシュウヤ タカマツクンガ サライシュウヤ チバナクンガ ウンナ フージー サーニ スシドゥ マシヤ ナマー チバナクンヌ クイ マギサクトゥ フシジナムンヤシガ クヌ マギサル クィーンカイ ムル スイトゥラッティ イチュクトゥヤ ヤクトゥ ウヌタミナカイヤ タトゥイルンシェー マンナカヌ ニートゥイヤ ナーウフェー クイ ンジャサントー ナラン チュウシンニ ナルカラ ヤクトゥ ニートゥイヤ シュウゴトニ イリケーティ アンシーネー ニートゥイヌ ジカクン ンジティチューイ クイヌ ンジャシカタ ナーフィン ンジティー チュール ナマー チバナクンヌ クイ サーニ ウサットークトゥ タイヤ ナーダ キャリアヌ ンチャサクトゥ チカラン トゥクマー アシガ ヤシガ ナカラヤ ナー ウヌフージー カンゲーティ イカントーナラン ウリガ ワーガ ナイル トクベツ ジュギョウヌ ティーチヌ ヤクワリ ヤクトゥヤ トー ケーティ マーニ ウレー イッペー テーシチナ クトゥ マンナカニ ウルツチュヤ ニートゥイ ンディイヤーニ モチロン ンナシ エンソウ スシガ ニートゥイ ンディイヤーニカラー シキシャ フージー ヤクトゥヤ ウヌ チムーエー サーニ ウター カンシ スンドー ンディ タインカイ キウ ウクラントー ナランバー</p>	<p>知花君。このようにしてするのがいいね。今は知花君の声が大きいから。不思議なことだけれども、大きい声に全部吸い取られていくからね。そのためには、例えば真ん中の根取りは、少し声を出していかないといけない、中心になるから。だから、根取りは週ごとに入れ替えてすると根取りの自覚も出てくるし、声ももっと出て来る。今は知花君の声に抑えられている。2人はまだキャリアが短いのもあって聞こえない箇所がある。だけど、今からは、このようなことも考えていかないといけない。これが私のできる特別授業の1つの役割。だから、さあ入れ替えてみて。これは、とても大切なこと。真ん中にいる人は根取りといって、もちろん皆で演奏するのだけれども、根取りというからには指揮者のようなものだから。この心づもりで「歌はこんなふうにするぞ」と2人に気を送らないといけないのだよ。</p>
<p>ミッチャイシ ウタイネー ミッチャイヌ ウタガワカイルグトゥ ウタランネー ナラン ナマー チバナクンノー チカラ ウフェー イリジューサン ウタンディイイシェー クドゥチ ヤクトゥンディ イヤーニ チュージューク アビレー ウタレー シムンヤ アランクトゥ</p>	<p>3人で歌っても3人各々の歌が分かるように歌わないといけない。今は、知花君の歌は少し力を入れ過ぎている。歌というのは、口説だからといって強く歌え歌えではいけないからね。</p>
<p>クヌ ウタ ミッチャイ サーニ チャントゥ ジウテー スン ウタニ シアガラントー ナランバー ウヌタミナカイヤ クイヌ ンジャシカタ トゥカ ナーメーメーヌ クイヌ ンジャシカタ ナーメーメーヌ フシイリヌ アーラン トゥクマー ウヌフージーヤ ノーチ イカントー ナランバー ジウテー ヤクトゥ タダ ウタテー アラン チャーシ ミッチャイ スルイーガ ウヌタミナカイヤ チャーシガ ミッチャイヌ チームワーク トゥカ ウヌフージーン チュクラントー ナランクトゥヤ アンシーネーカラー ビチヌ チュトゥ クムル バーネー マタ ビチヌ メンバートゥヌ ウッターヌ トクチョウ トゥカ ウッタートゥ アースル バーネー チャースガ</p>	<p>この歌を3人でしっかり地謡としての歌に仕上げないといけないわけ。そのためには、声の出し方とか各々の声の出し方、各々の節入れが合わないところは直して、合わせていかないといけない。地謡だから、ただ歌うではないぞ。どうしたら3人が合うか。どうしていくなど、3人のチームワークなどこのようなどを作っていくといけない。そうしたことが出来てくると。別の人と組む時、また別のメンバーと組んでいく時、その人たちの特徴とか、この人たちと合わせていく時はどうしていくなどが大事だ。</p>
<p>トー チューヤ ウッサマディ</p>	<p>さあ、今日はここまで</p>

キーワード	意味・動作など
トー アンシェー チンダミ チョウゲン シツカラ ハジミティンダナヤ チューヤ ムトゥヌチバナカ ラ トー マジュー ユツタイ マジュン チュケノ ー マジュン ヒチカラ アンシ マタ タイシ	さあ、では調弦してから始めてみよう。今日は本貫花から。まずは4人で一緒に1回は弾いてから、そして、次は2人で。
ウレー ウヌママー ソーチーネー クセ ナイク トゥヤ ヤクトゥ リッパ カンナジ ノーサント ー ウレー ンカシヌ クンクンシー カイヤ ウ マ「声楽記号(乙)の表記」 ネーントン オツヤ ホゾンカイヌ ムノー ウマー キゴウヌ アタ ヌバー ウマー ケイカオン デス ンディイチ ナマー ジョウカンブシヤ ムル カカットーラヤ ヤシガ ウレー カチョーティン ゲンソクトシ テ カショウホウ トシテ イリランバー ウリ ウヌマーマー ソーチーネー マタ イッター コ ウハイトウカ イッターガ ムシ ディシ ナラ スルバー ウントウー ナティ イチュクトゥ カ ワティ イチュクトゥ ウレーナー ノムラリュウ ヌ テッソク ヤシガ オモシロイコトニ テッソ ク ヤシガ ヤマウチセイヒン ンカシヌ コテン ヌ タイカヌ シンシーヌ ウタナカイヤ ウマー リッパ ンジティチューン	これをそのままにしていると、癖になるから。だから確実に必ず直さない。これは、昔の工工四にはなかった。乙は保存会の楽譜は、ここは記号があった。ここは経過音ですと、今の上巻節は全部書いてあるでしょう。だけれども、これは書いてあっても原則として、歌唱法として入れないのだよ。これを、そのままにしていると、あなた達の後輩とか、あなた達が、もし弟子に教える際にこのようになっていくから、変わっていくから。これは、もう野村流の鉄則。だけれども、面白いことに鉄則だけれども、山内昌彬、昔の古典音楽の大家の先生の歌には、ここには確実に乙が出ている。
ガクフ ンチューー ウター ウターララン サニ シ ンシーガ ウタイハジミティ ウター ナイクトゥ	楽譜を見ては歌えないだろ。先生が歌い始めて歌はできるから。
ウフィグアー ヤティン シムサ ナイナー ウヌマ ーマー ナティ イチュクトウヤ	少しでもいいやとなると、そのままになっていくからね。
ウチナーグチシ ジュギョウ スンディ ムジカサン ヤ イッターガ ワカイルムン ヤラー パチャナイ アビーシガ ウリ ヤマトウグチンカイ イイ ノ ーサー ノーサー サンデー ナラースシェー アン マサヌ ウムサ アシガテー アンマサン ワカイラ ヤー イッターンカイ ナラースル クトゥンカイ アンマサンヤ アラン ワンニン カンゲーガチー スシェー イッターンカイ チャーシ イイナー ワ カイガヤー ンディイヤーニ チャーシ ワカラスガ ヤー ウヌ クトゥバ ヤマトウグチシ カンゲート ーシ チャーシ ウチナーグチ ンカイ ノーチ イ イガヤー ンディイチ ヤクトゥ フントーヤ ウヌ ジュギョウヤ ウチナーグチサーニ ナラースル クトゥバ イラントー ナランバー タトゥイルンシ ェー サチフドゥヌ カキヤ ナーフウェー チュー ク リッパ テイネイニ イリレー トウカヤ ウマ ー サギーヌ バーニ ウマー オツヌ ジンヤ ンジランクトゥ ウマー ナメラカニ ウルチ イキ ヨーヤー ンディイチ ワッターガ ナライル バー ヤ シンシーガ ウマー アネー アラン シンシー ガ ウタティ ナラースタン ヤームノー ウマンカ	ウチナーグチで授業をするのは難しいね。あなた達に分かるのであれば、たくさん話すけど。これを共通語に言い直さない。習わすのが難儀、面白いけれどもね。「あんまさん」はわかるよね？あなた達に教えることに対しての難儀ではないよ。私も考えながらするからね。あなた達にどのように話したら分かるかなと。この言葉、共通語で考えていることをどのようにしてウチナーグチに直して話そうかと。だから、この授業は本当はウチナーグチで実技を教える言葉と話さないといけないわけ。例えば、先ほどの「掛け」は、もう少し強く立派に丁寧に入れなさいとか、ここは下げる場合は乙は吟は出てこないから、滑らかに下しなさいのように。私達が習っている頃は、先生がここはこうではない。先生が歌って教えていた。あなたは、ここに乙の吟が出ている。色々なことは言わない。工工四の読み方を教えるのではない。ここは書かれているけど、こうではない。ここは、こうだよと。だから、さあ、あなたが歌ってみな

キーワード	意味・動作など
イ オツヌ ジン ンジトーン イルンナクトゥ イ ラン クンクンシーヌ ユミカタ ナラースル アラ ンクトゥ クマー カッカトーティン アネー アラ ン クマー クングトゥー ヤサ ヤクトゥ トー ヤー アビティンデー シンシーガ マルケーティナ ー ドクショウ アティンバーテー アンシーネー ウワティ アトゥカラ ワー アンシ アビトーミ ンディイチ ヌラーイルバー	いと先生が独唱を当てるわけ。そうすると、歌い終わってから「私は、このように歌っているか」と注意するのだよ。
シンシーガ ウヌ ウター クヌ カシェー ヌーヌ イミドー チャングトール イミヌ アン チャン グトール ハイケイヌ アンディ イイシェー イラ ンタン ウンナジカンヤカ ウタヌ レンシュウ ウ ター ウビーイシガ ワッターガ チーク ホウホウ ヤタン ジョウカンブシヤ ニサンブン ヤシェー イチニチシ ウビーシェー ウビーンディ ウムイ ネー イチニチシ ウビールバー ヤシガ スグ サーラナイ アサティカラ マタ ワシリルバー ウ リヌ クイケーシテー ナー ヤクトゥ サイシュヌ チークヌ パーヤ クンクンシーヤ ミシラン シ ンシーヌ ティー ンダーニ ヤーウティ ドウク ルシ クンクンシー ンダーニ ティー ウタヌ ウ イヨー ウビッチャーニ マタ クンドー シンシー ヌ フシヌ ウイヨー ウーティ イチュルバー ヤ クトゥ ドクショウ シマーニ マチガレーカラー ワン アンシ アビトーミ ヤー ヒージーカラ ワン ウタ アンシ チショーミ ンディイヤーニ ヌライルバー	先生は、この歌の歌詞はこのような意味があるとか、このような背景があるとかは教えなかった(当時の先生方は調べなくても、琉歌が染みつき、方言もネイティブのため、いちいち説明はなかったようだ)。教える時間よりは歌の練習。歌を覚えるのが私たちの稽古方法だった。上巻節は2〜3分だよ、1日で覚えらるさ。覚えようと思えば、1日で覚えらる。だけれども、明日、明後日になると忘れていくわけ。これの繰り返しさ。だから、最初のころの稽古は工工四を見ない。先生の手を見て、家では自分で工工四を見て手と歌の節回しを覚えてきて、稽古場では先生の節のやり方を追っていくわけ。だから、「独唱をしてごらん」と言われて間違った歌をすると、「私はこんな風に歌っているか。日頃から私の歌をこのように聞いているのか。」と言って注意するのだよ。
サンシンヌ ウトゥヤ コウドウ ヤシガ クィーヤ シャク	三線の音は工だけれども、歌は尺の音
ハヤビチヤ ムル チガイクトゥ ミカル シンシー カラ アルイヤ ワンニンチガイン ウッタートゥン マジュン ヒチウシガ ウフェー チガイン ドウク ルシ クンクンシー チュクヤーイ ムタトーシガ ウヌトゥーイ ヒチューネーニ ハヤビチヤ ワッター ガ ナライハジミヤ シンシーガ ウーティ クー ワ クマー カンドウ ヤンドー シンシーヌヤ イ チバン ニバン ムル ティーヌ チガイーターン	早弾きはみんな違うからね。銘苧先生、あるいは私も違う。これ達とも一緒に弾いているが、少し違う。私で工工四を作って持たしているけど、楽譜通り弾いていない。早弾きは、私たちが習い始めの頃は、先生が「追ってこい。ここはこうだよ」と言う感じだった。1番、2番、手が違っていたよ。
ムル ドクショウ シミーシガ ウタヌ ムル ヨー ゲー ヒーゲー ヤティン ドウクルシ タヌシミ ヤサ シムサ ンディイヤーニ エンガワウティ ウタティ イイキムチ ナレー ジョウトウー ヤサ ンディイヤーニ マタ ウリン コテンオンガクヌ タヌシミ ヤルバー ンナガ ンナガ ジョウジ ナイル ワケー ネーンスヤ コテンオンガク ンデ ィイシェー クヌフージーヌ オンガク ヤルバーヤ サ	(先生の研究所での様子) 全員に独唱をさせるけど、みんな音程が安定しない。自分の楽しみだから、いいさといってね。縁側で歌って良い気持ちになったらいいさというふうだね。これもまた古典音楽の楽しみだよ。皆が上手になるわけないからね。古典音楽というのは、このような音楽の側面もあるのだよ。

キーワード	意味・動作など
(若手実演家の弟子の様子) ヌーガラ アイネー ワーメーカイ チャーニ ヌーヌー ドクショウ アタトクトゥ シンシー キイテクダサイ アンナレーカラ テッテイオキニ イッターンカイ ソールグトゥ ナラスバー チャーシン ヌーガラ ウフェー ドウクルシ カンゲーティ ウタイルバー アクトゥヤ ウヌフージーヤ マタ チチワキ ミキワミ ナラントー ナランバー ウレー ウヌ チムエーサーニ ウタトーサヤ ンディイチ ウレー ヨシトスル ヤシガ ンカシヌ デンショウヌ ウタカラ オオキク ハンディートーネー ウレー ウフェー ウカサクトゥ ウマー アンシ ノーシェー ンディイチ タダ ウリガ プタインカイ ンジティ イチーネー ナー コノヒトノ セキニン ダカラネ ナマー ウリシ ホンニンヌ セキニンシ スムシガ ンカシヤ ワッターガ マチガティ ウタイネー ワッターヤ ヌラーララン シンシー ヌライル シンシーヤ アンシ ナラチョーイビンナー ワンヤ アンシ ナラーチエーネー ンディイチ アトゥカラ ワン アンシ ウタートミ ンディイチ ヌライルバー	何かあると私の所に「この曲の独唱があたっていますので、聞いてください」と来る。そうなる徹底的にあなた達にしているように教えるわけ。どうしても、少し自分の考えがあって歌う場合があるから。このような時は聞き分け、見極めをしないとイケない。これは、この考えがあって歌っているなど、これは良しとする。だけど、昔の伝承の歌から大きく外れていたら、これはおかしいから「このように直しなさい」といって指導する。ただ、これが舞台に出ていくと、もうこれは本人の責任。だから、今の時代は本人の責任で済むけれども、昔は私たちが間違っ歌うと、私達を注意しない。先生を注意しよった、「先生はこのように教えているのですか?」と。先生は「このように教えては無い。」と。後から「私はこのように教えているか?」と注意するのだよ。
イッター サンシンノー ムル ジョウトー ウヤガ コーティ トウラスティ ドウクルシ カメーティ	あなた達の三線は全部いいものだね。親御さんが買ってくれたのか?自分で探したのか?
トーアンシェー センシュウヤ ユクトーテクトゥ サンキョク トウチカラ チューヤ タカデーラマンザイ ウフェー シンダヤ トー アンシェー ハジミラナヤ	さあ、では先週は欠席していたので、3曲通してから。今日は高平良万歳を少しやってみようね。さあ、はじめよう。
ナー テーゲー ユタシク ンチ イチョーシガ フントーヤ ユタサルグトゥ ウニゲーサビラ ドウヤル	だいたい「ゆたしく」と言っているが、本当は「ゆたさるぐとう うにげーさびら」だよ。
チューヤ ヨンカイメ ヤクトゥ テーゲー ドウナターシ ナイル ハジヤクトゥ ミッチャイサーニ ナイルウッピ シンデー	今日は4回目。だから、だいたい自分たちで出来るはずだから、3人でできるだけやっごらん。
チャー マンナカガ ニートウイ ヤーサーニ エージ サーニ ヒチハジミレー	いつも真ん中が根取り。あなたで合図して弾き始めて。
チンブシヌ ウンジャシグチ ナーチューケーン ナーウフィグアー シッカリトゥ ナマー ウフェー ダリトーン ネー スクトゥヤ シッカリ ヌミ イリレー ウフェー ダリトクトゥ ウター チャーウアーピンカイ メーンカイ ナマー ワーガ メーンカイ ウクトゥ ウッチントウー ソークトゥヤ ウマー チークサーニ ノースルグトゥヤ	金武節の出だしをもう1回。もう少ししっかりと。少しだれているように感じるから、しっかりと「呑吟」入れなさい。少しだれているからね。歌はずっと上に前に。今は、私が目の前にいるからうつつむいているからね。ここは、稽古で直しなさいね。

キーワード	意味・動作など
ウリン サイシュヌ ヌミヤ ナガリーンドー アンサンデー	これも、最初の「呑吟」は流れているよ。こんな風ししないよ。
シモクヌ ヤミヌサクフィラカラ クイヌ イチュイ ウティティ チューン ヤクトゥ サイシュトゥ アトゥ ワカ イナググアーガ モートクトゥ イチュイ ウトゥサングトゥ ナマー ウフェー ウティティ チョーン ムシロ ウマウティ マタ ムリケーチ イカンデー	下句の「闇のさく坂」から声の勢いが落ちてきている。最初と後も若い女性が踊っているから勢いを落とさないように。今は少し落ちてきている。むしろ、ここでまた盛り返していかないと。
トー ナマヌグトゥ サイグマディ クイヌ イチュイヤ ウトゥサングトゥヤ アンシワル ワカ イナググアーヌ ハネーチュル フンイキ ンジクトゥ	そう、今のように最後まで声の勢いは落とさないようにね。こうすることで若い女性の華やかな雰囲気が出てくるから。
ワッターヤー ヒージーヤ ウトゥ ンジャサン ワッターヤー ドー ヤシガ キョウカイ トウカ アフソリュウヤ ンジャチカラ スン ヤシガ ウレー チュニユウティ カワイン ワカラン アイダニ チンダミガ カワトーンディ イシガ マタ ウムサントウクマー	日頃、私たちは音を出さない(二揚の調弦)。私たちはだよ。だけれども、協会とか安富祖流は音を出しながら調弦する。だけど、これは人によって変わる。分からない間に調弦が変わっているというのも面白いところ。
アカヤマーヤ ミッチャイ ティー スルワーセー シムクトゥヤ	「赤山節」は3人の手を揃えればいいからね。
ムンジュールヌ バーヨー ウフェー ヤワラカク ナマー ティーチナー ティーチナー カナズケ ンカイ チカラヌ イッチョークトゥヤ ムジュールヤ ムル チルカイ カナ アットクトゥヤ アンサレー ウヌタミナカイ チカラヌ イッチャーニ カタク ナイクトゥ ワッターガ スルバーヤ ウマリカーヤ ビミョウニ チャー タックアーシー アラントゥ ハズス デハナイ アトオイ ワーシジキー オツケテ ウタウカラ ヤワラカク ナイン ウレー マタ アトアカラ スル クドゥチン イヌムン ムル チル アティヤ アラン ワーシジキー ナマーナー モンク ユル チューヤ ウランシガ ンカシヤ ウレー ンカシンディ ユシガ ナーダジュウネン ビカーヤサヤ ゲンカラ ハンディトーン ンディ イヤーニター ウヌ ワーシジキー セーカラー ヌラーツタン スコシズツ ゲンカノ アトヲ オウヨウニシテ ウタッテイク ウマリカーガ プヨウキョクヌ ヌーンディユガ アジワイ ミョウミ テー	「むんじゆる」の場合は、少し柔らかく。今は一つ一つ仮名を付けるたびに力が入っているからね。「むんじゆる節」は全部、絃に仮名が付いているからね。そうすると、これのために力が入ってしまっ固くなるから、私たちが歌う場合はこの辺りは微妙に、ずっとくっ付けるではないから。外すではない。後追い。追っ付けて歌うから柔らかくなる。これは、また後からする口説も同じ。楽譜のように全部絃に当てる、ではない。追っ付。今はもう文句を言う人はいないけれども、これは昔とつつも10年ほど前だね。絃から外れているといっね、この追っ付の歌をするに注意された。少しづつ絃から後を追うようにして歌っていく。この辺が舞踊曲の何というかな、味わい、妙味というものさ。
カンペキニ ズラス チュン ウレー マタ カンペキニ ズラサングトゥ ワーシジキーシ スシガドゥ マタ ケーティ マタ チュラサン バーヌ アルバー ウタヌ ヒン ミタイナ ムンヤサ オナジ ノムラリュウ ヤティン ホゾンカイケイトゥ キョウウカイケイ ウリカラ デントウオンガク ウフェー	完全に外す人もいれば、または完全に外さないで追っ付で歌う人もいる。追っ付で歌うことが、またかえって美しい場合もあるわけ。歌の品、品格みたいなものだよ。同じ野村流でも保存会系と協会系、それから伝統音楽。少し違うから。最近はもう口説はどこも外し

キーワード	意味・動作など
チガイクトゥ サイキンヤ ナー クドゥチヤ ムル ハンディトーンヤ ケーティ ホンゾンカイガドゥ ユーズー キカントンヤ カナ ハンダカシェー カラー ヤームノー カナ ハンディトーン ンディ イラッタン	ているね。かえって保存会が融通利かなったね。仮名を外して歌うと「お前のは仮名が外れている」と言われた。
ワッター タイヤ ヒージーヌジウテー ソールグトゥ ウタイクトゥ イッターヤ ウヌママー ドゥナー ナターシ ウタイルグトゥシ ウタティンデー アトゥカラ チャングトルシ マーヌ カワイガヤーンディイチ ハナシスサ	私たち2人は日頃やっている地謡の歌をするから、あなた達はそのまま自分たちで歌ってみて。後からこのようにして、ここが違うねと話しするから。
トー アンシェー チューン マジョン ガンバラヤ	さあ、では今日も一緒に頑張りましょうね。
チューヤ サイグ ヤクトゥ ナママディ シツチャル ムトゥヌチバナ ムンジュル メーヌハマ タカデーラマンザイ チューヤ ミツチャイシ チカシクイレー	今日は最後の授業なので今までやってきた本貫花、むんじゅる 前之浜、高平良万歳、3人だけで弾いて聞かせてください。
ナー ワーガ チッカラ ゴシュウメ ヤシェーヤ ゴシュウメ ヤシガ メーナチ マイシュウ イヌクトゥ ビケー イイケーサー アヌ ウリル トクマ クレー ナマウティ ノーチャーカンネー チャー ウヌママ ナインド ウマー チャーシン ノーサントー	もう私が来てから5週目だよ。5週目だけど毎日、毎週同じことを話す、を繰り返し。あの下りていく箇所(四〜合)。これは今で直しておかないと、ずっとそのままになるぞ。何が何でも直さないと。
ブヨウトゥ ショウブテー ナー ワッター ウタンカイ ヒチクムガ ウリン ワカラングトゥシ タトゥイルンシェー ヌファブシ ナマヤ ダイタイ 24〜25 フン ヤシガ ワッターヤ テーゲー 20 フン サーニ スン ヘーサ カンジラサングトゥ ウタヤ ナガスン ヤクトゥ ウドゥイン カイ アーチャー ウラン ワッター ウタンカイ ヒチクディ イチュシン ジウテーヌ ウムサン トクマ ワッターガ サイショ ジウテー ハジミタル クルヤ ヌファブシ 20 フン コンクールヌ ジウテー ソール ジブンテー イチバン ミジカクテ 19 フンダイ ヤシガ ブヨウン ウタン ウムイイリ スンディ イヤーニ ウタヌ ウティティ チュールパー ンカシヤ サーラナイ ヤタン カシカキン ダイタイ ヌファブシヤ アヌ ジブンノー 21〜22 フン クライ ヤシガナー ウヌジブンカラ ダンダン ウドゥイヌ ニーク ナツチャータン ウヌ ケイコウガ アツカラ ワッターヤ ナー アンシェー ナラントゥ ヒージー ウタトル ウタンカイ リカ シーンダ ンディイチ ヤシガ ブヨウカ カイ サトゥララングトゥシ ドゥナーターシ ウタイル バーニ ヘーミンドー ディイチ スタン	舞踊との勝負だよ。私たちの歌に如何にして引き込んでいくか、これも分からないように。例えば伊野波節は、今はだいたい24〜25分台。だけど私たちはだいたい20分で歌う。早いということを感じさせないように歌を流していく。だから、踊りに合わせていくだけではない。私達の歌に引き込んでいくことも地謡の面白いところ。私が最初に地謡を始めた頃は伊野波節は20分。コンクールの地謡をしているところ。一番短くて19分台。だけれども、舞踊も歌も思い入れをするといつて演奏の速さが落ちて行くわけ。昔はさらっと流していた、かせかけも。だいたい伊野波節は21〜22分くらい。だけれども、あの当時から遅くなっていた。この傾向があったから、私たちはこれではいけないと、日頃歌っている歌にしようといつて早めた。けれど、舞踊家に悟られないように。自分たちで歌う場合は早めるよといつて演奏した。

キーワード	意味・動作など
ンカシヤ ニートゥイ マンナカヌチュガ サイシュヌ ゲン ウチンジャチカラ アトゥカラ ンナ ウーティチュールバー ナマヌ グトゥシ スシェー ワーガ ゲイダイ チッカラ ヌーンチ アンシ サガンディ イイネー ナガウタヌヤ マンナカニ タテ ンディ イール チュガ ウールバー マタ イチバン ヒジャイヤ トメ タトゥイルンシェー ゴメイ ウイネー マンカヤ タテ ウマカイ トメクヌ タイガ ウントゥーシ アースルバー タテヌ チュガ イヨ ンディ コエダシテ ワッターバーヤ クィーン ンジャサンシガ マンナカヌ チュガ ウントゥーシ ヤクトゥ ナマ ヤレー ニュウガクシキ トッカ ソツギョウシキ ウティ 20メイ 30メイ ヤティン イッセイニ ウトゥ ンジャスクトゥヤ ミーランシガ キ サーニ クシンカイ イチョール チュン メーンカイ イチョール チュガ エージ シーネー アーチ イチュン	昔は根取り、真ん中の人が最初の絃を弾き打ち出して弾くと、後から皆が追って入ってくるわけ。今のように一斉に全員で入るのは、私が芸大に来てからだね。どうしてこのようにしたかという。長唄の真ん中にタテという人がいるわけ。また、一番左にいる人はトメ。例えば5名いたら真ん中はタテ、ここにトメ。この2人がこのようにして合わせていく。タテの人が「イヨ」と声を出して。私達の場合は声を出さないが、真ん中の人がこのようにしてやる。だから、今だったら入学式や卒業式で20、30名でも一斉に音を出すからね。見えないけど気でもって後ろに座っている人も、前に座っている人の合図をすると合わせていく。

学生の反応・印象に残った言葉など

- ①比嘉康春氏とは初対面でもあり、終始、緊張気味ではあったが、指導を受けていくうちにのめり込んでいく様子だった。また、緊張し言葉は少なめではあったが、受講生を観察してみると、しっかりと比嘉氏の話や指導に耳を傾けながら頷いていた。比嘉氏の招聘については、受講生からの要望もあったこともあり、受講生も大いに刺激を受けたものと思う。
- ②前回より充実した指導に受講生も熱心に耳を傾け、演奏に反映させようとする懸命さが伺えた。「七」の歌い方については、すぐには演奏に反映することは出来なかったが、より美しい旋律の歌を作っていく意識を持ったのではないかと。または、比嘉氏の唱法、そうではない他者の唱法の違いも見出したのではないかと思う。また「七」の旋律の説明でゴールラインに例えたことで、受講生の注目が一気に上がったように感じた。この例えで「七」の美しい旋律の作り方をよりイメージできたと思う。
- ③「四〜合」に下ろしていく「次第下げ」の力が入った指導に、受講生も重要な唱法であるということを理解している様子であった。すぐに実践は出来なかったが、下す際のポイントや方法を何となくではあるが、掴みかけている様子であった。少なくとも意識づけはなされたと思う。休憩中の会話を通して、技法のほかに稽古の在り方や取り組み方を意識するようになったのではないかと。特に師匠の歌が一番のお手本であり、それを忠実に真似ていくことの重要性を学んだと思う。また、師匠によっても節回しや仮名付けが異なっていることも理解したと思う。
- ④4回目ということもあり、県外出身の2人もウチナーグチを雰囲気や掴むようになってきた印象を受けている。また、初回と比べると声量も上がり、さらには細かい節回しや吟法、仮名付けなどもより意識しはじめている様子である。歌全体の改善、変化が見受けられる。
- ⑤5回目ということもあり、ウチナーグチを全く分からない県外出身の学生も、会話の雰囲気や言葉を理解し始めている様子であった。また、実技に関しても「四〜合」に下ろしていく旋律の歌い方は習得できなかったが、間違った節回しということは理解している様子であった。この課題は、今後の授業で克服させていきたい。その他にも回を重ねることで、声量が変化をはじめ、節回しなど歌全体の精度が上がったように思う。また、比嘉氏の体験談などの話にも熱心に耳を傾けている様子が伺え、受講生それぞれが感じるものがあつたと思う。取り

上げた演目も予定していたものより1つ増えており、受講生も満足していると思う。

**今年度の授業について**

比嘉康春氏による地謡実技の授業が実施された。課題曲は当初「本貫花」「むんじゅる」「前之浜」を予定していたが、受講生の習得度が良かったこともあり、講師からの提案で「高平良万歳」にも取り組んだ。節回しをはじめ、メリハリを利かせた歌い方や仮名付けなど、より実践的な地謡指導が行われた。さらに会話は終始ウチナーグチで話され、本事業の趣旨が念頭に置かれていた。メリハリある話術に加え、さまざまな技法を体現した指導法は説得力があった。また、「むんじゅる節」「揚芋の葉節」「口説」「浜千鳥」の「七」の音程についての指導や解釈の話もあり、より美しい旋律の作り方や歌い方が伝授されていた。また、サッカーワールドカップのゴールラインを例えに出しながら解説するなど分かりやすく、また飽きさせない指導法、授業の運びは大変印象に残っている。休憩中の会話では比嘉氏の体験談の話が多くあった。師匠にもとに通っていた頃のこと、稽古における師匠とのやり取り、または自身での稽古法など、古典芸能を続けていく上での重要なヒントを多く与えていた。

**次年度への展望**

前学期同様に後学期も受講生のやる気を十分に伺うことができ、課題曲の予習復習もしっかりなされていた。授業の進み具合も大変スムーズで、課題曲も講師の提案で増えたことは大いに評価したい。また、演奏の習得も一定の成果を上げることができた。次年度も今回のような授業実施ができるよう努めていきたい。

**3-6 琉球古典音楽研究 (新垣俊道)**

実践授業 6：琉球古典音楽研究II

授業期間 令和4年6月29日～7月13日

授業回数 2回(特別講師を招いた講義回数)

対象学年及び受講人数 院2年次1人

**特別講師について**

比嘉康春(ひが やすはる)

1953(昭和28)年、東村出身。1973(昭和48)年、安富祖竹久氏に師事。

1990(平成2)年より沖縄県立芸術大学で教鞭を執る。多くの琉球舞踊、組踊の地謡を務め、1998(平成10)年には独唱曲53曲をリリース。2014(平成26)年に沖縄県立芸術大学第7代学長に就任。2期務めた。現在は沖縄芸能協会会長、伝統組踊保存会副会長を務めながら国指定重要無形文化「組踊」保持者として、実演活動はじめ後進の育成にも尽力している。

**しまくとぅばキーワード**

キーワード	意味・動作など
(仲節、長ぢやんな節について) ワッター シンシーヌ レコーディングヤ チョウセンサシガ ムルナランディイヤニ ナガヂヤンナヤ ウッチャンナギター ヤクトウ ワッター シンシイーターン シミソーランタン	私の先生もレコーディングでは挑戦したが、全部はできないと「長ぢやんな節」は諦めた。だから、私の先生達もやらなかった。
ウタヤ ジョートーヤシガテ ソフト イッパー ヤファラサン サイショヤ ウヌアタイ リッパリッパ ハクイッティ ウリカラ ヌジイチュルバー アンシ リッパ イッティカラ アトゥヤナー ウタイコンデ イチュシンデー ヤファラクナティイチュクトウ ナマー サイショカラ ヤファラサクトウ ムルイヌ ナガレシ イチュクトウテ。	歌は良いがソフト、とても柔らかくしすぎ。最初はこのくらい立派に拍を入れて、それから力を抜いていくのだよ。このように立派に入れたら、あとはもう歌いこんでいくに従って柔らかくなっていく。今は最初から柔らかすぎ。全部同じ流れで行ってしまっているからね。
ナガヂヤンナ ナカブシヤ タダ ガクフ ドゥーイウーティ ウタイネー チ Chol チュヤ ナンベラシ チカリールクトウ シツカリ チカラグア イッティ シチャワタンカイ チカラ イッティ シーネー フシヌ ノウタンヌ ンジークトウ	「長ぢやんな節」「仲節」は、ただ楽譜通りに追って歌うと聞いている人は、だらけたように聞こえるから、しっかり力を入れて、下腹に力を入れて歌うと節に濃淡が出てくる。
トウスイガ ウタイネー キンリョウウジン トウカイサガワシンシーターガ ウタイネー アヌチュターヌ キョウチガ アクトウ フシン ヤファヤファートウ ナガリーグトウヤシガ ヤシガ ナマー パカパカ リッパイッティ	年寄りが歌うと、金武良仁とか伊差川先生が歌うと、あの人達の境地があるから節も柔らかく流れるように歌っているけれども、今はあなた達はしっかり節を入れなさい。
クイヌ ウッサヌムヌガ ハバガ ウントウーシ ドント ウリティチューン アガティ イチュルバーヤクングトウーシ ホソクナティ イチュシュガ クンドー サガイルバーヤ ハバグア ンジャチ ウリティチューン ウントウーシーネー ウタガ イッパー ウティティチュン クィーヌアルチュヤ ウマウティ ナーウフェー ウスレーカラー イイウタグア ナイン ウマリカーヤ マジュン ウタトーティ ウマー ナーウフェー チュークサギレーヤンディ ウムイル バーインアン アンシーネー ウタンカイ ウムイヌ イッティチュールバーヤサ マギク ンジャスン チムエーヤアランシガ ウマンカイ ジン チックムル カンジャヤサ	声のこれだけのものが、幅がこのようにドンと下りて来る。上がっていく時は、このように細くしていくが、今度は下がる場合は幅を出して下りてくる。こんな風にしたら、歌がとても落ち着く。声のある人は、ここにもう少し抑えるといい歌になる。この辺は、一緒に歌っていると、もう少し強く下げればなと思う場合もある。そうしたら、歌に思いが入ってくる。大きく歌うのではない。ここに吟を突っ込んでいくような感じだよ。
フシイリヤ ジョートー ヤシガ フィ アシェーヤ ナーウフェー チカラグア イリネー イッパー ジョートー ナインテ	節入れは上等だけれども、「振り」があるだろう、これをもう少し力を入れたら、とても上等なるよ。
タトウイルンシェー ワッターガ トシミチ イツオカズキヌ ウタチチン ナー オンテイモ クルワナイ クィーン マッシュグ ンジーン テンポモ クルワナイ ヤシガ マーガラ ウフェー ムヌタラン サヤー ンディ ウムイネー ウマリカー フシヌ	例えば私たちが俊道、逸夫、和樹の歌を聴いても音程は狂わない、声も真っすぐ出る。テンポも狂わない。だけれども、どこか少し物足りないと思ってね。この辺かな、節の濃淡、ずっと言ってきたいるが濃密な節の入れ方が

キーワード	意味・動作など
ノウタン チャーイチョーシガ ノウミツナ フシヌ イリカタヌ タラン ウマリカテー チム ヌシティ ウタインディイシェー	足りない。このへんだよ、肝を入れて歌うと いうことは。
マルケーテー ウッター ウタ チチャーニ ワンネ ー ヤーカイ ケーヤニ ワン アンシ アビトー ガヤンディ ウムティ クィーヌ カナーンシガ フ シナサキトゥカ ウマリカヤレー ナマ トゥシヌク ーヤサ ヤクトゥ セイショウヌ バアイヤ ウリシ シムシガ ドクショウヌ バアイヤ ナーウフェー ナ ーメーメーヌ コセイヌ ンジャセーンディ イチ ョーン サンメイ ヒョウシン ミダリラン ヤシガ ドクショウ シチン ターヌ クィーガ ワカラン ワカイシェー ワカイシガ ナーウフェー トシミチ ヤトシミチヌウタ イツオヤイツオヌウタ チカサン ネー	たまにこれ達の歌を聴いて、私は家に帰って から私もこんな風に歌っているのかなと思っ てね。声は適わないけれども、節情けとか、 この辺だったら今も年の功だよ。だから、齊 唱の場合は良いけれども独唱の場合は、もう 少し各々の個性を出しなさいと言っている。 三名、拍子も乱れない。だけど、独唱をし ても誰の声か分からない。分かる時は分かる けれども、もっと俊道は俊道、逸夫は逸夫の歌 を聴かせないとね。
ワンガヨー ニジュダイカラ サンジュウダイニ カ ケテノウタ サイキン キクワケ ドウクルシ イ イシン イフナーヤシガ アフソタケヒサ マッタ チ ソレガ ナマー ナランナトーン ウトゥヌ ト ウイカタヌ チガティチョーン ナー ンカシヌグ ウシ シンシーヌ ネービ ナランナティチュール バー ダカラ ナマヌ ワンウタトゥ ヨンジュウダ イヌ ウタトゥ ワカイルチュガ ヤスハルヌ ウタ ー ウフェー カワティネーラニ アンスカナーマデ イ カワトールンディ イラッタクトウンアン アフ ソタケヒサモ アンヤタン シンシー ウター カワ トーサヤー ンディイチテー	私がね、20代、30代にかけて歌、最近聴く わけ。自分で言うのは変だけれども、安富祖 竹久に全く似ている。それが今は出来なくな っている。音の取り方が違ってきている。も う昔のように先生の真似が出来なくなってい るのだよ。だから、今の私の歌と40代 の歌と分かる人が康春の歌、少し変わってき てないか？こんなまで変わってきていると言 われたことがある。安富祖竹久もそうだった。 先生の歌、変わってきているねとって。
ナマヌ コクリツ ケンシュウセイトゥカ アルイヤ トシミチ イツォ リイチミツチャイガ ウタレー カラー ナー ターガターガ ワカラン ギャクニ ウマンカイ アイ リイチ イッチョーサ イツオヌ イッチョーサ トシミチン イッチョーサー ウリ ワカランネー ナランバー トコロガ サイキンヤ ターガウタヤガヤー ンディイチ ワカランナト ーン	今の国立研修生とか、あるいは俊道、逸夫、 吏一の3人が歌うと、もうね誰かも分からな くなっている。逆にここに、吏一が入ってい るね、逸夫、俊道が入っているねと、これ が分からないといけないわけ。ところが、最 近は誰の歌かな？と分からなくなっているの だよ。
アラカジメ ナミヒラクンカイ イチョーチュシガ クヌ ジュギョウヤ キホンテキニハ ウチナーグチ チカティ スル ジュギョウ ヤシガ ウチナーグ チサーニ セツメイ シーグルサン トゥクマー ヤ マトゥグチ マンチャーシ スクトゥヤ ヌーンディ ガ イイネー ワッターン チークヌバーネー シン シーヤ ムル ウチナーグチシェー スル シンシー ヤ ウランタン ゴイヌ イキラサクトゥ セツメイ スシヤカー ウーティクワ ンディイチ ソータ ン	予め波平君に言うておくが、この授業は基本 的にはウチナーグチを使って行う授業ではあ るが、ウチナーグチでは説明できないところ は標準語を混ぜて指導する。どうしてかとい うと、私たちも稽古の場合、先生は全部ウチ ナーグチで指導する先生はいなかった。語彙 が少ないから説明するよりかは、私の演奏に 追ってきなさいというような指導だった。

キーワード	意味・動作など
ンカシェー ウマー ジンイキゴウ ンディイヤーニ サギジン チューク イリルグトーシ	昔は、ここは吟位記号と言って、下吟は強く 入れるように。
サギジンヌ バーイヤ ウフェー ウシクムル グト ーシ ワンネー カンシ ウタトーン ワッター シ ンシーン カンシ ソータン	下吟の場合は、少し押し込むように。私は、 このように歌っているし、私の先生もそうし ていた。
ウフンカシブシ トゥカ ンカシブシヤ ウンナフ ジーヌ フシヌ イリーシドゥ ウムシルミヌ アン バー ウリ タダ ナンベラーシ ウタレーカラー マチガターウランシガ ヤシガ ヌーヌ アジン ネ ーンシェー ウマンカイン ウヌフージーヌ フシイ リール クトゥニ ユッティ サギジン アギジンガ シッカリ シェーカラー ウタヌ メリハリ イル ヌ チチュル	大昔節とか昔節は、このように節を入れてい くことに面白味がある。これを、ただ締め りなくだらけて歌ってしまうと、間違いでは ないけど何の味もない。ここに、このよう な節を入れることによって、下吟、上吟がし っかり入ることで歌のメリハリ、色が付い てくる。
コテンヌ レンシュウホウヤ ナカナカ トゥミテ ー サングトゥヤ ナミヒラクンヤ クンドー ウリ ガクフシ ウビラングトゥ カラダシ ウビラ ントーナラン サギーヌ バーイヤ サガイン アギーヌバーイヤ アギーン カラダンカイ シミックマーサントーナラン ヤクトゥ ガクフ ンジャーニ ウビティチーネー ウマー サギジン アカトゥカ クルトウ カ チブルヌ ナカウトーティ ガクフ ウムイ ウカピランティン フシ ウビレーカラー カラダンカイ シミックマセーヤー	古典音楽の練習法は、なかなか止めてはし ないからね。波平君は、次は楽譜で覚える のではなく身体で覚えないといけない。下 げの場合は下がる。上げの場合は上げてい く。体に染み込ませていかないとけない。 だから楽譜を見て覚えてきたら、ここは 下吟、赤とか黒とか頭の中で思い浮かべ なくても節を覚えていったら身体に染み 込ませていくように。
コテンヌ シンズインディ ヌーヤガンディ イイネー ウヌフージーヌ ジントゥ フシガ マジュン ナヤーニ イチュルク トゥ	古典音楽の神髄は何かと言うと、このよう な吟と節が一緒になっていくことだ。
ワッターヤ シンシーカラ ナライル バーイヤ シンシーヤ ワンネー カンシウタトーミ ンディイ ヤーニ ヤクトゥ ウビティ ウシガ ウビティ クーケー シー ドゥーイ ウタイシガ ワンネー アンシ アビテ ーウラン ナインバー ウマンカイ フィヌ ア ギジン サギジンヌ ムル クビチューネー ラン ヤクトゥ ンカシンチュ ヌ ウター トクニ ワ ッター シンシーター ヤーナー ハマティ クーケーシー ピン チョー ソークトゥ ウヌフージーヤ カラダンカイ シ ミチョールバー フカヌ シンシー ターヤカー ワン ムノー ウフェー チューサガラ ワカラン ヤシガ ウヌアタイ ア ギジン サギジン ヌ クビチヌ チカンデー ヤクトゥ ドゥー ヌ シンシー フミール ワケー イカン シガ ンカシ ヌ アフソシン シーターヌ ウタヤ ウタ ヌ メリハリ インエイガ ハッキリ ソー ン	私たちが先生から教わる場合は、先生は「私 はこのように歌っているか？」と言っていた。 覚えているけど、楽譜を通りに歌っている けど「私はこのように歌っていない」となる わけだ。これは節の上吟、下吟の区別が全 くないとの指摘だ。昔の先生たち、特に安 富祖先生は懸命に楽譜を勉強しているから 、このような節などは身体に染みついでい る。他の先生たちよりか私の歌は少し節 入りが強いかもしれない。だけど、これ くらい上吟、下吟の区別がつかないと。私 の師匠を褒めるわけにはいかないけれど 、昔の安富祖先生たちの歌はメリハリ、 陰影がはっきりしている。

学生の反応・印象に残った言葉など

- ①比嘉康春氏とは初対面でもあり、終始、緊張気味ではあったが、指導を受けていくうちにのめり込んでいく様子だった。受講生は比嘉氏に憧れており、受講することの嬉しさや感動を覚えている様子がひしひしと感じた。また、一回目の授業から密度の濃いより実践的な指導に驚きながらも、一つでも多くのことを習得しようとする姿勢が伺えた。また、実技以外の比嘉氏の体験談や芸論についても、熱心に耳を傾けていた。
- ②細かい指導法で驚いている様子ではあったが、楽譜に記されている表面だけではないより深い表現法、唱法に傾き納得している様子であった。また、楽譜の読み方や捉え方もより深くなった印象を受けている。その後の演奏にも変化が見られ、本授業の成果を見ることができた。

今年度の授業について

比嘉康春氏による授業が行われた。楽譜通りに歌うことはもちろんのこと、曲想を理解した歌唱、発声の重要性を伝授していた。また、年齢に応じた歌い方、節入れ、さらには節を上げていく、または下げていく際の声の出し方、調子などより細やかな指導がなされた。特に上下・下吟を区別した歌の指導は徹底していた。大学院という学部とは異なる高度な指導法を意識しているように感じた。実技指導の合間には比嘉氏の体験談をはじめ、様々な芸論などの話は大変参考になった。会話は、ほとんどがしまくとぅばで話され、本事業の趣旨を理解した授業実施が意識されていた。

次年度への展望など

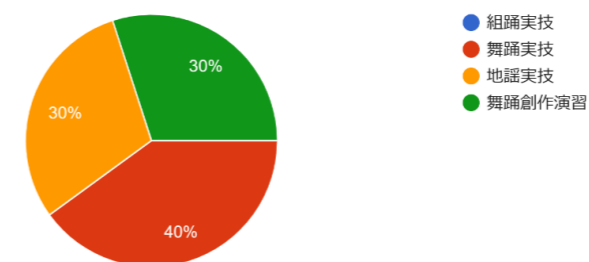
当初、5回の授業実施を予定していたが、受講生や講師の体調不良、または濃厚接触者（コロナウィルスによる欠席があり、2回のみの実施となったのが反省点である。受講生は2年生で修士演奏や副論文の提出等も控えていたこともあり、振替の授業実施も行えなかった。次年度はコロナ対策も緩和されるため、このような事態は発生しないと思われるが、振替の授業実施も踏まえた計画を立てていきたい。

3-7 学生による授業評価アンケート

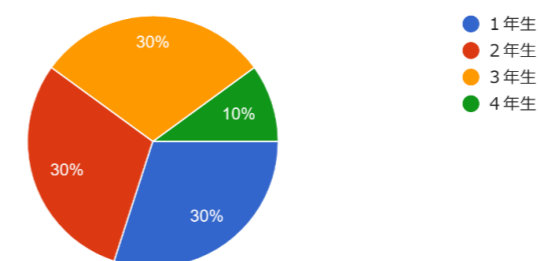
3-7-1 学生アンケート結果 (R4・前期)

令和4年度【前期】県芸しまくとぅば実践教育事業 授業評価アンケート

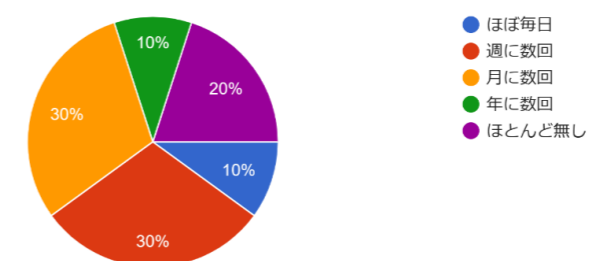
受講した授業名にチェックをお願いします。  
10件の回答



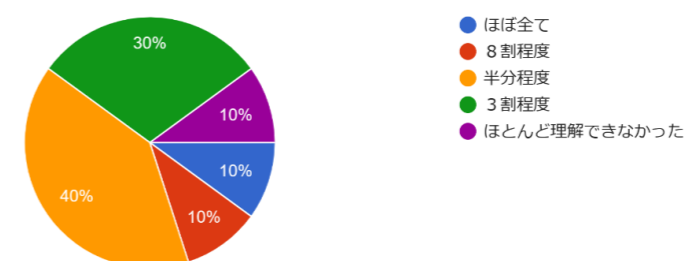
あなたの学年を教えてください。  
10件の回答



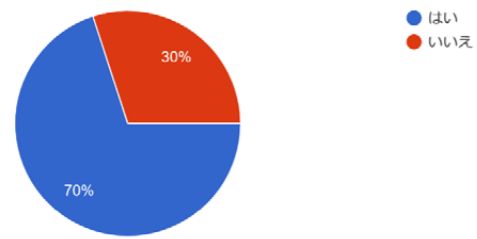
1-①この授業を受けるまで、しまくとぅばに接する機会はどのくらいありましたか。  
10件の回答



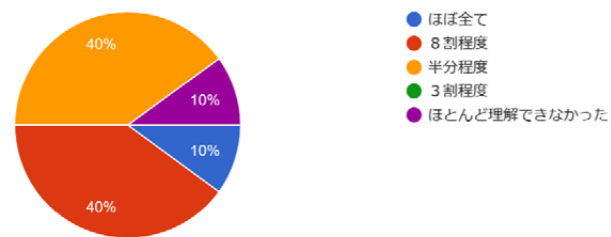
1-②この授業を受けるまで、しまくとぅばをどれくらい理解できましたか。  
10件の回答



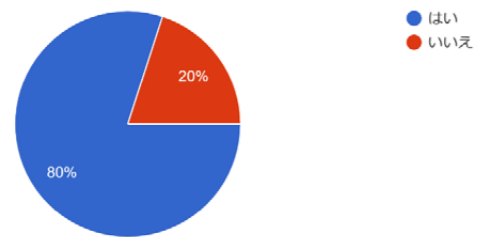
1-③この授業を受けるまで。しまくとぅばを意識していましたか。  
10件の回答



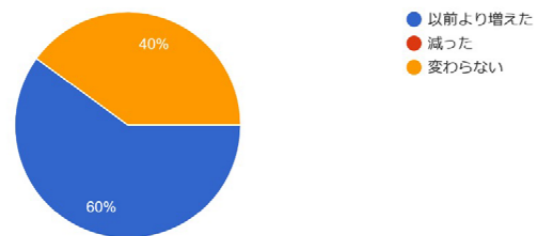
2-①この授業を受けている間。授業内で使用されたしまくとぅばをどれくらい理解できましたか。  
10件の回答



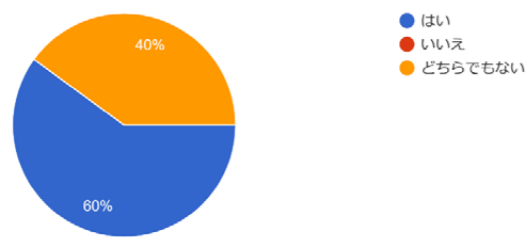
2-②この授業を受けている間。しまくとぅばを以前より意識していましたか。  
10件の回答



2-③この授業を受けている間。授業外でしまくとぅばを使用する機会はどのくらいありましたか。  
10件の回答



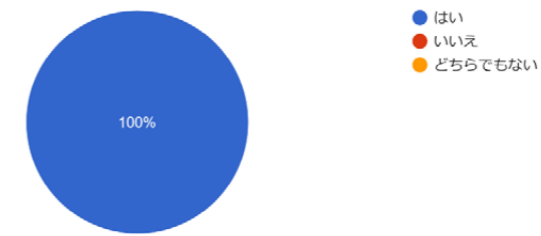
2-④この授業を受けている間。しまくとぅばに...での指導と比べて理解しやすかったですか。  
10件の回答



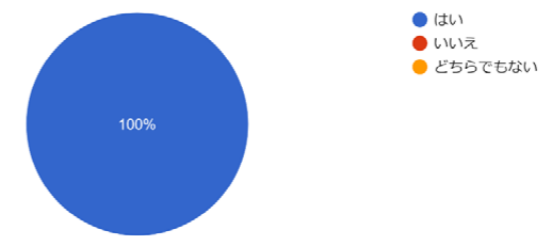
3-①今後について。しまくとぅばに接する機会を増やしたいと思いますか。  
10件の回答



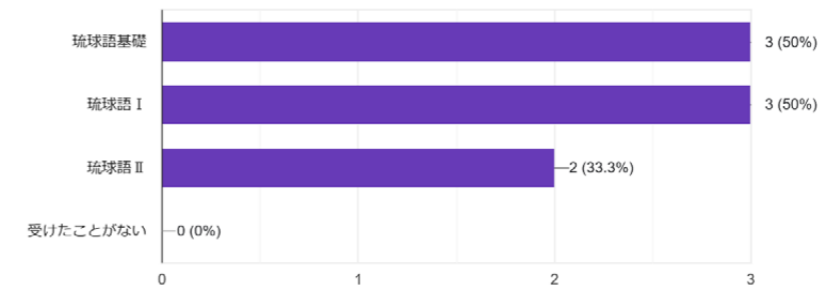
3-②今後について。しまくとぅばをもっと学びたい・使いたいと思いますか。  
10件の回答



3-③今後について。しまくとぅばでの実技の授業をまた受けたいと思いますか。  
10件の回答



4 下記の授業を受講された方は授業名にチェックをお願いします。(複数回答可)  
6件の回答



5 授業の感想・意見、印象に残っている言葉などがありましたらご自由にお書きください。

6件の回答

- ・今、先生方も自分達のような世代の人と話す時、方言はほとんど使わないとおっしゃっていたのが印象に残っている。
- ・立方の踊りを生かす歌い方を心がけるようにできた。五十音表があったので、標準語語をしまくとぅばに変換するのがわかりやすかった。
- ・初めてしまくとぅばによる授業を受けて、きれいなしまくとぅばを使えるようになりました。

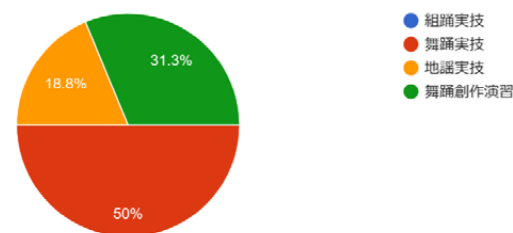
- ・琉球舞踊という伝統芸能を学んでいるので、しまくとぅばでお稽古することに意義を感じました。しまくとぅばで教えていただくことで、長きにわたって伝わってきた所作のイメージを、言葉そのものから感じとれるような気がしました。
- ・しまくとぅばでしか表現できないような所作のコツなどを教わりより理解が深まったと思う。今後も意識しながら取り組みたい。
- ・日常会話であまり聞き覚えのないしまくとぅばがあり、まだまだ方言はあまり使えていないと授業を通して思いました。授業で習ったしまくとぅばも色々な場所や場面で使えるので、これから自主的に使っていこうと思いました。

### 3-7-2 学生アンケート結果 (R4・後期)

#### 令和4年度【後期】県芸しまくとぅば実践教育事業 授業評価アンケート

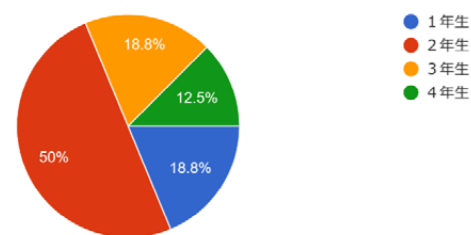
受講した授業名にチェックをお願いします。

16件の回答



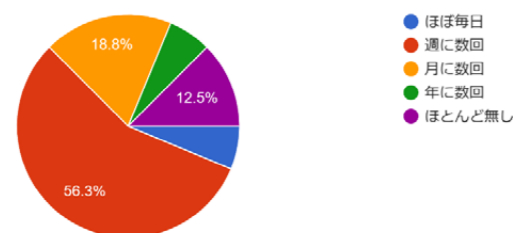
あなたの学年を教えてください。

16件の回答



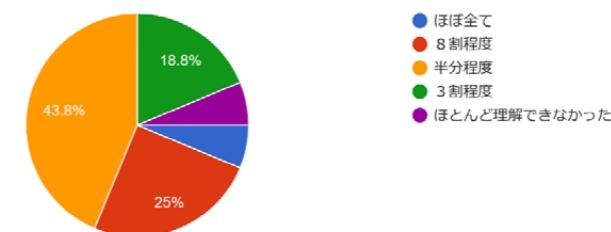
1-①この授業を受けるまで。しまくとぅばに接する機会はどのくらいありましたか。

16件の回答



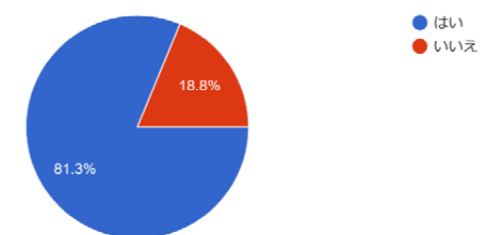
1-②この授業を受けるまで。しまくとぅばをどれくらい理解できましたか。

16件の回答



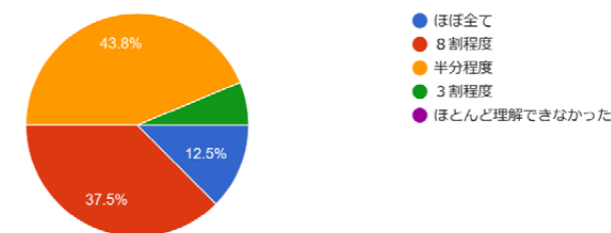
1-③この授業を受けるまで。しまくとぅばを意識していましたか。

16件の回答



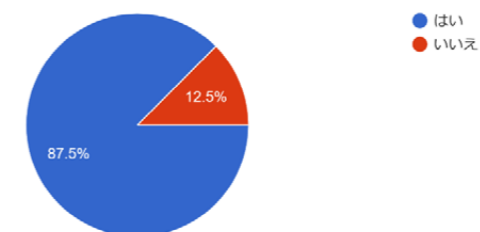
2-①この授業を受けている間。授業内で使用されたしまくとぅばをどれくらい理解できましたか。

16件の回答



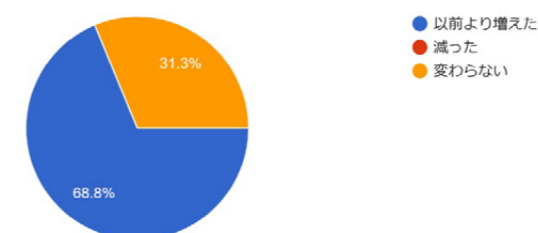
2-②この授業を受けている間。しまくとぅばを以前より意識していましたか。

16件の回答

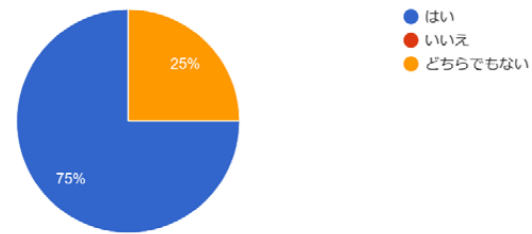


2-③この授業を受けている間。授業外でしまくとぅばを使用する機会はどのくらいありましたか。

16件の回答



2-④この授業を受けている間。しまくとぅばに...での指導と比べて理解しやすいと感じましたか。  
16件の回答



3-①今後について。しまくとぅばに接する機会を増やしたいと思いますか。  
16件の回答



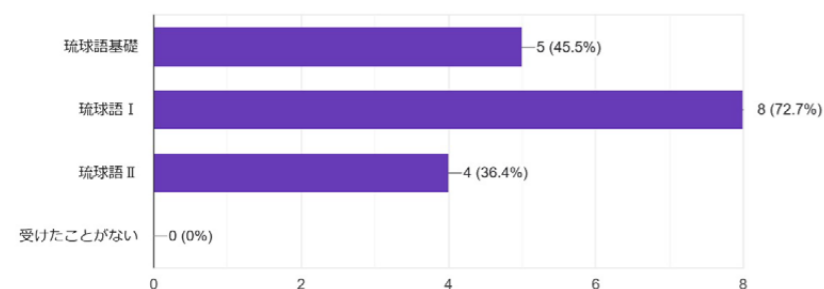
3-②今後について。しまくとぅばをもっと学びたい・使いたいと思いますか。  
16件の回答



3-③今後について。しまくとぅばでの実技の授業をまた受けたいと思いますか。  
16件の回答



4 下記の授業を受講された方は授業名にチェックをお願いします。(複数回答可)  
11件の回答



- 5 授業の感想・意見、印象に残っている言葉などがありましたらご自由にお書きください。
- ・個性が踊りを見て感じとられて先生がおっしゃっていてとても感動しました。これからもしまくとぅばを学んでいきたいです。
  - ・しまくとぅばを使って踊りの動きを教えてもらうというのは、とてもいろんな意味で勉強になりました。今後も少しずつしまくとぅばを覚えていながら、日常生活でも活用していきたいです!!
  - ・初代家元の残した言葉を細かく説明して下さい、標準語とは違うしまくとぅばならではの“味”を感じた。感じ方や考え方も変わってとても楽しく感じる。
  - ・しまくとぅばの授業はとても勉強になり今後とも続けてほしいと感じています。
  - ・しまくとぅばで授業を受けることができ普段と違い学びやすかった。
  - ・しまくとぅばを使って指導することでより深く理解することができた。
  - ・しまくとぅばでしか表現することの出来ないことがたくさんあっておもしろかったです。
  - ・しまくとぅばを分かるようになってから、琉歌の意味をより深く理解できるようになりました。
  - ・しまくとぅばでの授業だったので、部分部分は理解することが出来たがわからない単語があったので、これからも学んでいきたいと思った。
  - ・ニュアンスや話のながれから意味を感じとることはなんとなく出来たが、しっかり理解するまでにはもっとしまくとぅばに触れていく必要があると感じた。

### 3-8 しまくとぅば関連授業の取り組み

#### 3-8-1 琉球語 (仲原)

##### 「琉球語」関連授業の取り組み

仲原 穰 (沖縄県立芸術大学芸術文化研究所共同研究員 / 沖縄県立芸術大学非常勤講師)

実施期間：令和4年4月6日～7月28日(琉球語Ⅰ)、令和4年10月6日～令和5年2月7日(琉球語Ⅱ)、令和4年4月11日～7月25日(琉球語基礎)

授業回数：「琉球語Ⅰ」(15回)、「琉球語Ⅱ」(15回)、「琉球語基礎」(15回)

受講年次：「琉球語Ⅰ」 琉球芸能専攻 15人(学部4年生2人、3年生3人、2年生10人)

「琉球語Ⅱ」 琉球芸能専攻 4人(学部4年生1人、2年生3人)

「琉球語基礎」合計35人、**琉球芸能専攻 7人**(学部1年生6人：琉球古典音楽コース3人、琉球舞踊組踊コース3人、学部2年生1人)

(琉球芸能専攻以外の受講生：**美術・工芸学部 14人**〔1年生5人、2年生2人、3年生3人、4年4人〕、**音楽学部 15人**〔1年生11人、3年生4人〕)

担当教員：「琉球語Ⅰ」「琉球語Ⅱ」「琉球語基礎」仲原 穰

#### 1. 科目について

##### ①「琉球語Ⅰ」(前期2単位)

「琉球語Ⅰ」は、現在音楽学部琉球芸能専攻の2年生「必修科目」となっている。受講生は琉球芸能専攻の学生ではあるが、彼らは日常会話で琉球語を話せず、琉球語母語話者の日常会話をきちんと聞き取ることも難しい状況である。

今年度の「琉球語Ⅰ」の受講生は15人が受講した。このうち、過去に「琉球語基礎」を受講した学生は5人であった。それ以外の10人の受講生は琉球語関連科目群の科目を初めて受講する学生であった。

受講生の多くが琉球語の基礎を知らない学生であったため、今年度も基礎の基礎となる初歩

的な内容からスタートさせた。COVID-19に対する今年度前期開始時の音楽学部における対応としては、演習科目以外の科目は遠隔で実施するということがあったが、第1回～第3回までは遠隔授業を実施し、第4回以降は対面で実施することになった。しかし、第4回になってもCOVID-19の状況が改善せず、他大学の授業が遠隔で実施されることになり、授業のために移動する時間が30分しかない状況では、自宅から沖縄県立芸術大学への移動が物理的に難しいこともあり、結局、第5回以降も遠隔授業を実施することになった。第15回の期末試験は対面で実施できたが、ほぼ遠隔での授業であったため、予定していた「授業計画」の「到達目標」に届くことはできなかった。

## ②「琉球語Ⅱ」(後期2単位)

「琉球語Ⅱ」は選択科目である。「琉球語Ⅰ」の進度に遅れがあったため、シラバスに掲載した「到達目標」に達することができなかった。第1回は対面で授業を行えたが、他大学の遠隔授業の影響により、後期も第2回以降は遠隔授業になった(授業開始時刻が10分近く遅れてしまうため。上記の「琉球語Ⅰ」の遠隔への切り替えと同じ理由)。ただし、期末試験は対面で実施した。

なお、「琉球語Ⅱ」の特徴でもある毎時間の終了時の「沖縄語スピーチ」は、第6回から第14回まで実施することができ、有意義であった(第1回～第4回までは日本語にてスピーチしてもらった)。講義終了5～10分前に授業を終え、授業内容のまとめと感想を受講生全員に述べてもらった。第5回～第13回までは受講生に日本語でコメントしてもらい、その日本語部分を教員が沖縄語に翻訳し、それを暗唱してもらった形式に変えた。また、冒頭の挨拶部分や途中の定型化できる部分は暗記してもらった。また、授業で暗唱した自分のスピーチ内容をTeamsの個人用チャット機能で、授業後2日以内を目安に提出してもらった。

後半の授業(第10回～13回)になると、コメントの一部を自分で沖縄語に翻訳できる受講生が出てきた。その理由として、受講生が4人であったため、一人あたりのスピーチ指導に時間を多く割ることができたこと、さらにそれをチャットで文章として入力することにより、受講生の沖縄語の能力が向上したこと、他の学生のコメント時に参考となる表現が出てきたら、メモしておくよう指示したこと等があげられよう。

ただし、「しまくとぅば教育実践プログラム」とのコラボレーションとして「特別講師」を招いて行う「しまくとぅば講話」は特別講師のスケジュールとの折り合いがつかず、今年度も対面で実施することができなかった。その代わりとして、今年度は「第8回 誇らしゃしまくとぅば」(講師：比嘉康春・比嘉聡)「ダイジェスト版」を授業内で閲覧し、しまくとぅば(このうち、「沖縄語」)を聞き取り、理解してもらった実践を実施した。

## ③琉球語基礎(前期2単位)

「琉球語」に初めて触れる学生向けの科目が「琉球語基礎」である。受講者35人は、比較的多い受講数であった。また、琉球芸能専攻の学生の受講も7人と多かった。これは担当教員からの助言があったことと推察される。

琉球語基礎では、琉球語の名称や範囲、下位区分、琉球語の現状(消滅危機の度合いや沖縄県や市町村の取り組みの紹介など)を行い、単語を聞き取るための基礎となる発音の特徴について学んでから単語の語彙力を増やす取り組みを実施した。今年度も単語力の確認となる「ミニテスト」の実施や語彙のグループごとに覚える取り組みなどの取り組みを実施した。

また、昨年度に引き続き「リーディング」を取り入れた。沖縄語に翻訳された名文を担当教員が読み、受講生が聞き取る。その後、教員の発音を真似て、受講生に沖縄語の文を読んでもらう。最後は指名した学生に1段落ずつ発音してもらい、発音、アクセント、イントネーション、プロミネンスにミスのある学生には適宜発音指導を行った。

本科目も全15回(期末試験を含む)全てが遠隔での授業であったため、リーディングも1回し

か実施できなかったが、授業後のコメントシートでは非常に好評であった。

次年度以降、リーディングの回数を2回以上に増やすことができると考えている。

## 2. 本事業との関わりとコロナ禍による接点作りの難しさ

### 2-1. 「琉球語」関連科目と「特別授業」との関わり

本関連科目の受講生は、なかでも琉球芸能専攻の学生は、「琉球語」で紡がれた詞章を謡い、踊り、継承されてきた「琉球芸能」を学んでいる。必修や選択のメインの科目で体得してきた琉球芸能と「座学」に近い科目である「琉球語関連科目群」(琉球語基礎、琉球語Ⅰ、琉球語Ⅱ)はまさに車の両輪と同様であり、一方の科目の修練で理解できた内容に加え、もう一方の科目を修めることによって「一段深い習得」「日本語への変換なく味わえる楽しさ」を味わうことができる。「琉球語」関連授業のうち、「琉球語Ⅰ」「琉球語Ⅱ」の授業のなかで、特例授業の実技でご協力いただいている「特別講師」の先生方にご協力いただき、「琉球語Ⅰ」「琉球語Ⅱ」の授業にて「しまくとぅば講話」を実施している。ただし、近年は直接教室に来てお話いただくことができない状況が続いているため、次年度以降も特別講師による対面での協力が得られない場合は、過去の映像教材を活用した授業になることも十分に予測される。

この「琉球語Ⅰ」「琉球語Ⅱ」は、琉球芸能専攻の学生の受講が100%となっている。本来は音楽学部の科目であるが、「琉球語基礎」で興味を抱き、より深く学びたいと考えた学生であっても「琉球語Ⅰ」「琉球語Ⅱ」を受講することは不可能ではないが、琉球芸能専攻以外の学生が受講することは基本的には難しい状況にある(「琉球語Ⅰ」が琉球芸能専攻の必修科目であることも影響しているかもしれない)。

### 2-2. コロナ禍における接点作りの難しさ

本事業との関わりとして、過年度においては「琉球語Ⅰ・Ⅱ」の授業に実技で「しまくとぅば実践」をご指導いただいている「特別講師」を招いて講話してもらっていた。その際、「琉球語Ⅰ・Ⅱ」の「しまくとぅば講話」に過去に担当したことのない特別講師に講話を依頼してきた経緯がある。その理由として、この講話が「琉球語Ⅰ」「琉球語Ⅱ」の受講生に限定せず、琉球芸能専攻の1年生～4年生の聴講を認めていたため、講話の重複を避けることが主な要因である。

しかし、2年前から、「しまくとぅば講話」に特別講師を招くことができなくなっている。講話を依頼できる特別講師のスケジュールや体調の影響もあるが、同じ講師に講話をお願いしないという上記に述べた基本方針が影響している。

次年度は、過年度に依頼した特別講師にも依頼し、前期・後期にそれぞれ2回程度の講話が可能になるように調整する所存である。その実現のためにも、次年度は本授業に参加しているすべての方々にも力を貸していただきたいと願っている。

ただし、1.の②でも述べたが、「しまくとぅば講話」の代わりに、「誇らしゃしまくとぅば」という一般向けのしまくとぅば講話の動画のダイジェスト版を受講生に見せ、所見で聞き取れるかどうか、意味をどの程度理解できるかについての授業を実施した。次節はその結果を述べる。

なお、動画を聞きながら、聞き取れた沖縄語(ウチナーグチ)をメモしながら書くよう伝え、途中で動画を止め、書き込む時間を設けるなどの配慮をした。なお、以下のコメントは動画を閲覧後、各受講生がTeamsの個人用チャットで送ってきた課題から抜粋した。

## 3. 「琉球語Ⅱ」の「特別授業」(しまくとぅば講演会)を受講した受講生のコメント

### 3.1 「琉球語Ⅱ」の「特別授業」の受講後にアンケート形式で答えてもらった。

以下に紹介する。

#### 3.1.1. まず「今日のお話を聞き、初めて知ったこと、または、感じたこと(感想)を以下に書いてください。」について、以下のコメントがあった。

①やんばるでは、海で遊んだり川で遊んだりしていたことしか覚えてないという聡先生の言葉にとても 共感出来ました。康春先生が、辺土名高校へ進学した際に、色々な所からやってきた学生たちに方言が通じず、とてもやりにくさを感じたことを知り、同じ沖縄でも場所によってこんなに言葉が変わることを改めて感じました。たったひとつの出来事が大きな原動力になって、とても活躍されて地域に貢献しているのは、凄いことであり、私も目指す場所であると感じました。

②私は、お二方のお話を聞いて、感じたことは、康春先生は、北部の育ちなので、方言にを頻繁に使っていたが、聡先生は、那覇の生まれだったため、あまり家族内でウチナーグチを使う機会があまりなかったということが分かりました。また印象に残ったことは、康春先生は、三線を習う時、親の力を借りず、自分で稼げるようになってから始めたというのは、とてもすごいと思いました。

③しまくとぅば講座の映像を見て、生まれた時期はほとんど一緒でも、育った地域や場所によって沖縄語に対する考えが全然違っているように感じました。康春先生の高校のときに集まった友達、近い地域に居るはずなのに言葉が全然違うから方言が通じない、という言葉がとても面白かったです。地域の言葉があって、その違いを比較するということがいまの時代あまりすることが無いので、一度はわたしも経験してみたいなと思いました。

④康春先生が沖縄を離れてから琉球古典音楽に出会い、三線を習い始めたこと、高校では色々な地域から集まるため言葉が通じなかったことなど、今とは違う環境で育ってきた先生方の話はとても興味深く面白かったです。また、山原で生まれたけど那覇育ちの話や、校長先生に間違えて方言を使ってゲンコツされた話など、今は立派な先生方の少しチャーミングな一面が知れてとても良いお話でした。

3.1.2. 「この動画をどの程度聞き取れるようになりましたか？」という問いに対し、以下のコメントがあった。後半に授業の感想を入れたコメントもあった。

- ①60% ぐらい聞き取れたと思います。
- ②私は、今回の授業で90% くらいウチナーグチを聞き取れるようになりました。これから、もっとウチナーグチを聞き取れるように、なるべくウチナーグチを使うように心がけたいです。
- ③言葉の聞き取りは75% くらいかなと自分では思っています。琉球語を1年間学んでみて、聞き取る能力が少し上がった気がするので、これからも継続して勉強したいなと思います。
- ④書きとるのに時間はかかりましたが、聞くだけであれば7割ほど話を理解できていたのではないかなと感じます。あ、これは授業で聴き覚えのある表現だ、(アーニ形やクトゥなど。)と分かる部分もあったので、3年前の自分では分からない言葉だらけだっただろうなと思うと、時間をかけて琉球語を習得するのはとても重要だなと改めて感じました。昔の沖縄を知っている人たちの話を聞いてそのニュアンスや細かいところまで知るとなると、やはり標準語に直したお話よりも私たちが琉球語やしまくとぅばを勉強して生の言葉で聞いた方がより理解が深まる気がしました。しまくとぅばだからこそその伝えかた、ニュアンス、ユーモア、みたいなところはやはりその言葉だからこそ伝わるものだなと翻訳をされていてとても感じます。芸能に携わる身としても、沖縄や琉球の文化歴史を知っていくためにもっと琉球語を理解して、しまくとぅばを聞き取れるように勉強を継続していきたいと感じました。とても楽しい授業でした、ありがとうございました。

#### 4. まとめにかえて

今年度は琉球芸能専攻の学生のうち、「琉球語基礎」に1年生6人、2年生1人、「琉球語Ⅰ」に2年生10人、3年生3人、4年生2人、「琉球語Ⅱ」に2年生3人、4年生1人と多くの受講生が「琉球語」関連科目を受講した。

特に「琉球語Ⅱ」の受講生4人は受講に前向きであり、授業後のコメントでも一生懸命であったこともあり、4人とも受講前に比べて語彙力、語法ともに向上した。また、上記の授業後コメントにもあるように、沖縄語の会話を聞き取る能力は60%～90%という実感を得ている。今後、人前で何度か話す訓練を行えば、その場に応じた話ができるようになるものと期待される。

今年度は「特別講師」を招いての「しまくとぅば講話」を前・後期とも実施できなかった。次年度の状況はまだ不安定で読めないところも多いが、可能であれば「琉球語Ⅰ」で2回、「琉球語Ⅱ」でも少なくとも1回は「しまくとぅば講話」を実施し、まずはリスニング能力を上げていきたい。

「琉球語基礎」は、本学の学生全員が「琉球語」について触れあうことのできる唯一の科目である。次年度も「リーディング」を継続するとともに、「音読」など新たなカリキュラムも試す予定である。「自ら学びたくなる教材」の作成にも取り組んでいきたい。

### 3-8-2 詞章研究 (鈴木)

#### 講義概要

「詞章研究」講義は、前期に「詞章研究Ⅰ」、後期に「詞章研究Ⅱ」の内容で開催している琉球芸能専攻1年次の必修科目である。また、同専攻の2年次の必修講義である「詞章研究Ⅲ」は組踊における詞章を学ぶ講義である。担当教員は鈴木耕太である。講義テーマは「古典音楽・琉球舞踊に深くかかわる「琉歌」について学ぶ」こととし、本科目では沖縄の古典音楽や楽劇の詞章の基本をなす琉歌について、講義において詞章の語義・通釈・鑑賞を行っている。最終的に学生自身がこの琉歌形式になじみ、琉歌の韻律を体得し、琉歌の解釈が自力で出来るような知識と方法の習得をめざす。各講義のシラバスは以下の通りである。

#### 詞章研究Ⅰ

- 第1回：琉歌および琉歌集についての概説(琉歌集というテキストについて)
- 第2回：琉歌および琉歌集についての概説(詠み歌と唄について)
- 第3回：琉歌および琉歌集についての概説(琉球舞踊に用いられる琉歌と本歌について)
- 第4回：琉球舞踊の琉歌の解釈①古典女踊「作田」
- 第5回：琉球舞踊の琉歌の解釈②古典女踊「かせかけ」
- 第6回：琉球舞踊の琉歌の解釈③古典女踊「柳」
- 第7回：琉球舞踊の琉歌の解釈④古典女踊「天川」
- 第8回：琉球舞踊の琉歌の解釈⑤古典女踊「本貫花」
- 第9回：琉球舞踊の琉歌の解釈⑥古典女踊「諸屯」
- 第10回：琉球舞踊の琉歌の解釈⑦古典女踊「伊野波節」
- 第11回：琉球舞踊の琉歌の解釈⑧古典女踊「苧引」
- 第12回：琉球舞踊の琉歌の解釈⑨古典女踊「本嘉手久」
- 第13回：琉球舞踊の琉歌の解釈⑩古典女踊「稲まづん」
- 第14回：琉球舞踊の琉歌の解釈⑪古典女踊「瓦屋節」
- 第15回：琉球舞踊「女踊」の琉歌の解釈 まとめ

## 詞章研究Ⅱ

- 第1回：雑踊の琉歌の解釈①「花風」
- 第2回：雑踊の琉歌の解釈②「浜千鳥」
- 第3回：雑踊の琉歌の解釈③「むんじゅる」
- 第4回：雑踊の琉歌の解釈④「谷茶前」
- 第5回：雑踊の琉歌の解釈⑤「加那よー」
- 第6回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈①「かぎやで風節」(他、上巻に収録されているもの)
- 第7回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈②「金武節」(他、上巻に収録されているもの)
- 第8回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈③「特牛節」(他、上巻に収録されているもの)
- 第9回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈④「十七八節」(他、中巻に収録されているもの)
- 第10回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈⑤「茶屋節」(他、中巻に収録されているもの)
- 第11回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈⑥「永伊平屋節」(他、中巻に収録されているもの)
- 第12回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈⑦「散山節」(他、下巻に収録されているもの)
- 第13回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈⑧「仲風節」(他、下巻に収録されているもの)
- 第14回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈⑨「述懐節」(他、下巻に収録されているもの)
- 第15回：雑踊・古典楽曲の琉歌の解釈 まとめ

## 詞章研究Ⅲ

- 第1回：組踊についての概説①(組踊の歴史：1719年・1756年の冊封)
- 第2回：組踊についての概説②(組踊の歴史：1800年～戦前期まで)
- 第3回：組踊の詞章解釈「執心鐘入」①(着付・配役)
- 第4回：組踊の詞章解釈「執心鐘入」②(若松の出羽～あるじ女との問答)
- 第5回：組踊の詞章解釈「執心鐘入」③(あるじ女との問答～末吉の寺)
- 第6回：組踊の詞章解釈「執心鐘入」④(寺の小僧達の問答)
- 第7回：組踊の詞章解釈「執心鐘入」⑤(鬼女変化の場～「いのり」)
- 第8回：組踊の詞章解釈「執心鐘入」⑥「執心鐘入」まとめ
- 第9回：組踊の詞章解釈「護佐丸敵討」⑦(着付・配役)
- 第10回：組踊の詞章解釈「護佐丸敵討」⑧(あまおへの出羽～二童の出羽)
- 第11回：組踊の詞章解釈「護佐丸敵討」⑨(母と二童の別れの場)
- 第12回：組踊の詞章解釈「護佐丸敵討」⑩(あまおへの春遊びの場)
- 第13回：組踊の詞章解釈「護佐丸敵討」⑪(あまおへの春遊びの場～仇討)
- 第14回：組踊の詞章解釈「護佐丸敵討」⑫「護佐丸敵討」まとめ
- 第15回：組踊の詞章解釈 まとめ

## しまくとぅば関連の取り組み

本講義は琉球古典語を学習することを目的としているが、琉球古典語は「首里ことば」の韻文体であるため「しまくとぅば」と密接な関係を持っている。また、琉歌によっては口語体、すなわち「首里ことば」を用いたものもあるため、「しまくとぅば」を学習することで本講義の理解度も深化する。今年度は新たな取り組みとして、琉球芸能専攻1年次の必修科目「詞章研究Ⅱ」において、「琉歌を創作する」という講義を実施した。古い琉歌の構造を講義しながら、その「構造」に合わせて受講生が琉歌を創作する、というものである。実際に琉歌を創作することが初めての学生が多かったが、韻文の琉歌の創作について、意欲が多いに見られた。今後は実作の機会を多く持ちたいと思う。

## 4 「誇らしゃしまくとぅば」講演会概要

### 4-1 第11回講話「しまくとぅばで語る芸能人生」概要

第11回 芸能から受け継ぐ「誇らしゃしまくとぅば」  
 収録日：令和5年2月20日(水) 13時30分～16時  
 会場：国立劇場おきなわ 稽古室  
 講師：喜舎場盛勝氏 (聞き手：嘉数道彦)  
 演題：「しまくとぅばで語る芸能人生」

講師略歴：喜舎場盛勝(きしゃば もりかつ)

1932年国頭村出身。1969年、島袋光史に師事。1978年、那覇市安里に道場を開設。1980年、沖縄県指定伝統組踊保存会太鼓技能後継者に指定される。1989年、沖縄タイムス芸術選賞古典音楽太鼓大賞受賞。1996年、「太鼓」の技能で国指定重要無形文化財「組踊」技能保持者(総合認定)。2009年には国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者(総合認定)。

2001年、これまでの琉球芸能の活動が認められ、沖縄県文化功労賞を受賞。長年の琉球芸能への関わりから、組踊や舞踊の立方・地謡について深い知識を持つ。現在も若手や第一線の芸能家たちから深い信頼を得ている。

第1部：夢の契り

〈出演者〉立 方：國場海里、嘉数千季、堀川裕貴、田島吟、亀谷真亜玖  
 地 謡：波平宇宙、加屋本真士、與那覇琉音、山城美帆、親田鈴

### 4-2 第12回講話「しまくとぅばと首里系組踊」概要

第12回 芸能から受け継ぐ「誇らしゃしまくとぅば」  
 収録日：令和5年2月14日  
 前舞踊撮影、収録  
 9月23日(水) 13時30分～16時  
 会場：琉球新報ホール  
 講師：知念積有氏 (聞き手：鈴木耕太)  
 演題：「しまくとぅばと首里系組踊」

講師略歴：知念積有(ちねん せきゆう)

1937年 那覇市出身。琉球古典芸能首里系組踊研究家

1967年 金武良章琉球芸能研究所入門。1968年 名渡山ホールでの「日曜鑑賞会」にて「手水の縁」の門番役で初舞台。同年「大川敵討」の母役も務めた。1971年 琉球政府文化財保護委員会の伝承者公演にて「二童敵討」供(二)を務める。そのほか金武良章琉球芸能研究所主催の「組踊の夕」などの舞台に出演。1991年「首里伝統芸能文化協会」を立ち上げ。1994年「首里組踊の会」を立ち上げ。現在は、首里公民館で首里系古典芸能の研究や、組踊台本を首里系の唱えをとおして鑑賞する会の講師として活躍している。

第1部：沖縄芝居の打ち組舞踊

〈出演者〉「金細工」 嘉数千季、田島吟、亀谷真亜玖  
 「通い舟」 堀川裕貴、國場海里  
 地 謡：津波古孝太、吉満楓立、中村優希、大城希里、森田敬太

## 5 第9回・第10回「誇らしゃしまくとぅば」講演会講演録

### 5-1 第9回講話テープ起こし

第9回 誇らしゃしまくとぅば講演会(2021年9月15日 於:仲田幸子の店)

(講師:仲田幸子 案内役:仲田まさえ 聞き手:鈴木耕太)

演題「喜劇の女王が見たウチナー」

翻刻:城間 瑞生(沖縄国際大学日本文化学科4年次)

分かち書きチェック・表記チェック:西岡敏、鈴木耕太

※一部、聞きとりづらい部分があり、テープ起こしの際に文脈で補った語がある。

鈴木耕太:ぐすーよー、ちゅーがなびら。沖縄県立芸術大学ぬ、鈴木耕太(すずきこうた)なといびーん。

ちゅーや、「誇(ふく)らしゃしまくとぅば」んじちえー、題しちえー、しまくとぅば授業、ぬ 中に ウチナーぬ 芸能(じえーぬー)ぬ 先生方(しえんしえーがた)んかい、芸歴ぬ うはなし ちかする、きかい、企画ぬ などーいびーん。

通常であれば うれー、ふいじーやりば、沖縄県立芸大くとうーてい、奏楽堂(そうがくどう)んかい、ちゅぬちゃー あちみてい から、講演さったる はじ やしが、なまや、沖縄県やクルナ(コロナ)ぬ 脅威に 打ちふるわさって、くぬ 劇場 使(ちか)いるくとう ならんくとう、首里(しゅい)から、くぬ 仲田幸子(なかださちこ)ぬ 店んかい ゆしりてい、うぬ仲田幸子先生(せんしえー)から んかしぬ うはなし、また 未来ぬ うはなし、様々な うはなし、かたてい くみそーりよー んかい、うにげーさったる くとう などーいびーん。

また、くぬような かふーな むんかい わったーに プレゼントんかい むらとーいびーん。

くまんかい“生きてるかぎり死なないさー”んじちえー、かちえー うぬ 仲田幸子喜劇ぬ女王の ちょーだしぬ ぐしんしんんかい うまねき、うまねき っていうかわったーが うまんかい うしりてい、ちゅーや うはなしんかい ちちくみ…、これうちなーぐち 難しいね、伺っていきたく思います。

まだ うちなーぐち良くないですね。ちょっと日本語で短く説明しましょう。字幕スーパァーが入らないもんですからね。

今日は沖縄県立芸術大学のしまくとぅば のですね、学生に教えているプロジェクトの一環ですね、毎年沖縄芸能のプロたちをお招きしてこれまでの芸歴、芸談を語っていただくという機会になっています。

「誇(ふく)らしゃしまくとぅば」講演会と言っておりますけども、いつもであれば首里の県立芸大の奏楽堂っていうホールに ですね、学生や一般県民の方をお招きしてお話を伺っているんですが、コロナでそういったことができない ということになりましたので、我々が仲田幸子の店、那覇市久米(くめ)でございます。こちらにまあ、お伺いをしてお話を伺うという企画になっております。

多分映像で喋るものは初めてのお話もたくさん あると思います。喜劇の女王の違う一面、素の仲田幸子という芸能界の話も伺えると思いますので、どうぞ最後まで ちちくみよー、ちち…、なんて言えばいいのかな、ちちくみ

仲田幸子:ちち うたびみしえーびり。

鈴木耕太:ちち うたびみしえーびり。

ちちうたびみしえーびり。ということでお伺いしたいと思います。最後まで是非ご視聴ください。

鈴木耕太:いっぺーゆたさるぐとう、うにげーうんぬきやびら。

仲田幸子:あんた若いのに方言うまいねー。

鈴木耕太:いえいえ。

仲田幸子:仲田幸子やいびーん。

仲田まさえ:仲田まさえです。

鈴木耕太:ゆたさるぐとううにげーさびら。

仲田まさえ:うにげーさびら。

鈴木耕太:ちゅーや ゆんたくぐわー しみそーらなー んでいち うむてい、沖縄県立芸大からこの久米にある、那覇市久米の仲田幸子の店んかい ゆしりてい ちゃーびたん。

仲田幸子:上手(じょーじ) やっさー、やっぱり。  
ね、“ゆしりていちゃーびたん”は良い言葉だからね。

鈴木耕太:はい、ありがとうございます。  
まあ、先生はもう芸歴何年になりますか?

仲田幸子:73年になるね。

鈴木耕太:年はいくつですか?

仲田幸子:88。もう9になるね。89歳に。10月とか来たら。

鈴木耕太:ちゅーや この研究、沖縄県立芸大で なまや 大学生んかい しまくとぅばちかてい、琉球舞踊、くみうどうい、ならーち、しみそーたる企画ぬ あいびーん。

くぬ企画で、年に1回なー、2回なー しまくとぅば、まー やまとぐち まんちゃーちかてい からに ウチナーぬ じーぬー ぬ歴史、芸歴を語ってもらう、講演会なといびーん。

ちゅーや 沖縄県立芸大 をうとうーてい、くぬ、県民、それから沖縄県立芸大ぬ 学生ぬ ちゅぬちゃーぬ めーんかい をうとうーてい、講演会さびら やーんじうむとーいびーん やしが、なまや ウチナー、コロナんかい うちふるばさって、うれー なまぬままーならん でいてい うむとーいびーん。

特別に ちゅーや わったーが 首里(しゅい)から うまんかい ゆしりてい ちゃーびたん。

仲田幸子:やっから、方言ならったー、動いて。

鈴木耕太：まだまだ ならんぐとう、うやめー くとうば いっぺー 難(むち)さる くとう やいびーしが、くれー ちかーらんねー、言葉や ちかーらんねー また 上手(じょーじ)ならん じちえー、先輩の ちゅぬちゃーから。

仲田幸子：そうそうそう。

鈴木耕太：間違たる 使い方 あびとうーてい、はじかさあしが、ぐぶりーなとーいびーん。ちゅーや先生から芸能の話、特に喜劇をやっていた でいご座の うはなし中心に語(かた)てい くみそーり でいてい うむとーん。まじえー、幸子先生の生(う)まりから くーさるじぶのー うはなし ちちくみそーり、ちちくみそーりよー。

仲田幸子：わんねー、生(う)まれー泉崎(いずみざき)生まれ。生まれー、泉崎生まれだけど、わんねー 那覇(なふぁ)んちゅから 芝居うてい、もう方言に、標準語に切り替えようとするから1回、いつも沖縄市でやってるから。芝居や 那覇に くーんばーんなー？って、なんで那覇でやらないの？ってよく言われたのよ。今度劇場が出来て、ああやっつ こっちで こけら落としに入るから、あんしーねー ばんない、ちよつとした寸劇でも やりたいなっていう気持ちはありますよ。あんじがなー、方言にしえー 難(むち)かさぐとう、なま の60なー あったー全然(じえんじえん) わからんどうー。寂しくなりよったけど方言で、沖縄に生まれて 方言忘れたら いけないよー んじっち、ちゃーならんしー いちが、方言の難しくなって めんしえーやー。普通だと全部方言じちえや、芝居。ブラジル、アメリカー…、ブラジル、ペルー、アルゼンチンと行ったけど、むる方言。全部方言。

仲田まさえ：小さいころはどんなだった？って。小さいころ。

仲田幸子：小さいころは、もう私が生まれて小さく生まれたみたい。

鈴木耕太：小さく生まれたから、小さく生まれたんですか。

仲田幸子：生まれたみたいねー。生年月日もわからんのに。でね、何年…最近昭和7年というのは、最近しか分かってうらんぐとう。あんじょーとー、皆に親戚に向けて私何年生まれねーって。たーん 分(わ)からん んでい。死ぬってしか思わなかったって。あんまり小さく生まれて、すぐ親死んでるわけじゃん。して、何月に生まれたのー、生年月日も全然分からんから。もう沖縄戦争激しかったから。すぐ山形屋(やまがたやー)に爆弾が落ちた時に、ああこれが戦争って思うんだねーって思っ。

鈴木耕太：なるほど、山形屋んでいしえー、戦前(しえんじえん)の山形屋？

仲田幸子：戦前の山形屋よ。

鈴木耕太：那覇の西町(にしまち)、東町(ひがしまち)、あたいに

仲田幸子：山形屋、丸山(まるやま)ぐわー って2つあるわけさ。

山形屋に爆弾が落ちた くとう、あんすーとう、これが戦争だなって。

小さい時にはアメリカと日本が戦争があると。日本は負けたことないから 必ず勝(か)ちゅんでい。あんしーねーや、勝(か)ちゅぐとう 負けたからからって すぐ鉄砲持(てっぼう む)ちぬ しきーねー、手(てー)拳(あ)げれー。降参やくとう、降参やくとう って手拳ぎれー。あんしーや、撃たんはずやくとう。くぬ訓練さー、もう壕にはいる訓練とか、もうこれだけ1年間。

4か年にとる予定だったけど、1年で もう負けてるって もう。

だから うんぐとうーし、苦勞を乗り越えてきたし、今度是对馬丸も乗っていく人は「ばんばん 乗れ」になった。(乗船賃は)10円だった。

鈴木耕太：対馬丸の乗り賃ですか？船賃。

仲田幸子：運賃10円よー。

あんまり貧乏で10円もないわけさ。これ戦前、芝居んじゃ、んじーねー ヌギバイしたんよ。

ヌギバインでいちゃな、いちゃんだ いーしえー だったよ。大人の仲間に挟まれて ヌギバイしーよー っていったら、頭掴まれて出されたり、もうしたけど、ヌギバイすんち そーたしが、これは覚えていたから、この今、対馬丸がでるよー んでい いーねー、汽笛、沖縄中間こえるような汽笛のサイレンが ないるばーて、今だっと思って 走って、飛び乗りしよった。ヌギバイってーん なぎいて。ヌギバイすんち そーしが、船が出て行って、30Mくらい離れたので船はもう、出たら引き返しはできないから、1500名乗ってる みたい。それで乗れなかったねー って。だー沖縄の人口は少ないさ、戦前は。60万人しかいなかったって。60万人どうーくとう、なーふぁん40万人、20万人が離島の。これもう、うびとーでーぐとう、あっちこっちから もう、船乗って行って、出て、やられてるさ。その時乗っていったら わんねー うらんでーさやー とか、こんな芝居が出来なかったねーって思ったり。とっても寂しい思いして、泣いて おうちに帰った時も、おうち帰っても親もいないし、さびしい思いで育った時、戦前はおばあちゃんが芝居好き やてーぐとう、今日や芝居かい どー しらぎぐわーぬ ねー と、芝居そーてい いちゅさんでい いちやぐとう、もう とても好きで、一回も見たから やめららん ばーてな、化粧して、舞台に出てみたいな 大人になったらって、こればかり考えた うてーぐとう、そして しらぎぐわー ぬめーてたら、ばかない ぬじゃーに くるげーに までい ぬじゃーに や、あんし しらぎぬ あぬ、ていんかうけー。ぬらーって しいしいしい、へーくな だびぬ 帽子かぶーてい、げんど帽子っていうの、ちゅくていたん よー、7、8名集まって、「かんとく やにかじ」、っていう 歌ぐわー 歌いながら、帽子くまーぬ居たん よ。「おばさん、なんじ(何時)に ないびーが もうに ちゃうてい」、「ぬー なんじ(難儀)や あらん」って いうわけ。あちゃとう、「なんじが ふー」って、「ぬーん なんじや ならんや やなわらばー、どっかいけー」。

鈴木耕太：なんじ(何時)ぬ なんじ(難儀)。

仲田幸子：で 今度「おばー ぬーん 何時や あらんでー」、「うぬ なんじ とは 違たん、とうちや なんじ(何時) なとーがん」でい、「ぬーん なんじ(難儀)や ならん」

でー。返事を聴かんのにー なーだー、ぱーぱーたー も、ぼーぼー うったい、うったいする ぱーぱーが いるわけさ、ぱーぱーが とぅーていくわーに ちあとう、「ぱーぱー、なんじ（何時） なとーが ふーん、でい」ちうくとう、「ぼーぼー なやなまから にーんでい、なんじ（難儀）が よわたい」、んまー はなまからにん、「やなわらばー どっかいけー」。もう こんなしか言わないから戦前の人は、ちゅーいかなんだー って 寂しい思いした。 けど、とー それで やっぱり、んかしんちゅはよ、外に出る。なんじ ないさや ってくとう 分かる。外に出た太陽が落ちるのを見て、あんたに、「あー なんじねー」って せーかくし いこーんでい。行くときは歩いて行って、あー 行くときは車乗って行って、人力せん、一人ずつ乗せる人力せん乗って行って、帰るときはあっち。ゆなか あっちって。芝居かいんじいけー。

普通は行くときは あっちさー、帰る時が怖いから、しっぶ。こんな芝居見たときは憧れて、大人になったら あんなに化粧して、舞台にんじてい しぶさささーって。これが心から抜けないわけさ。あんたやー、芝居や出てみたいねー って。男に惚れられる役やりたいわけ、普通はよー。だちえーどさー にんじえんの となりもやー けっかい いれらっていん、今度は いも、何度も戦争がなかったときは お芋も なにもかも、ゴーヤーにん ねらさーに、むちんじくてー（芝居の）先生（先輩）にこんな言って、「飯炊きでもさせてください」って。こんなして お願いして、いえーもー「にーさんだー、やーかい やるていん どー、むぬには 値段ないさー」って 言って、飯炊き、芝居見られるだけでも いいと思っ、おうち帰っても だれもない、飯炊きから。あんた あんしえー、戦後だから はっきり いいってのが あるわけ。

鈴木耕太：アメリカン そーびー

仲田幸子：あー、アメリカン そーびー よー。

んかす ぱっきん ぬーんでいが ぬーんでい、うんぬーねー、炊いたら もう 泡ぶくぶくー しえーやー、へーばーし ねーん しえー、へーばーしー だきさーに、こんな こんな しながら溢（あふ）りーねー、ひーばーし さーに かちゃーてい、おいしかったかな、何か。A組B組C組って あったって から。あの時はA組は座長組、座長組だから、おなじぐわーに。Bは二枚目する人達。もう、3番目やもう、なーべー あきてい顔映らんわけさ。なん、なしえるー だから。

鈴木耕太：んでい、うぬ 戦後の話まで ちえーたしが、くーさるじぶのー ぬぎばいっしてい 見んたる、芝居ぬ なーかんかい、いっぺー くくるに 残（ぬく）たる芝居や ぬーやいびーがやーさい。

仲田幸子：薬師堂（やくしどう）っていうの。

鈴木耕太：薬師堂。

仲田幸子：薬師堂。

鈴木耕太：やっぱり、あれですね。歌劇でも、喜劇じゃなくて、ハッピーエンド。うれー、やっぱり なまぬ、、、

仲田幸子：全部分（わ）かりよった。こんなに小さいけど よー。歌でも全部分（わ）かりよったのに。だから、分かるから面白いなー っていうこと感じたから、大人になったら、いえー 芝居じ しーねー、ふりむんぬ 芝居するやー、何とかんでい おばーたーが ぬーないしがて、芝居や いきがぬ化粧すぐとう、すぐとう ふゆーなむんでい ちょーばーんてい。いきがぬ化粧。役者っていうのは やっぱり化粧もしないといけないって、ふゆーな むどうる芝居や するてい。芝居はかんはず入（い）りった。

鈴木耕太：仲田幸子先生が くーさるじぶのー や、うれー 芝居しー でいちえー、むる いきがぬ ちゅぬちゃーやみ？

仲田幸子：はい、みんな男。女一人はいない。

鈴木耕太：女優んかい

仲田幸子：女優はいない。

鈴木耕太：女優はまだ。

仲田幸子：してい 男が女役。

鈴木耕太：やしが また戦後ないねー、うぬ戦前の、芝居しーぬ先生たーや、戦前ぬ ちゅぬちゃーたーや、うぬ、うぬ女役っていうか、女形も あいびーしが、 また、女性が「女優」んかい ない、

仲田幸子：いや 後から女優が出たのは、与座のおかあさん、あんまもとの おかあさんが 2人が、女優に出たわけ、それから男と女にとってことになっただけ。みんな男が女役。天皇陛下の前でも、踊ったみたいで かめやー、とって その人がもう女役とっても きれかったらしい。で、この人が「みんちょー」 かったみたい。

鈴木耕太：儀保松男、かな。

仲田幸子：うん、ジープンマチグワー とか 何とかー、言うて、みんちょー かったみたい、この みんちょーが手術しないと死にますよって言われたって、役者が顔に傷つける ぐらいなら、死んでもいいって、死んだみたい。私も これかかったから。

鈴木耕太：みんちょー かったんですか。

仲田幸子：かかりました。

鈴木耕太：やっぱり美人は違いますね。

仲田幸子：美人の話。いや、終戦後だから化粧品もないさ、かーら、赤がーら さーに頬紅使って、眉かちゃしに まっちゃんぬ めーとーち描いた。片眉さー に。

鈴木耕太：しるー や、ぬー使（ちか）てい。

仲田幸子：しるーや、骨折した白いの あるさ、これじゃなかったかなって思う。

鈴木耕太：石膏（せっこう）使（ちか）っていからに。

仲田幸子：そーそー。化粧して、で、

鈴木耕太：たまに（肌が）悪く…

仲田幸子：悪くなったりして、めんちょー。（化粧）かかんでも、すぐ ぶーと膨れたわけさ。ぶーと顔が膨れて、かかじやーに ちらぐわーに なったぐと、ぶー と もう、もう目もつぶって膨れたから、でーじなとんって いて、この頃は戦後だからもう あんまりタクシーもないわけさ。病院もあまりないし。だから「長浜（ながはま）、かせだ、沖縄に帰ってきてるみたいですよー」っていうの聴いて、行った。読谷に行って、長浜 かせんの所に、行って、これ危ないなーって。病院じゃないよ、事務所ぐわー みたいなところで、麻酔もあったか ないかも どうか分からんで、みてからに、こんな膨れてるよって、これ やばいなって言って、言っていた みたい けど。どんなして麻酔があつてるか なんか。「痛いですが、死なしてください。」「しぬー だー うんじ死ね。なんくる だめーしえーが、むちゃった。死ぬ ぶたむんま ちゅーみ」、口の悪いことよ。昔の役者みんな口悪いですよ。

鈴木耕太：先生の ちゅぬちゃー。

仲田幸子：やーぐとー、きじむなーぬ うたやらばー、やー ちら戦前の人だの ならんらん、このぐらい言うぐらい だから、医者む うとうらん いーしえーらー、しむら、しぬぶか からやー うていまーしーね、なんくる だーびゃーん っすさ。こんなしか。だから、後から痛くなかったから、麻酔だったんだねー っていうこと感じたわけさ。昔の まー 役者、口悪いよー。して、口伝えの芝居さ、もう脚本って ないから、みんな集まって配役割るさ、口伝えだから、劇の筋（すじ）は覚えるわけさ。さーに、先生（しんしー）たい、なーんちから習（なら）ーち くみそーり、まだ うびろにーれーって言ってから2回目習って、あー あぬ日とっても台詞もあつたけどねー って また習いに行（い） ったくとう、「えー うぬわらばーに むちぐわー むたさん やーかい やらちえー」って言うから、私に言ってる わけさ、もう。あきさみよー とーなー。なまやーかい やらさしーねー、やーんねー むんぬーって。それから もうすぐ、ずーと、幕の側に立ってから ずーと見ておって、教えないよー。「次の劇、中城情話（なかぐすくじょうわ） するけど、幸子は ないみ？」って、言ったから、「はい」、って きもって。あんさーに もう、初めての二枚目だったから、あまりにも喜んで、石川行って、あけみちゃん 次女とう うや（仲田まさえさんを指し）、そーやーに「今日 二枚目出るよー」って言って喜ばせに行ったら、バスんかい、あけみ忘（わし）れて。

鈴木耕太：バスに子ども忘れて。

仲田幸子：子ども忘れて。親父が、「あけみー 石川んかい とまいん どうれー」って いうから、あい、バスに忘れた。

仲田まさえ：あまりにもうれしくて。

鈴木耕太：ちむうっさ してい。

仲田幸子：うー。化粧すること ばっかり考えてるから。

鈴木耕太：里之子（さとぬしー）んかい。

仲田幸子：るーちゅーでー あーねー、ちょうど嘉手納劇場だったから、交番所で先生たいぬ、あけみー バスんかい忘れて、ちゅーやなー 立派な女優いっぱい居たから、「ちゅー いいちらてい くみそーりよー」って。「荷物忘れたしえー ちちんちゃしが、わらばー忘（わし）りるる ちゅーさに相当頭わっささや」って。ぬるいくるされていから、って てーてー、（私の子は）石川の交番で泣いていたよ。で、「お前の子もかーって」。「はい」「なにしてる」って。「芝居、幕開（まくあ）きやー してます」って。幕開けっし くわ（子）ねー忘れてる。いくら、（まわりから）怒られても、芝居には入りたかった。もう思ったことやりたいって気持ちがねー、もう全然忘れきれない わけさー。どんなに誰に怒られようが芝居しーすー、ものくーやー するとか なんとか かんとか くんとか、怒られても舞台には出たかった わけ。だから、学校も出てないのに。小学2年から3年から、（戦争で）もう壕（ごう）に入る練習だから。

仲田まさえ：壕（ごう）に入る練習の歌もね、おばあちゃんが。

仲田幸子：防空壕（ぼうくごう）に（入る）歌も、先生が教える、「からじ あめりかやー かぶしえー、みーが りんがるみー、いるー しるさぬ、」なんとか、先生が教えるから。だから、怖かったけど、「鉄砲の しきーねーや、手を上げろって、あんしーねー くるさんはじ どー」って。手上げぬん。銃ぬ しかぬ、壕ずっと並んでるわけさ、みんな入ってる わけさ。銃ぬ しけとぐと、とー 我ったー前に座っていたから、手上げてから親子3名出て行った。して、年寄りももう泣きながら どこで殺すかねって思って、泣いてるわけさ。あさにー、子ども落ちたら こうして抱いて、自分なんかも子ども落ちたら脇に抱いて。（米兵が）ガムあげよう っしたら、しーじゃぬ あにきが、「毒ぬ いちゃんどー、かまんけー」って。かまんけー。アメリカ笑っていたみたい。（だから、米軍人）自分が食べよった。いろいろとね、戦争を越える っていうのは、みんなも泣いてからに、泣いてからに、もう わーわーわー泣いて どこで殺すかね っしてしか思わんさ。壕（ごう）から いっぱい出たくとう、こんな谷底に入ってるよ、両方から もう きーぬ わーさりてい、こんな ぬちくてい ちゅーぐと、ぬちきてい両方から ちゅーぐと、ぬちきてい ちゅーぐと、すぐ全部壕（ごう）に入っているさ。だから、「カモンカモン」んじゃする って、全部でさーに、もう最後って時 手りゅう弾投げよった って。で、その時に大通り出たらアメリカのトラックがいっぱい、並んでるわけさ、だから橋掛けて一人ずつ やさしく乗せよったよ。やさしく乗せて、ああ 今度は まーんじ殺（くる）すかや って。こんなして泣いて、殺すとしか思わんさ、戦争の時。石川ぬ、

鈴木耕太：あー、石川の収容所。

仲田幸子：収容所。収容所。やさしかったよ。もう、本当にトップに立つ人はね、訓練だったって。

一般の人絶対に殺してはいけない、兵隊やれくるし やるばーて。この教えだったって。あめりかー はいにん なとーしが まんどーんしえ、たーが ちかくるばーて。うちなーんちゅ くるすな、もう民間は殺(くる)すなよー んでい、ちゃー言いよったんでい。だから、もう落ち着いてから、もう公民館、公民館行って、嘉手納(かでな)からドサ回りさ。で 行ったら、アメリカーたーも みんな屋根やーぐわーに入ってるわけさ、仲田幸子がこの公民館にちょーぐとう、でっかい芝居ん ちゅくーん でいたん でい。あめりかーや意味ぬ分からんぐとう、何って言ったか、とうじぬ つかいしまんでい、かぬやーんてい かじみてい そーてい じゃぐていや、アメリカー ちゅーし笑つとーたんって。(演目は)散髪屋(さんぱつ)ー だったはず。くちゃ。あれやったら あれ みんな表情さ、割り当(あ)ててい、あははーつてい、でいか また、はまん ちこーに、まーが はちゅーる分からん。ドサ回りしながら、たまたま公民館借りて。

鈴木耕太：次は じゃあ、なまぬドッサ回りの話んかい、んじゃたくとう、幸子先生が戦後、公営劇団入って、すぬとちえーまた、ときわ座、珊瑚座(さんござ)、うりから「でいご座」までのお話、ちかし くみそーりよー。

仲田幸子：だから、あんたが もうこうなった後からは、うけー(沖映)が、潰(つぶ)れたから、うけー(沖映)で働いている人は、うけーが、那覇劇場(なはげきじょう)が潰れそうな、那覇劇場はじさん だけど、入(い)れなかったよ。ドサ回りするっちゅ(私たち)を。いったーがー 入(い)れられん。入(い)れなかったよ。で、この、みんな うきー(沖映)に逃げたわけさ。

鈴木耕太：あー、那覇(なは)に来た沖映(おきえい)に。

仲田幸子：那覇劇場に入ってる乙姫劇団(おとひめげきだん)から なにから全部、沖映に逃げたから、もう客が入らなくなったから、今度は私たーの見に来てるわけ。入(はい)りたくはない わけさ。入(い)れて頂戴って言った時入れなかったから。一緒になりたくはなかったけど、うじゃさーでんって言って じゃーに、一生懸命 那覇劇場でそれからもりあげて、最初から人笑わすのがやっぱり好きであったから、喜劇ばんばんばん作って。

仲田まさえ：おばあちゃん、最初は何劇団に入ってたの。

仲田幸子：南月舞劇団(なんげつぶげきだん)であった。

鈴木耕太：南月、あー南月舞劇団は玉城盛義(たまぐすくせいぎ)先生の。

仲田幸子：そーそーそー、盛義先生の。南月舞劇の でいあに、「あかばなー」よ。あれんかい ちきやーに、ぬーやく洋服から パンツから ちきやーに、うるぶーさーに、うりちやーに。

鈴木耕太：あんし、いむん、慰問(いもん)公演。

仲田幸子：うん。嘉手納舞台いむんさい、天願(てんがん)舞台いむんさい、こんな慰問はやっ

てたから。1か年半くらいもったかな。もう内地(ないち)から相当引き上げてきてる役者。あれ全部役者、みんな内地に逃げてたんだなって感じたわけさ その時は。その時もう、みんな おうちも空いてるさ、いなくなったか どこに行ったか 分からんけど。みんな内地から引き揚げて沖縄、空いてるところに入って。して 終わったら まー、もう 空いてるところに入った。

鈴木耕太：で、その後は、南月舞(なんげつぶ)からその次はどこに行きました。

仲田幸子：1か年半、1か年半しかやらなかった。すぐ潰(つぶ)れた。それからもう、役者が入ってるから、沖縄芝居だから、あちこち いっぱい立ってるから、入れて下さい んでい、入ららしたしが、平安山(へんざん=平安山英太郎)先生も居てい、 いっぱい断られたよ。

鈴木耕太：あー、英太郎(えいたろう)先生。

仲田幸子：あちがいなー、ようやくよー、むこーてい ちょーぬーちーてい、入れてもらって、であっちこっち ちょっと、わちゃんぐわ ちゅーていからに、ドサ回りしてからに、ドサ回り習おうって思ってからに、与那国島(よなぐにじま)行ったわけさ。与那国島に。

鈴木耕太：これは、とーちゃんと。

仲田幸子：いやいやいや、「ふたご」も、「ふたご」っていう劇団があったわけ。「ふたご座」っていう劇団。劇団があったるから、「幸子ねーねー離島も好きねー」って いうから、「どこでもいいよー、離島も好きよー」ってからに、与那国に頼まれて行ったわけさ。してからもう、この、あの人達は慣れていた。すぐ屋敷見るのに。

鈴木耕太：屋敷。

仲田幸子：何百名ぐらいいーがや、とか。やーんから ぼるからなーんてぐらい、屋敷見て大きいね、300人あまていん400ぐらい入るよー ぬよーやー。あんた たーん うらんばー、誰もいないおうち。

鈴木耕太：これは普通の屋敷。

仲田幸子：うん、普通の屋敷。

鈴木耕太：公民館あらん。

仲田幸子：ううん、普通ぬ屋ー。

鈴木耕太：普通の屋ー。

仲田幸子：あんたー また めーまぎがー あたしがや、うりんかい幕(まく)うちゃけーにや。うっちゃーけー、きつき稽古(けいこ)そーたし、「あんた のーしぬよー」、けんむ

つ ちゃびーとうんなー、はじちちえーぬ しかまちえーる、ぬー なとーがやー  
ってしかんでるわけ。で やっぱり、自分も あまりが ちゅーぐとう、すんませ  
ん、開けようと思って入ってるみたいです。すいません、うぬ家賃は払いますから、  
芝居してみたい くみそーれーって、お願いして、それから、この各部落(かくぶらく)  
の流れも分かってきたわけさ。でも、沖縄の最果てに行ったら、「いったー まーか  
らちゃーがてい」芝居って思わんわけ。「いったー まーから ちゃがんでい」、「うち  
なーから」って、「ぬんしん ちゃーしーがるちえー」、「芝居しが」、「まじる ねー  
らんどちどー、こっちお金ないよー、一銭もないよー、芝居んじる ねーらんどー」  
って。「なら ただ見せますから、せっかく来ているから、ただ見せますから」って、  
ただ男性はいないわけさ、男性は居なくて、いなぐぬ舞台ちゅくとーるばー。いな  
ぐぬ舞台ちゅくやーに、ようやく芝居っし、ていじぬ ねーらんじぶん踊ったり 喜  
劇入れたり したから、はん ばな花(銭)ふあーなげるばー、ばなー(花)ふあ  
なげーはずぐとう、ちたしぬ ねーらんどー って待ってるわけ。だから、だー 花も  
らったから、お金はとらんでおこうねー って。それで帰った。こんなして、あっちこっ  
ち。

仲田まさえ：おばあちゃん、ヒッチハイクした時は、どこの劇団でした。ヒッチハイク、車(くるま)、  
アメリカ車(くるま)乗る時。

仲田幸子：アメリカ車(くるま)。

鈴木耕太：ジープ。

仲田幸子：あらん、あれ沖縄の車(くるま)でないよー。あっち離島行くときは サバニぐわー  
借りて、ちゅぬ サバニかやー、で うちなー公演の時は軍の車(くるま)、あめりかー  
車(くるま)。やさしかったよ。

仲田まさえ：ヒッチハイクで、回ってみたい。

鈴木耕太：ジープトレーラー。

仲田まさえ：はい。

仲田幸子：えー、あまかい あぬトラック のちゅーさ、

鈴木耕太：もう芝居の荷物。

仲田幸子：むっちょー。むる うさぎてい。あまから車(くるま)の ちゅーすが、あぬ車(くるま)  
ぬらんでいー 名護(なご)まで はらんしが。えー、たーが なとうみれー んでい  
ちゃとう、わーが はやさんしえー とうみたぐとう、座長によー、えー やなわら  
ばー、アメリカーが やなかーぎー 分かいるすーん。やなかーぎー 分かいるすん、  
どげー、たかこーん めーんかい って。

仲田まさえ：瀬名波孝子(せなは たかこ)先生が。

鈴木耕太：孝子先生。

仲田幸子：ぬーんでい らっていん、当たり前ってしか思っていないよ。素人(しろうと)だし、  
親もいない、拾ってあげた、これで ありがたいしか思っていない。だから、親のいな  
い さびしさっていうのと、お金の無い苦しさも味わってるから、戦争の話は わん  
にんかい ちけーん。苦しんだから。でも、ここまで乗り越えてきたのも、テレビの  
おかげかもしれんけど。一生懸命 勉強して、実は劇がいっぱい親父が作りよったか  
ら、劇団で一緒になってるから。

鈴木耕太：父ちゃんと。

仲田まさえ：おじいちゃん、はい。

仲田幸子：嘉手納行った時に、もう1万人くらい入ってるわけさ。ぐんさんかい、うちなーんちゅ  
ぬ。うり みんな方言しか分からんばー。当時むちかて一分からん。1万人ぐらいいっ  
ちよーた ぐとう、わったー南月舞劇団ダンスだから、これ終わってから帰ろうって  
言ったから、仲田りゅうのすけが、なにわぶし あびーんでい くとう、平安山先生が、  
うれ ちちから いかねんでいー ちゃぐとう、わったー なにわぶしが らーのー  
ぶしがらー 分からんくとう、けーらなーんでい いっちょーたしが、くしっとう  
くわくわっかにんたぶな そーたぐとう、なにわぶし歌(うた)てい、座長が、はい  
帰りましようね ちゃぐとう、ちょうど かまはらぎ帰ってきよった。うぬ時、帰っ  
て、かびけんし から うぬ龍太郎(=仲田龍太郎)が ちょうどな、もう上手(じょー  
じ)どう やんどう また。南月舞劇団だから、表情も うぬ芝居で通るわけ、で主  
役なのよ 孝子と。瀬名波孝子。主役だったから、てまー、40銭とういるばー、わっ  
たー20銭どうとういる。

鈴木耕太：おー、今よりも。

仲田幸子：うちゅ最近どう いっちょーしが、てまー うふさる。あんたーに、川も深いさ、す  
いどうち ねーくとう、んかしぬ かーや、もう底も見えないさ。んで みじ汲(く)  
み うったー洗濯たーしえが、おじさん洗濯させーねー びらんに、洗濯そーる ばー  
に、洗濯修行せしん、洗濯しゅ、みじ くりとるっさーに、これ とらしえー、これ  
からねーん がつか分からないけど。

鈴木耕太：洗濯しぶねん。

仲田幸子：でも、苦勞したさ、くれ うったー むのー、平安山先生(=平安山英太郎)と、玉  
城先生(=玉城盛義)やA組(いえーぐみ)、かばやきとか、B組の、仲田龍太郎(な  
かだ りゅうたろう)みたいな 瀬名波孝子みたいに、ABB(いえーびーびー)、C組、  
なーべー あけねー、なーべ あけねー ちら ぬるうちえーたん。

鈴木耕太：ちら ぬるは みしげー、みしげー。

仲田まさえ：おじいちゃんは標準語が上手だったから、給料は高かったみたいです。

鈴木耕太：へー、イントネーションが。

仲田幸子：なさけぬひかりてん、これは生まれが覚えているから。なさけぬひかりっていうのは標準語劇(ひょうじゅんごげき)だから、先生あがり だったから上手やたるばー。だから、孝子さんと相手役しちゃうと、

鈴木耕太：あぬ じぶのー、やー日本語も、芝居しーぬ なかぬ、みじらさるくとう。日本語使(ちか)てい、

仲田まさえ：珍しかった。

鈴木耕太：日本語使(ちか)てい、芝居するぬ。

仲田幸子：日本語みじらさらーたん。

鈴木耕太：なまと 逆転。

仲田まさえ：そうですね。

仲田幸子：今と逆転。なまな65ないしが、方言のわからんねー なちかしくて。寂しくなるよ。沖縄の方言 独特だのに。

鈴木耕太：さっきの、戦前の、あんまーたーぬ、帽子くまーぬ、姉さんたーぬ、話んかい、あれもう喜劇そのまま、そのまんま喜劇に、あれ うちなーぬ笑い、でーぐとう。

仲田幸子：笑いに取り入れるだけ。なにかも小さい時から見て来ているから、見てきているから、あー みみぬ とーたちえー、うぐとうや、みみに とーちゃちえー うぐとうや あてい。でー、今みんな愛楽園(あいらくえん)に いるさーね、だから この人たちも道から歩いて、くんないぐわー していたみたい。歩きよったよ。その時、自分があったー あげたいなーって思っても、手の内に こんなやって、歩いて、見てきているさ。かわいそうだねー って。どうーん かわいそうしが、あったー かわいそうだねー って思っで、くわーしぐわー あげたり、お金、1、1銭っていうの あげて、おー で こんな こんなって打っている。もう、平和か何か、本当の、沖縄田舎だったね。

鈴木耕太：なまぬ、先生ぬ話、ゆんたくや、ちゆるうちに、やっぱり うちなーぬ ちむぐくる、やっぱり いろんなところに あるなーって思っで。どうなんかい、他、どうなんの、ドサ回りも なくても いいとかで、花貰ったから入場料は もういいかな って言うのは、やっぱりお互いがお互い持っているもので、頑張ってた時代というか、くんねーる うちなーんちぬ ちむぐくる やいどうーる やーんでいち。

仲田幸子：人と人とはね、よくすること。だから、私たちは行ってからに、73年なるけど、約50年くらい座長してるから、上に立つ人は おかわささんと。自分の使っているこは、入院したら すぐ走って行って入院料払ったり、こんなして こんなして、思ったら すぐおかあちゃんのこと おいでよーって言うてる。

鈴木耕太：この仲田幸子一行、うぬ すむちに かけーたる、幸子先生の でいご座の時代って、もう うちなー芝居も ほとんど なくなってる時代劇なんだ。もう わんねー、勉強そーたぐとう、芝居ぬ ちゆぬちゃーが ぬーんたとーがやー んでいち、毎日(めーなち)昨日(ちのー)新聞めくてい、明治から昭和んかい、うれー どの芝居も もう せんご座も なくなっで。だけど、もう一時期はずっと曙(あけぼの)、曙劇場(あけぼの げきじょう)に ずーと でいご座がいたりとか。

仲田幸子：曙劇場や、市役所まで ならどーたん。あんさーに、にーけーぐわーっしえー、ぶたぶたーって、えー満タンそーしが へーく終わらしえーなー、にーけーぬちゆ、くずりーねー うっさに、じゅんかぬちゆ、うさりねー でーじ しかんでい。もう時間へーき みてよ、ばんばんばんっし、終わらせたこともあるよ。

鈴木耕太：えー、うぬ なーかぬ しゃーしんかい、うぬ ちゆぬにーけーから。

仲田幸子：このにーけーが落ちたら、もう下の客はもう大変さ。もう これが とっても心配だった。重大責任さ。こんなまで客入れて やるのーとか。

鈴木耕太：で、この、むる 子どもは学校行かせたり、孫は行かせたりはするけど、みんな劇場に やーぬ ちねんから、うぬ劇場んかい あちまっでい、まさえさんが小さいのに ずーと幕の間から稽古見てたり、写真があっで。

仲田幸子：だから、すぐ側(そば)で見てたから、おばあちゃんの跡(あと)継(つ)げるなーってこと感じたから、一番は おばあちゃんの芝居が面白いって言ったから、あー面白ってことも分かるんだから、出来るかも分からん って思っで。今でも自分 芝居始まったら、側にずっと つきつきりよ。動かんよ。幕の側(そば)に腰掛けおいて、だー でいきらしえ うんそーがやー とか、ぱっちり やってくれるかねーって。今でも そんなする。

仲田まさえ：最初から最後まで舞台の袖に居て、楽屋に1回も行かないですよ。

鈴木耕太：おー、すばらしい。座長ですね、座長。これが。監督。でも、仲田幸子さんの芝居、僕も昔は母の日公演とかに行かせてもらって、くーさるじぶのー。で、やっぱり うちなーぐちの芝居やってたけれども、最近日本語の芝居よくやるでしょ。で 何で うちなーぐちから、また日本語の芝居、まあ たまにか うちなーぐち使ったりしてますけど。なぜ こんなやって日本語の芝居に替わってきたんですかね。まあ質問、する時まだ日本語なってますけど。なんでですか。

仲田幸子：いやー、わからんくなっで。だから、那覇ハーリー 30年間出てるよーって、出ているから、じゃあ客は何千名たー っているさ、5千名ぐらい。だから幕間口上(まくあいこうじょう)っていうのは、本当は劇の相中(あいなか)に喋るのが幕間口上なんだけど、わんねー最初うてい舞踊(ぶよう) 2つくらい入れてから、前で喋るわけさ。その時に あびるばーに、曲見て、覚えてから、RBC(琉球放送)行ったり、OTV(沖縄テレビ放送)行ったりもするけど、見に今日は若い人だから、標準語、方言分かりそうな人は1人もいないから、標準語に切り替えなさいっていうけど、なかなか切り替えない人もやっぱり中にはいるさー。方言今まで使っている芝居は。こうゆうと

ころが、ちょっと難しい所があるなーって言って、沖縄の芝居ってこんなに面白かったんだ、沖縄に来て私も三味線(しゃみせん)習って 私も沖縄に住みたいとかって、はがきぐわも、高校生ぐらいから くるからねー。あー やっぱり芝居っていうのは、笑わすのが、好きだったんだって。

仲田まさえ：喜劇だと反応がすぐ帰ってこないと、だから標準語に切り替えてるんですよ おばあちゃん。

鈴木耕太：これは、時代と共に

仲田まさえ：そうなんですよ。

鈴木耕太：仲田幸子が進化したってことですかね。日本語で言ったら。

仲田幸子：そーそーそー。

仲田まさえ：そうですねー。

仲田幸子：本当はねー、方言でやる芝居が好きだった。戦後みんな方言。

鈴木耕太：だからねー、これは僕らもやっぱり、わんね一生(う)まりてい まだ40年、しか人間やってませんが、それでも やっぱり、わったー時代、わんね一生(う)まりや ゆんたんじゃ やぐとう、田舎や、田舎やったくとう、めーぬ うちなーぐち ちかかいる ちゅぬちゃー、すごく、いるので みーなり ちちなりして からは、うちなーぐちの雰囲気とか。

仲田幸子：本当は方言でやる芝居がとても やりやすい。

仲田まさえ：私も見てても、方言で喋ってて、ここで笑ってたのに笑ってないとか、もうこの時びっくりしましたね。で、それでおばあちゃんも切り替えて、標準語に。

鈴木耕太：まさえさんが一番のファンですもんね。でいご座時代の幕も、側(そば)からずっと見て。

仲田幸子：ずーと見ていた。

鈴木耕太：そっか、一番のマネージャーですね。

仲田まさえ：私も芝居を見るのは好きだったんですけど、あとは、舞台の袖からお客さん見るのが好きで。笑うの。

鈴木耕太：でもこの時代の、この時代、たった30年位前の写真だけど、もう追っかけないまじよね。

仲田まさえ：そうですね。

鈴木耕太：追っかけ、おばさん達って かいてある あの、もう 必ず楽屋とか、舞台袖んかい

おばさんたー、たいっし、みっちゃい、たいっし、うぬた一座って、芝居みじゃーに。  
仲田幸子：そーそーそー。追っかけファンだった。

鈴木耕太：また、これ、うぬちゅぬちゃーがチケット、売りさばきんでいちゃーねー、手伝いとかね。そういうの見てると、やっぱりファンがちゃんとして、ファンが支えている。

仲田幸子：客に合わせて、やっていかないと成り立たんわけさ。で、できれば本当は、戦後は(方言で)やりたい、本当に やりやすかったわけ。方言っし ばんねー、標準語分からんくらいだよ。方言でやる芝居、ずっとやってきているから、方言でやったら うけるわけよ。標準語混じったら、標準語分かる人がいるから、だから、切り替えるのに大変だった。

鈴木耕太：でもすごいですね。こういうのは。舞台に立つと、女王になれるでしょ。なまや、テレビの前だから女王になってますけど、普通にこれ ゆんたくぐわー する時は仲田幸子やしが、いーちしが 舞台に立ったら、喜劇の女王。女王になったら やっぱり あの時の、舞台の雰囲気とかで、やっぱり うちなーぐちが先が出るから、んじゃ やつするぐとう、あいびーしが、これーまた止めてい、んちゃくんかい んじゃ、んちーねー、まあ標準語んかい切り替えるんでいちゃー、いっぺー ちむぬ、ちむぬ かーいーよ。でも むちかさん くとう。

仲田幸子：方言でやる芝居はうちなーんちゅぐとう やっぱり、方言でやる芝居 年寄り嬉ぶさ。

鈴木耕太：しむぬ年寄りが また 方言分からんく、なってい、世代が変わっていく。

仲田幸子：時代の流れと共に。くわぬちゃー、んまがぬちゃーが標準語すぐとう、うやんおばーたーん だー標準語使(ちか)いるぐとう、あと方言ねーん ないねー でーじないがとー。

鈴木耕太：方言ないん、ちぶるい さっさやー。

仲田幸子：寂しくないねー。

鈴木耕太：わったー、また、わったー世代から また、うちなーぐち習(なら)ーち、またんね、

仲田幸子：そー、そー、そー。

鈴木耕太：くや んまがも うちなーぐち、英語習う前に、うちなーぐち習(なら)いんでい ちゃー、うぬ沖縄県かい変わてい くないかなー んでいち、うむとーいびーん しがやー。

仲田幸子：だからよもー、昔はね、わらばーたーが 泣(な)ちゃー おーやーてい あしーねー、「あい先生(せんしえー)が来るよー」んでい、すぐ うっとう まーたんよ。あんた また、わらばーたー まってい おーやー あしーねー、あい13日どー ねぐとう、すぐ やまたんよ。今はもう、ぬーでい あまんしえー、ぬーんでい うまーしえーやー。こんなに変わったかなーと思う。でも、ビデオは いつか持ってきて、電話か

けたら私のビデオ、九州で1, 2番なっただって。私の笑い劇(わらいげき)、いっぱい入ってたのに。お年寄りが見たい、喜ぶはずよ。持ってくればよかったねーって今。2個ぐらいしかねーんけど。

鈴木耕太：あと一、僕が聴きそびれたのは、珊瑚座(さんござ)の、この衣装から、小道具から、むる、くぬでいご座が引き継いで、芝居始めたでしょ。でいご座で。スタートした、その頃のお話ちょっと伺いたいですね。

仲田幸子：珊瑚座。

仲田まさえ：珊瑚座の道具。でいご座がもらったって。

仲田幸子：はい。珊瑚。うん。だから、

鈴木耕太：ぬーからぬーから。

仲田幸子：龍太郎が酒飲むぐとう、やーがあと一ちじょーさぐとう、幸子が確かにそういっちょーぐとう、幸子にながみて、幸子がないうるじゃくとうって、譲ってもらったって。

鈴木耕太：うぬ道具類は、むる、珊瑚座が、

仲田幸子：うん。

鈴木耕太：珊瑚座の前は

仲田幸子：自分で作ったのは、相当かかってるけど、相当かかったけど、いろいろとこまめなものも珊瑚座から、受け継いで。

鈴木耕太：うれどの芝居んかい、あまバーキとか、いゆとか、うんねいる小道具類。

仲田幸子：幕はもう、借りてるのが大変だったから、高くて、「もう思い切って買おうよー、買おうよー」って言った。

鈴木耕太：幕は、あー、珊瑚座の幕を買い取った。

仲田幸子：いやいや。珊瑚座は幕あんまり関係ない。ただしるぐわー引っ張っちーてい。戦後だから。あんぜんと一たるばー。

鈴木耕太：じゃあ、幕は新しく。

仲田幸子：劇場っていう劇場でやったことないのに。劇場はないのに。うん、舞台、どーさーに、ドラム缶うちきやーぬーんかい、板(いちゃ)うちやーに。

鈴木耕太：ばんく、ばんくぬ舞台。

仲田幸子：こんなしてやっていたから。劇場らしい劇場1個もなかった。みんなドサ回り。

鈴木耕太：じゃあ、ちょっと趣向を変えて、今度はまさえさんにお伺いします、日本語で。でー、おばあちゃんの芝居の中で、何が一番好きですか。あんまりこういう質問ないかもしれない。

仲田まさえ：そうですね。もうおばあちゃんのお芝居で好きなのは、おじいちゃんが作った芝居で、人情劇(にんじょうげき)が多いので、新聞少年(しんぶんしょうねん)とか、荷車(にぐるま)のうた。やっぱり、泣かす場面、人情劇(にんじょうげき)なら泣かす場面で、それでおばあちゃんの辛口方言、でみんなが笑うんですよ。泣いてる時におばあちゃんの台詞でみんなが笑うっていうのの一、お芝居が好きですね。このおじいちゃんの作ったお芝居。もう悲しいお芝居をおばあちゃんが笑わすって言う。この、こんなこと言っているのかって言うのをおばあちゃんなら許せるって感じでみんな聞いてくれているので。

鈴木耕太：面白い。ですって。

仲田まさえ：なんか、今泣いてるのに、おばあちゃんの一言で笑って、なんか忙しいっていうお客さんいますね。

仲田幸子：めっちゃ言われていーじーていくとう、もうあんなたくさん1000人くらい、毎日満員だから、1000人、このあいだは1600人くらい入ってるけど、この笑い声で自分は、パワーもらって、元気をもらっているんだなって、だからやめきれないんだなーって思った。

鈴木耕太：じゃあ最後の質、次で最後の質問です。仲田幸子さんはあと、ヒャクハタチ(120歳)まで大丈夫だと思っけていますけど、

仲田幸子：あっしえびよーなー。

鈴木耕太：めーうがんじゅーやいびーしが、これからやりたいこと、とか、んまがぬちゆぬちやー、曾孫の、玄孫のちゆぬちやーんかい、メッセージ、があったら。

仲田幸子：そうね。方言は、沖縄の独特の、すばらしい方言だから、これは、覚えつつ、忘れてはいけないことだから、習(なら)やがち、やっぱり沖縄明るくしたい、もう笑いを与えて明るくしたいっていう、今もうコロナで大変になってるさー、世界戦争なってるさーね、こういう時期も88まで芝居しー、こうゆうこともあるんだっていう、つくづく、何か世の中が変わったみたい、寂しい感じするけど、もう芝居がないと寂しいのに。芝居に出て、やっぱりお客さんの笑い声で元気をもらってるから、この急に何か月も休まれたら、頭へんなーなってる。へんなーなってる。物忘れすん。で、これからも、親がいるありがたさ、みんなが一生懸命頑張れば、こんなにいい沖縄県なのに、私アメリカ、ハワイ、ブラジル、ペルー全部回ったけど、すぐ沖縄に帰りたいのに。公演が終わったらすぐ朝早くでも帰りたいなーって思うくらい沖縄好きなのに。離島行っても、宮古・八重山、どっかの離島行っても、芝居終わったらすぐ沖縄に帰りたい。1便からっていうのに。そのぐらい沖縄が好き。ブラジル行った時も、

もうあれだったのに、24時間かかるって言ったから。

鈴木耕太：飛行機ぬ。

仲田幸子：うん。あっし もう うさきぬ ゆーすがなやー、10時間くらい なったぐとう、あ  
いえいなー、うぬ飛行機が ガソリンぬいっちょーがやー、いっちょーさ、くぬ飛行  
機ぬ沖縄に わーがわすれにきのったがな、これから なーめーめー いつも乗りたい  
いわけさ、孫と。だー、わーがわすれていきーやー うるが教えてくれる ばーて。  
今もう、元気、ね、便利な世の中だから こういうこと全然ないけど、このぐらい昔  
は しかまーだった。とつても しかまーだった。なー ようやく幸せねー私は、芝  
居きぬー、そーてい いちゅんどー ねーんでい、言われるのが、本当に生きがい感  
じた。ちゅすーし、かみちゃん、うちなーなー かみちゃんって言われる、かみちゃ  
んー、今日や芝居かい そーていからーんでい 言ーねー、もう こんなうれしいこ  
とは、もう 1 か月 もう ご飯食べなくてもいいぐらい、うれしく感じた。

鈴木耕太：また、くぬ うちなーぐちぬ、たのしい、うちなーは また、戻ってくることを、我々  
も

仲田幸子：ねー、そうですねー。もう昔の沖縄に戻ってほしいなーって思うぐらい。

鈴木耕太：やっぱり、これ個人的な、個人的な1ファンとしてね、お話ですけど、やまとぐちっしー、  
ゆんたく そーぐとう、仲田幸子やー、これ仲田幸子やあらんでいち わんねー思(う  
む)とーいびーん。やっぱり、うちなーぐちっしー、くぬ、ゆんたく さびーぐとう、  
顔ぬ、表情ぬ柔らかくなってい

仲田まさえ：そうですねー。

鈴木耕太：いっぺー、ああ、仲田幸子と ゆんたく そーいびーんやー んでいち、わんねー思(う  
む)とーん。

仲田幸子：沖縄の方言、独特だのにね。これ、忘れては いけないと思う。方言でやる芝居、何  
より楽しい。みんな分かると思うさーね。今のは、わかーぐわーたー が分からんにー  
ねー がっかり寂しくなるのに。

鈴木耕太：コロナが終わったら、ぜひまた、中城城(なかぐすくじょう)は。

仲田幸子：しりんねー。

鈴木耕太：里之子(さとぬしー)たい。

仲田幸子：里之子(さとぬしー)。

鈴木耕太：里之子(さとぬしー)たいー。

仲田幸子：うりらりが、でれる やーんでい。

鈴木耕太：さんこー はやてい。あー、里之子(さとぬしー)やきてい。

仲田幸子：こっちで、あいのはながさとか また女王とか歌うよ。この店では。

鈴木耕太：いいですねー。

仲田幸子：芝居は好き。

鈴木耕太：今日は、長い間、ゆんたくぐわー ちかしくみ そーち、いっぺーにふえーでーびる。

仲田幸子：いっぺーにふえーでーびる。こんな若い人がね、沖縄の方言守ろうって言ってる、そ  
の気持ちがうれしいですね。

鈴木耕太：いえいえー、まだ、先輩たーが いらっしやるので、頑張れますので、ぜひ、また

仲田幸子：あんた達が見に来たら、方言使うようにします。

鈴木耕太：うー。ぜひとも宜しくお願いします。今日は

仲田まさえ：宜しくお願いします。

鈴木耕太：本当にありがとうございます。

仲田幸子：今日は11月なにかねー、こけらおとしですよ。

仲田まさえ：那覇市みた。

鈴木耕太：はい。見に行きますので、ぜひ宜しくお願いします。

仲田まさえ：にふえーでーびたん。

仲田幸子：にふえーでーびたん。また、いちか うがなびら。

鈴木耕太：いえいえ、また、うがなびら。

## 5-2 第10回講話テープ起こし

第10回 誇らしや しまくとぅば講演会(2022年3月23日 於：沖縄県立芸術大学音楽棟)  
(講師：金城光子 聞き手：高嶺久枝、鈴木耕太)

翻刻：城間 瑞生(沖縄国際大学日本文化学科 4年次)  
分かち書きチェック・表記チェック：西岡 敏

高嶺久枝：はい。ぐすーよー ちゅー をうがなびら。わんねー 沖縄県立芸術大学をうてい、  
琉球舞踊(りゅーちゅーおよー)、くみをうどうい(組踊) なら(習)ーちよーいびー

る “高嶺久枝(たかみね ひさえ)” ンでい いちよーいびーん。 みーしっちょーてい、くいまそーりよー。 わんねー ふいぐろー(日頃ー)、琉球(りゅーちゅー)舞踊ぬ 研究、あんし また、御冠船(うくわんしん)芸能ぬ 研究 そーいびーん。 今日(ちゅー)や くぬ 芸能ぬ 古い型ぬ 流派が あいびてい、渡嘉敷流(とうかしちりゅー)ンでい いちよーいびーん。 くぬ 渡嘉敷流ぬ 金城光子(きんじょう みつこ)先生(しんしー) う招ちっし、芸能(じーぬー)ぬ 話(はなし)、話物語(はなし むぬがたい) 聞(ち)ちゃびらんでいち、思(うむ)とーいびーん。 今日(ちゅー)や 金城先生(しんしー)、ゆたさるぐとう うにげー さびやびら。

金城光子：ゆたしく うにげー さびら。

高嶺久枝：まじ 始(はじ)みに 金城先生(しんしー)、自己紹介 ゆたさるぐとう うにげー さびら。

金城光子：わんねー 渡嘉敷流(とうかしちりゅー)、本流ぬ 守藝(しゅげい)の會(かい)、“金城光子”ンでい いちよーいびーん。 みーしっちょーてい うたびみせーびり。

高嶺久枝：金城光子先生や、いち(何時)から もーい はじめてい、あんし また、くぬ じぶのー ちゃんぐとーる 時代 やいびーたがやー。

金城光子：あん やさやー、わんねーよー、いいなぐちよーでーぬ 5人(ぐにん) をういびーるばー。 うぬ なーか(中)んかい、うみしーじゃぬ 一番(いちばん)しーじゃぬ っんみーが、琉球(りゅーちゅー)舞踊 そーいびとーくとう、とー うり わんねー 7(なな)ちから ん(見)ちゃい ち(聞)ちゃい、また すばから しりしりぐわー っし、そーるうちに しーじゃぬ っんみーが、「つやーや し(好)ちゅみ、をうどうい しちゅみ」でいち い(言)らってい さくとう、「わんにん をうどうい しちやびーん」でい いち さくとう、「とー あんしえー まじゅん 踊(をうどう)れー」ンでいちから、わんねー 7(なな)ちぬ とうしから しーじゃっんみーとう 踊(をうどう)い 始(はじ)みやびたん。

高嶺久枝：うぬ じぶのー、くぬ 琉球(りゅーちゅー)舞踊ンでいーしえー、ふえー(流行)とーる、あいびーたがやー。

金城光子：ふえーとーンでい いしゆかよー、わんねー 生(っん)まりじま 東風平(くちんだ) やるばーてー、東風平 やいびーくとう 東風平よー、十五夜(じゅーぐや)あしびーンでい いしが あてい、うぬ 十五夜あしびーんかい、っんみーや をうどうたい もーたい、また 芝居(しばい) さい っし っんじーくとう、うりうれーまさぬ、あとから うー(追)てい なら(習)とーる ばー やいびーしが、なー あんしが なー わったー っんみーん をうどういぬ 先生(しんしー) なていから、やっぱり わんにん まじよーん うーてい っし、なー なげーん っんみーから なら(習)とーる ちむ やい。

高嶺久枝：っんみーから、はじ(初)みや なら(習)てい、うぬ あとー？

金城光子：あんしから、1900ぬ、(ちょっと待ってくださいね) とー あんしから 渡嘉敷流

(とうかしちりゅー)んかい 入門 さしが 1900ぬ 65年(にん) なとーいびーん。 うにーに、わったー っんみーんかい 「つやーん なー あんせー あぬ、ある、うふいぐわーや なー をうどういん ないるぐとう などーくとう、あんせー 本格的に 古典舞踊ぬ 先生(しんしー) 紹介 さやー」ンでい いやーに、あんしから 渡嘉敷流ぬ 守章(しゅしょう=渡嘉敷守章)先生(しんしー)、うん、わんねー 紹介 さってい、っんじよーいびーる。

高嶺久枝：渡嘉敷流ンでいーしえー、ちゃんぐとーる 流派 やいびーがやー？

金城光子：あん やさやー。わったーや 先代は 渡嘉敷 守良(とうかしち しゅりょう)ンでい いやーに、御冠船踊(うくわんしんをうどう)いぬ 一人者ンでいち いらつとーる 渡嘉敷 守良系統 などーいびーしが、守良先生(しんしー)や、御冠船踊(うくわんしんをうどう)えー ていー けーてー ならんでいち いみそーち、わったー 渡嘉敷(とうかしち)本流や なー 古い型、他流(たりゅー)んかいや ねーらん 三部構成とうか、あいびーるばー、やいびーしが、「かしかき」んかいや 「さーさー節」ンでい いしん あい、いっちょーいびーる。 また、「やなじ」んかいん 三部構成が いっち そーいびーしが、くれー なー いふえー 他流とー じんとー 異(くとう)ないる くとう やいびーる。

高嶺久枝：むとうさんやまー(本散山)。

金城光子：むとうさんやまー うー。

高嶺久枝：あんしー、わったーが はじ(初)みてい 渡嘉敷流ンでいち ちちやる とうちまー、渡嘉敷流や 守良先生(しんしー)が 型ぬ統一かい 参加せー ねーびらんぐとう、くぬ うかげっし 古い型が ぬく(残)とーンでいち。 だから わったーぐとう、研究 そーる ちゅぬちやーとうってー、いっぺー 貴重な 流派ンでいち うむ(思)とーいびーん。 あんし また、先生(しんしー)や 三代目 ち(継)じよーいびーしが、くれー いち ち(継)じよーいびーがやー？

金城光子：あん やさやー。三代目よー。わんねー 1900ぬ、えっとー、三代目 ち(継)じよーせー 2006年。平成。 わんねー、なな(7)ちぬ とうしから をうどうえー そーいびーしが、免許、免除ん いいー(得)たーせー 75年、1975年に 守章先生から いいー(得)やびたん。

高嶺久枝：これ、芸道何年くらい、なとーいびーがやー。

金城光子：なー 67、8年ぐれー なとーがやー。

高嶺久枝：この 師匠免許 いいー(得)たるばす。60年 なとーいびーみ？

金城光子：あらんどー。

高嶺久枝：(笑)先生、とうしえー まだ わか(若)さいびーがやー。

金城光子：わんねー とうしえー、とうしばけーのー とうとーいびーしが。

高嶺久枝：(笑)「いくち ないびーがやー」んでいち、ちちゆせー 野暮 やいびーしが。

金城光子：やみ？ やしがよー、とうしえー くわつくわする くとー ならん。

なんくるよー、ちらかーぎんかい うっちゃかている いちゆんでー。どうーんかい。あんすくとう。

高嶺久枝：なんくる。

金城光子：いいえ、とうしえーよー、くわつくわする くとー ならん。

高嶺久枝：あんしえー、いくち やいびーがやー。

金城光子：なー 70 なー いふいーぐわーや あまとーいびーん。

高嶺久枝：あまとーいびーみ。

金城光子：やがやー。いふいぐわーる あまとーがやー。

わんねー、22年生 やくとうよー、なー 74 なとーいびーん。

高嶺久枝：わか(若)さいびーんどー、先生(しんしー)たい。

あんし 2006年でいーしえー、沖縄県が「しまくとぅばぬ日」んでいち さだ(定)みたる とうし やいびーんやー。

金城光子：やいびーるばーよー。やいびーさ。

高嶺久枝：くりん、縁(ええん) やいびーさやー。

あんし そー、制定 さびたしが、2009年にや 国際(ぬー やびたが)教育科学文化機構、通称、ユネスコんでいる とうくまから、絶滅危惧の くとぅば なとーいびーん んでいち、また、いらつてい、うちなーぐちん 本当(ふんとー) 先細り っし いちゆんやーんでいち うむ(思)てい、2013年から また 沖縄(うちなー)県が いるいるな くとぅ、しまくとぅばぬ 普及 さびたしが、やしが なまぬ ちゆぬちやーや、きっさん 話 あいびーたしが、やーをうていん ちからん、ちかいぬ ちちゆぬん をうらん。

やぐとう、まだ くぬ 沖縄県立芸術大学ぬ 学生(がくしー)ぬちやーや 琉球芸能(りゅーちゅーじーぬー) そーいびーぐとう、まだ 期待や む(持)ている、むちちゆる くとぅ ないがやーんでいち、うむ(思)とーいびーん。

金城光子：いーなー、くまー、くまんかいや、鈴木先生(しんしー)(=鈴木耕太)ん いめんしえーい、また、久枝先生(しんしー)(=高嶺久枝)ん いめんせーくとぅ、くぬ しまくとぅばんでい いせー じふいとうむ ぬく(残)ち いかねー ならん。くれー、くり とうてい、うちなーから うり とういねー、うちなーぬ 芸能(じーぬー)や あらんでい わんねー、思(うむ)とーいびーん。

芝居ん、しーにん、うちなーぐちる やる。まー、うちなーぐちんでいちん、すい

くとぅば、なーふあくとうば、いなかくとぅばんでい いち、いるいる あえー すが、なー うれー なまぬ 現代人(げんだいじ)のー 役者ぬちやーや、普通ぬ くとぅばてーや、すいくとうばんでいん いららん、ちか(使)ゆーさんどう あいびーるむんぬ。

高嶺久枝：あん やいびーんやー。やぐとう、んかし(昔)ぬ ちゆぬちやーが うちなーぐちっし、「いふいぐわー」とうか、「うむよーぐわー」とうか、くぬ うちなーぐちっし あらんでー、くぬ 気持ちが とうららん くとぅばが あいびーたしえーやー。先生(しんしー)、なにか、思い出に 残る くとぅば あいびーがやー。

金城光子：なー うれー、なー、単語 単語、先生(しんしー)たーが ぬく(残)ち、くれー また しゆむち(書物)んかい 残(ぬく)さーに しーねー ゆゆまんでー(世々万代)までいん、残(ぬく)てい いちゆる ばー やしが、くちばけーんさーにん ちえー うぬ 方言(ほーげ)のー 覚(うび)ーららんばーやー。

高嶺久枝：あんし、先生(しんしー)、くぬ しまくとぅば実践授業をうてい 御招(うまに)きっし、先生から かじやで風(ふー)、かじやで風ぬ ひさぢけ(足使)ー、あんし また、くぬ ひさぢけーんかい 対する 意味、うむ(思)い、学生んちやーんかい 指導っし うたびみしえーびてい、わったーん いっぺー 勉強 ないびたん。

金城光子：あゆみ(歩み)やー、ていー(手)ぬ あ(上)ぎ さ(下)ぎ、また くぬ にじり(右)んかい まーてい、ひじやい(左)んかい まーてい、ていーや かんしる あぎーんどー、なぎーんどー、しちや(下)から すく(掬)てい ちえーやー。くれー、わらばーたんかい、学生んちやーんかい、とー、ていーや あ(上)ぎれーさ(下)ぎれーんでいち、ちやつさぐれー さ(下)ぎてい しむがやー、うりがわ(分)かいびらんやー。だから 角度さーに、ああ くぬ 程度 おーじ(扇) む(持)ちーねー、みずながし(水流し)、みじが ながりーねー、どうーんかい ながりーねー どうーやんでい(滞)ーくとぅ、めーんかい みじぐわーが うていーる ぐとうっし、みじながし(水流し)さーにる おーじえー むちゆんどー、にじ(握)ーんどーんでいち、習(なら)ーち いきわる やいびーるやー。

高嶺久枝：あんし また、2021年や 前期、後期をうてい、前期や 江戸上(えどぬぶ)い、江戸下(えどくだ)い口説(くどうち) 習(なら)いびたんやー。あんし また 後期や 江戸上(えどぬぶ)い口説(くどうち)。わったー 一般の 流派や 普通ぬ ウチナーから 薩摩(さつま)までいぬ ぬぶ(上)い、薩摩(さつま)から ウチナーまでいぬ 下(くだ)い 習(なら)とーいびーしが、渡嘉敷流(とうかしきりゆー)んかい、「びけー」 あいびーんでいぬ 習(なら)ーち くいみそーち、いっぺーかふーし だーびーたん。

金城光子：なー、うりん。また 生徒(しーとう)ぬちやーんかいや、習(なら)ーち 広(ひる)みてい いちゆしん わったー たまし やくとうよー、やしが まじえー ちーぐし(杖串)ぬ む(持)ちかた(方)が ちが(違)いくとう。

高嶺久枝：ちが(違)とーいびーたんやー。

金城光子：わったーや ちーぐせー、ていーさーに にじ(握)りーからぬ さちぬ にーや、  
かた(肩)ぬ たか(高)さぐれーんかい あぎーし やんどーんでいち。

高嶺久枝：しり 上(あぎ)ぎてい。

金城光子：やいびーしが、なま(今)ぬ 学生(がくしー)んちやーや しちゃ(下)んかいどう  
さ(下)がてい すくとう、いふえー むちか(難)さ あいびーん。

高嶺久枝：やぐとう、先生(しんしー)が くぬ 説明する とうち、いっぺー、おそらく 渡  
嘉敷流(とうかしきりゆー)ぬ 伝統、かたとー、かた(語)とーいびーんち うむ  
(思)いしが、渡嘉敷先生や 本当に 何歳から 芝居んかい いっちょーいびーしが。  
ふか(他)ぬ っちゅ(人)ぬ 先生たーや、まあ 実技って いうんですか、こ  
う、わざ(技)ぬ そーんでいち いっぺー 時間 かきたるんち うむ(思)いしが、  
渡嘉敷先生(しんしー)や 自叙伝、あんし また 組踊ぬ 型とうか、そういう  
芸能談、くり 記録 そーいびーしが、これについて 先生(しんしー) ぬーがな、  
かた(語)てい くいみそーり。

金城光子：くれーよー、守章先生が、先生(しんしー)が よー、「とー みっちゃん、くれー  
わったー うや(親)ぬ、うやぬ にー(傍)ねー」 守良先生ね、「うやぬ ぬく(残)、  
ぬくち うれー ほぬ(本)んかい すんち やしが」、うんにーねー なー じぬ  
(銭)ん ねーらん。出版しゆーさんたしが、うれー ちゃんがなし ならんがやーん  
でい っやーなかい、「っやーんかい あじきとーいくとう」んでい っやーなかい、  
風呂敷包みんかい ちちまーに、むっち ちえーいびーるばーやー。

高嶺久枝：あー、先生が くり ありが あたるばーい。

金城光子：与那原んかい。うー。あんさぐとう、わんねー、「あきさみよー うれー、うさきな  
なぬ にんむち やる」んでいち うむ(思)てい、あきてい さびたしが、くぬ、  
だー、明治、大正時代ぬ 紙(かみ)る やくとう、さーいねー なー なか(中)  
ぼろぼろさーによー、なー うりが ねーらん ならんがやーんでいどう 思(う  
む)いぬ 紙(かみ) なといびーくとう、あんさーに 「かんしえー ならんさー」  
んでい っやーに 「うれー じひ なー わん やくみ やさやー」んでいち うむ  
(思)てい、今はもう亡き 當間一郎(とうま いちろう)先生に 相談しみそーちゃ  
くとう、うぬ っちゅが 「とー あんせー くれー ほぬ(本)んかい っし なら  
やー」んでいち、あんしから ていがきとーる ちむ やいびーん。

高嶺久枝：わんにん 2017年ぬ 6月 やいびーたらやー、シンポジウムぬ コーディネーター  
しみらち くいみそーち、いっぺー くぬ 渡嘉敷先生(しんしー)ぬ くと  
勉強(びんちよー)さりやびたん。あんし また、金城先生(しんしー) くぬ 本(ふ  
ん)、出版するんでい 自費出版そーんでい ちちょーいびーしが。

金城光子：いー。守章先生(しんしー)やよー、「くれー みっちゃん、だてーんぬ じん(銭)  
かかいんどー」んでい いみせーびーたんよー。「先生(しんしー)たい ぬーぬ  
しわ やいびーが。与那原(ゆなばる)んかいや 銀行や みー(三)ちなー あいびー  
くとう、しわ しみそーんなけー。」「ぬーがやー 銀行が あていん っやーや、う

れー、じのー 現金(げんき)のー ねーらんむんぬ ちゃーし すが。」んでいちゃ  
くとう、「あぎじゃびよー 銀行 いていからや、からしみせーくとう、むる わー  
むんどう やいびーる。」んでいやーに、あんさーに 400冊、わんねー ちゅくてい、  
なまー 20冊ぐれーや ぬく(残)とーいびーんやー。

高嶺久枝：貴重 やいびーんやー。

金城光子：ちゅー(今日)や、むっち ちゅーる。むっち ちゅーし やたるむん、ちゅらーく  
わし(忘)りてい、なー とうしん とういしえー あらんさ。

高嶺久枝：わんにん 2冊や 先生(しんしー)から むとうみとーいびーしが、本当に 貴重な  
ふん(本) やいびーんやー。

金城光子：うり、うりがる 1番 大切(てーしち)な むん やたるむん。

高嶺久枝：あんすぐとう、わったーん、どうーぬ すぬ むぬっし しまびーぐとう、記録んか  
い ぬく(残)する 作業や やっぱり 使命 やがやーんでいち うむ(思)とー  
いびーん。

金城光子：うれー くれー いっぺー 必要どー。なまから、いー、しまくとぅば いいーば  
久枝先生(しんしー)が わんにんかいん くいー かきてい くいみそーちゃ  
くとう、わんにん あー 芸大んでい いしえー っんじえー んじゃびらんしが、あ  
ん やさやー、かん やさやーんでいち、生徒(しーとう)んちやーに ゆー 勉強  
そーさやーでいち うむ(思)てい わんにん くぬ 舞台んかい ぬぶてい、をう  
どうたる くと やしが、だー やっぱり まるひーじーや、うぬ 舞台や ちか  
てー んだんたくとう ひさ(足)がくがくーぐわー さびーん。

高嶺久枝：ひーじー ちかとーていん、ひさ(足)がくーがくー さびたんどー、わんにん。  
あんし、だから 金城先生(しんしー)が かんさ(感謝?)そーいびーしえー、わ  
んねー また 鈴木先生(しんしー)から くいー(声) かきらつてい、やっぱり  
はじ(初)みてい うちなーぐちっし、くんぐとうっし、あびーんでいち、わ(我)  
んも 2、3日めーから にんだらん、にんとーいびーがやー。

金城光子：じょーじ(上手)やいびーんどー。わったーがる あまはい くまはいっし。

高嶺久枝：やしが、うむ(思)いしえー やっぱり わったー 時代(じでー)や おばーや  
芝居しち(好ち)でい、芝居んかい そーてい、そーらつてい っんじ、あんし ま  
た おばーや、っんめーや うちなーぐちっし、わ(我)んねー 共通語っし あび  
てい、くんぐとーる 時代ん あいびーたしが、やぐとう なま わーが くんぐと  
しえー、まー、かたくとう かたくとう やいびーしが あびゆーしん、やっぱり、  
耳がくむん そーいびーぐとう、くれー ないるがやーんでいち、今(いま)、うむ  
(思)やびーん。

金城光子：うれー なー、大(たい)、でーじな やー、大切ですね。

高嶺久枝：やぐとう、学習ぬ ちゅぬちゃー(人ぬ達)んでいぬ、なまー 意味 わ(分)からんていん、とにかく うちなーぐち 耳んかい ぬく(残)する 作業 さんでー、ならんやーんでいち うむ(思)やびーんやー。

金城光子：やっぱり、なまぬ わかむの(若者)ーよー、でいきとーん。むる。

高嶺久枝：うびーしえー へー、へーさぐとう さりやびーがやー。

金城光子：うびーゆん、うびーでーん あていよー、いめー わ(分)からんていん、くべーふやーふやー すしが、ちゃんとう わ(分)かている をうるむるんぬ。

高嶺久枝：うちなーぬ くとぅぱりしえー、ぬーがな、この くとぅぱびけー あらんぐとう 何か うむ(思)いん はどー?んかい ぬてい、ちた(伝)わいんでいち 感じがさびーぐとう、大丈夫 やいびーがやー。

金城光子：大丈夫よ。

高嶺久枝：まー、あんねー くんねーっし、うちなーぐちん ふる(滅)ぶしたる 時代ん あいびーたしが、くりからー また、わったーん わか(若)さる 先生方(しんしーがた) 協力っし、また わ(分)かいる ぶんや また ちか(使)てい。

金城光子：ぬく(残)ち、ちか(使)いしえー ましやーびーん、でいいち わんにん うむ(思)とーん。

高嶺久枝：先生、だー、また くいー かきらつとーる 場合や また うんちけーさびーねー、くくるゆく また ひ(引)きう(受)きてい くいみそーりよー。

金城光子：いー。なー わんが ないる うっぺー、うにげーさびーん。

高嶺久枝：えっと、申し遅れましたが、金城光子先生は2月の沖縄タイムスの新聞で第56回の沖縄タイムス芸術選賞の大賞、いいー(得)やびたん。あらた(改)みてい、かりゆし ーびる。

金城光子：にへーでーびる。

なーよー、あまくまんじ いちやいねーよー、新聞 んーちゃーんどーんでいちよー、は(恥)じかさぬよー、ちゅー(今日)ん 商工会をうとーてい 花束 準備っし くいみそーちゃくとう、くり いただき わんねー くるま(車)ぬ 帰り ぬしてーいびーしが

高嶺久枝：あいびーがやー。あんし また、わんねー あのー あびーぬ くとぅ ならんねー、くり みしらやーんでいち、む(持)っち ちゃーびたん。む(持)っち ちゃーびたん。

金城光子：くれー なー しまびーさ。どうくん いいー かーげー あらんむんぬ うれー。

高嶺久枝：しまくとぅば研究会をうてい、鈴木会長が金城光子先生の会議をうてい 報告そーいびーたぐとう、皆(みんな)してい また ゆるこー、ゆるく(喜)でい わかち、あつてます。

金城光子：なー うれー、いー、いっぺー なー、やっぱり なまえ(名前)ー 金城光子 やしが、んーな(皆)ぬ うかじさーにやー。んーな(皆)ぬ むんどう。わんねー 褒美(ふーべ)ー いいーてい、わんがる 代表っし いいーとーいびくとう、なーひんとうん ちばてい、くぬ しまくとぅばん 勉強っし、また くりから ぬく(残)ち いけーやーんでい うむ(思)とーん。

高嶺久枝：あんし また、金城光子先生(しんしー)にや、博士課程、修士課程ぬ 学生ぬちゃーん お世話に なんとーいびーん。くんぐとうん、また くん 沖縄県立芸術大学ぬ たみに ゆたさるぐとう うにげーさびら。

金城光子：あらんどー なー、くまからる うにげーっし、いいーいいー、わんにん いいー勉強 なんとーん。

高嶺久枝：ちゅーや ウチナー芸能 なら(習)ーちょーいびーる 高嶺久枝が、くーさるばすに ちちやる うちなーぐちっし、金城光子先生(しんしー)んかい 質問っし、はなしむぬがたい(話物語)さびたし、いっぺー たらん とうくま あたるんち うむ(思)やびーぐとう、たらん とうくま どうーなーたーっし たらち くいみそーち、ちゅーぬ 座談会や くれーてい くいみそーりよー。金城先生(しんしー) やいびーたん。

金城光子：にへーでーびーたん。

高嶺久枝：金城先生、いっぺー にへーでーびたん。

ぐすーよー、ちゃー がんじゅーっし、また うちなーぐち、りゅーちゅーぬ 文化 とうむに ぬく(残)ち いちゃびら やーたい。ゆたさるぐとう うにげーさびら。

鈴木耕太：くれー、すむち(書物)んかい ぬく(残)ち、ぬく(残)す、くぬ くとぅばや むる 日本語になる。

金城光子：日本語 やいびーん。

鈴木耕太：やしが、先生ぬ… どんな言葉というか、やまとぐちっし、うちなーぐち ちかたん っていうことを、この先生の くとぅばを…

金城光子：うれー、わったー っんみーん 方言さーに わんにんかい ならーさびーたん。して…

鈴木耕太：そのお話をちょっとやってほしいですね。その中で、例えば まあ 僕は琉球舞踊あまり習ってないからあれですけど、組踊で はい こんなして あんなしてとか じゃなくて、ここで こうゆう風に、例えば むちかきやーに、うちなーぐちにした

ときに分かりやすかった。

高嶺久枝：さっき「いいしやーま」とうか。

金城光子：さっきのことだね。

鈴木耕太：今の子どもたちは、下がってという意味ではないので、下がるのはそう、何かを押さえるっていう そんなイメージです。そんな日本語をまじえてでお願いしたいです。日本語はちょっとやっぱり、しまくとぅばのニュアンスが違う、しまくとぅばは日本語にちょっとはその、戻せないですよ。

やっぱ、僕らはこれ、僕はこれ、これは僕の感想。

高嶺久枝：「いいしてい」とか、座ってとかだね。

鈴木耕太：これ分かっているっていうのは、良く分かるんですよ。表現がどんなって出来ているとか。若い子たちってまだ軽い、多分言葉が分からんから、その意味がよくわかるといういなーって思います。だから逆に僕たちは、しまくとぅばで教えてもらった先生方、はすごくいいなーって、とってもウチナーぬ「ちむぐる」をそのまま芸能でもらってそれを今から教材に出来る、いい機会かなーって。

そういうような感覚。

高嶺久枝：先生（しんしー）、渡嘉敷先生（しんしー）、守章先生（しんしー）から、また しーじゃから、うちなーぐちし ちゃんぐとーる、くとうぼし なら（習）やびたがやー。

金城光子：あん やさやー、とー、たとうれーろー、とー にじり、にじりぬ ひさ、にじりんかい っんじゃち まーに、ただ っんじゃする ばーや あらんせーやー。いひぐわーや、「いいーしてい」んでい いーねー、「いいーし」んでい いーねー、「チャーし いいーしーが」でいちる ないびーさやー、やいびーくとう、ちんし、いひぐわーや まぎやーに、うぬ くぬ いふいぐわー まぎやーに にじりんかい くぬ ひさぐわーや、「休め」、「休めて」、「休め」すんねーっし、っんじゃち まーに でいち しーねー、「あー やがやー、なてー ねーらん、っやー むのー なま なてー ねーらんどー。」

高嶺久枝：かん とういがちーなー、なら（習）ゆんでいち。

金城光子：あんしーねー、やはり、やっぱり、すごー ならんせーや。すごー ならんくとう、なー わじーる とうちん あるばーてー、どうーわじー するばーよー、うひぐわー、よーらぐわー、チャーし ური 表現すがやー。

高嶺久枝：何センチ やいびーがやー。

金城光子：あんしーねー、てーげーや、いいーしやーに、「ちんし いいーしてい まーに」、「っやーが ちんし いいーしーねー、まぎーねー、とー わんが、とー なま なとーさ」、「とー っんまんかい にじりぬ ひさぐわー『休め』すんでい いやーなかい、よくんかい っんじゃせー」でいーねー、っんじゃち さくとう 「とー なま や

さ。あんしーねー、たむちえー ないん さに」んでい いちよーん。「どうーぬ たむちが なえー さに。」たむちね、どうーがやー、まさ、持てるでしょうって。

「ぶらぶらー さんていん しめー さに」んでい いちよーる ふーじやー。とー なまぬ ぐとうっし たむけー。とー、かんし なら（習）てい。

高嶺久枝：うちなー舞踊や うむ（思）いでいち、ゆー っやびーしが、くぬ なら（習）いぬ とうちん、先生（しんしー） うむ（思）い わ（分）からんねー、くぬ あん やいびーんやー、くぬ 表現 ないびらんやー。ないびらんやー。

金城光子：やしが くれーよー、っちゆ（人）ぬ ねーびる すくとう、やっぱり っちゆぬ ねーびる 師匠、うししよー（御師匠）ぬめー（前）ぬ ねーびる すくとう、うむ（思）いんでい いせー、とー っんまぐわーんじ やふあってーんぐわー くびぐわーや にじりんかい まーてい、ひじゃいんかい いてい、じち しーねー、うむえーい（入）ーさ、うぬ かわい、ただ ぶっきらに、にじりんかい まーてい、ひじゃいんかい まーていんでい いーねー、うむ（思）えー い（入）らんどーんでいち。

高嶺久枝：先生から おーけー（OK） とういぬまでい、何回何回 くりけーし、くりけーし くりけーし やいびーんやー。んじゃーま。

金城光子：どうーくる、かがみ（鏡） っんじゃーに。

高嶺久枝：んじゃーま。

金城光子：んー。っんまんじ うむとうーぐわー やがやー、あんとうーぐわー やがやー でいちよー、だから、ちーくがた（稽古方）から さーに、やーかい けー（帰）いねーよー、バス ぬ（乗）ている ちゅーてーくとう、くぬ バス停留所をうとーてい、くびぐわーや ふいるばーやー。

高嶺久枝：あん やいびーんやー。あっちやがちーなー もーとーるばー。

金城光子：あんさーに、なま どうーぬ にー（胸）んかい、んにんかい あ（当）ていてい、はい ური うわてい、手首 あまんかい けーせーんでい いし やしが、チャーし すがやー。ただ けーちえー ならん。あんしーねー チャーし すが んでいち。

高嶺久枝：チャーし すがやー んでいち。

金城光子：くまんかい 例えばよー、いち（池）ぬ あんやー、ぬー やていん しむさ、池（いけ）、池（いけ）よー。

高嶺久枝：みじが あゆん。

金城光子：みじ（水） いっちょーんやー。くまんかい うぬ みじ ふ（欲）ーさっさー んでいち うむ（思）いねー、うぬ っんまんかい きーぬふあーが う（落）ていとーんち すん。みじぬ なーかんかいや。あんしーねー、もう いっぺー、ぬーでいー（喉）ぬ かー（乾）ちよーくとう。

高嶺久枝：ぬ（飲）みぶさん。

金城光子：ぬ（飲）みぶさん。やしが うれー ぬまらん。きーぬふあーが う（落）ていてい。とー  
あんすくとう、ていー（手）ぐわーさーに やふあつてーんぐわー、ひじやいんかい、  
また にじりんかい うぬ きーぬふあーや ゆしやーに、みじえー ぬまりーせー  
やー。とー、うぬ たっぺー やさ。

高嶺久枝：たっぺー。とー。

金城光子：うぬ たっぺー やさ。

高嶺久枝：例え。

金城光子：例え。

高嶺久枝：たっぺー んでいち。

金城光子：うぬ たっぺー ていー。

金城光子：あんさーに、また やなじ 習（なら）いる ばすねー、やなじえー、ええいやええ  
いやーが あいびーせーやー。とー、くまん ぬーやがんでい いーねー、きーぬ  
ふあーが うていーし んじやーに、うぬ きーぬふあーや まっすごー ぼとみか  
ちえー うていらんくとう、きーぬふあーが うていーし んじやーに、ふゆるふゆ  
るふゆるーっし うていてい ちゅーし、とー くりさーに っんまんかい くぬ  
やなじぬ どうーむちねーよーや、しんじーねー、なんくる ないさと。

「いったーや をうどうえー 先生（しんしー）から なら（習）いんでい いー  
ねー、まちが（間違）とーんどー。」「あんし、たー（誰）から 習（なら）いびーが。」「  
とー、うんぐとーややー 世（ゆ）ぬ中（なか）んかい うていとーくとう、とうめー  
てい くーわ。」

高嶺久枝：貴重な くとうば やいびーんやー。ゆ（世）ぬなか（中）んかい。

金城光子：なまぬ わらばーたーが、こんなして言え、い（言）ららんどー。

高嶺久枝：うぬ じぶのー、わたん とうめーてい さげーち、時間 かかやびたしが、な  
ま わたんが、例えば。

金城光子：なとーくとうどう やる。

高嶺久枝：なとーぐとう、簡単に なら（習）ーすぐとう、すぐ ないびーしが、やっぱり い  
んちゆ（老人）ぬ ちゅぬちゃーが くくるが やっぱり、いひぐわー た（足）ら  
んやー んでいち。

金城光子：「ぶつきらに をうどうとーんやー」とうか、くぬ うむ（思）いい（入）りんでい いー  
ねー、くれー なんけーぬん なんけーぬん…

高嶺久枝：どうーっし さげーさんだれー ならんむんやー。

金城光子：くりけーち くりけーち、「あはー うんぐとうぐわー しーねー、うむいやりぐわー  
が いやーに、やふあつてーんぐわー ないさやー」んでいーしえー、どうーくる  
とめーらねー、くぬ なまぬ わらびんちゃーや、どうーくる とうめーいんでいー  
しえー、よっぼど 舞踊の し（好）ち あらん かじれー、とうめーゆーさびらん  
でいち、わんねー うむ（思）とーいびーん。

高嶺久枝：時間 かきらんねー、とうめーららん むん やんどーや。とうめーぬ くとう な  
いびらん でいち。

金城光子：わたん 守良先生（しんしー）、守章先生（しんしー）ぬ 創作なかい、たんめーあつ  
ち すしが、ある ばー やしが、どーなー、うれー いいなぐぬ たんめーあつち  
すんでい いせー、だー あんし むちか（難）さしが うれー ちゃー されー  
しむがやー でいち うむ（思）てい、「先生（しんしー）たい、とー ちゃーし  
さびーがやー」んち、「とー、みちんかい うていとーくとう とうめーてい…」

高嶺久枝：とうめーてい くーわ。

金城光子：あんされー、やっぱりその年齢になると年寄り歩きはやりますね。さびーんやー。とう  
しゆい（年寄）ぬ あまから めんせーし んじーねーよー、やっぱり かた（肩）  
ぐわーん うとうち、こーぐぐわーん ま（曲）がてい、「あはー くりが とうしゆ  
いあつち やさやー。」んでいち。

高嶺久枝：わ（分）かいん。

金城光子：わ（分）かてい、そーいびーしが、「とー うり みちんかい う（落）ていとーくとう、  
とうめやーに、で、次（つぎ） ちゅーる えーだー ちーく そーけー」んでいちえー  
よー、なまぬ わらびんちゃーんかい、とうーらん うんぐとー すん でいち  
わんねー うむ（思）とーん。あんしが、なまぬ しーとうんちゃー やていん、やっ  
ぱり じんぶんぬ ちゅまさい あいる すくとう。

高嶺久枝：あいびーぐとう。

金城光子：うぬ あたいぬ くとー、あん いーねー、「あー なるほどねー」んでい いやーな  
かい とうめーいる しーとうん をうーんでいち うむ（思）とーん。

高嶺久枝：あんし また、やっぱり 学校んでい いしえー、くぬ、さち なたる ちゅぬちゃー  
が、研究っし、何ですかこの、研究さびたる むんかい、くり なら（習）てい、ま  
た どうーぬ むぬ プラスんかい でいち 成立っし しまびーがやーんでいち、  
あんすぐとう 発展っし、いちゅんでいち うむ（思）やびーん。

金城光子：あん やいびーるばー。やいびーくとう わんにん、さき、さちふどうから、鈴木先  
生（しんしー）、久枝先生（しんしー）が くれー、ほぬ（本）んかい ぬく（残）ち、  
単語単語 ほぬんかい ぬく（残）ち やていん、っし いちーねー ゆゆ（世々）

までいん 残(ぬく)てい、うぬ わらびんちゃー、うり うぬ 本(ほん) んちよー  
てい、あー、うんにーに、んちゃ、先生(しんしー)が、久枝先生(しんしー)が い  
みせーたる くとー うり やさやー、鈴木先生(しんしー)が いみそーちやる  
くとー かん やてーさやー んでいち、うむ(思)てい うびっんじゃする だき  
しん、だてーんぬ、わざ(技)んでいち うむ(思)とーいびーんどー。

高嶺久枝：あんし また、わんにん ちゅーぬ ひー(日) んけーいんでいち、いっぺー 緊  
張さびたぐ、さびたぬ くとや たし(確)か やいびーん。

あんし、沖縄県ぬ しまくとぅば普及委員会(注：しまくとぅば普及センター)が  
あいびーんやー。あまが 主催そーる 検定試験が あいびーん。9級から 5級  
までい。なま さびー、この 検定試験が あいびーたしが、わ(我)んにん 小学  
校ぬ 5年生(にんしー)たーとう まじょーん、くんどう 全部 う(受)きやび  
たん。

金城光子：あー。あんしーねー、久枝先生(しんしー) 上手(じょーじ) やみせーびていー。

高嶺久枝：あんさんでー、学生(がくしー)ぬちゃーんかい、どーが まーまでい 習(なら)ー  
しーうーすがやーんでいち、どーぬ 力試し ーでいち。

9級、まー 9級から 6級までー ヒアリングとう 選択問題 やいびーたし  
が、5級や 筆記が あいびーたん。あんし、9級から 6級までいが 100点 や  
いびーたしが、5級や まーが ちがたが わ(分)かやびらんしが、筆記、筆記問  
題 やたぐとう、まー なーひん 勉強さんでー ならんやーんでいち うむ(思)  
とーいびーん。94点 やいびーたん。

金城光子：おー。あんせー ーでいきたでいきたる やんどー。

高嶺久枝：まー、あんねー くんねーっし、うちなーぐち、挑戦っし また、わんにん すらすら、  
あびーるぐとう ないるぐとう、さんでいち うむ(思)とーいびーれー。

鈴木先生(しんしー)たい、また、池宮さん、スタッフぬ みなさん、本当に ゆ  
たさるぐとう うにげーさびら。

ぐすーよー、まじゅんっし、うちなーぐち、世界んかい 発展しみてい いちゃびら  
やーんでいち うむ(思)とーいびーん。ゆたさるぐとう うにげーさびら。

金城先生(しんしー)たい。

金城光子：えーたい。

高嶺久枝：ちゃー がんじゅーっし、ながぬちっし、うたびみしえーびり。

金城光子：やんどー。生涯現役んでいち あさやーたい くとぅばんかいや、あんすくとうよー、  
ていーひさぬ かないる えーだ、わんにん がんば(頑張)てい いけーやーんでい  
うむ(思)とーしが、あんしがなー 後継者ん すだていーがてい ちーがーる  
ないんてーやー。

高嶺久枝：あん やいびーんやー。

以上をもちまして、すいません。以上をもちまして、すいません、しまくとぅば実

践授業の第10回の講座でございました。ありがとうございました。

金城光子：にへーでーびたん。

高嶺久枝：にへーでーびたん。

## 6 次年度への展望

今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの猛威に悩まされた一年だった。これまでのよう  
に対面・有観客でのイベントや事業の開催ができずに、これまで本事業で培ってきた計画が活かせ  
ず、もどかしい年度であった。しかし、少しずつであるが、コロナ以前の状況を考慮しながら確認  
し、進めるという「ウィズコロナ」の年度計画であった。

コロナ前同様、「誇らしゃ しまくとぅば講演会」はギリギリまで本学奏楽堂においての開催を  
計画したが、結局は大学理事会での無観客での講演、ひいては学外者を招いての開催は基本的に難  
しい、という判断から、国立劇場おきなわ、琉球新報ホールという別の会場での開催と言うことに  
落ち着いた。多くの観客に生で「しまくとぅば」の響きや「聴き事」を体験していただきたかった  
が、残念な結果となった。

しかし、「ウィズコロナ」の計画はマイナスな面ではなかった。記録し、アーカイブすると  
いう事の重要性を再認識させるとともに、またこれらの映像を未来にしまくとぅばの教材として活  
用することの可能性を教えてくれた。

次年度以降はこれまで継続してきた「実践授業」、10回を越えて開催してきた「誇らしゃしま  
くとぅば講演会」などのデータを活用し、新たな教材開発など、新たな展開を計画したい。

(文責：鈴木耕太)

# 7 小中学生新聞 りゅうPON連載記事・ていーち! Teach!!しまくとぅば

第3種郵便物認可

琉球新報

2022年(令和4年)4月10日 日曜日

「りゅうPON!」5

## ていーち! Teach!!



新年度を迎え、「ていーち! Teach!!しまくとぅば」は先月までの第3週から第2週に「お引っ越し」しました。今回は、授業のさまざまな場面で使えるしまくとぅばを紹介します。皆さん、チャレンジしてみたいかが。(第2週掲載)

## 授業で使ってみよう

鈴木 耕太 (沖縄県立芸術大学准教授)  
西岡 敏 (沖縄国際大学教授)  
仲原 稜 (沖縄県立芸術大学非常勤講師)

入学式も終え、本格的に新学期がスタートしました。新年度のスタートです。新しいクラスや学年、これから始まる勉強や授業にチムドンしているのではないですか。

さて、新たなチャレンジとして今年度は学級活動やホームルームに「しまくとぅば」を使ってはどうでしょうか。クラスによっては英語を取り入れたり、かけ算九九を暗唱したり、教室ごとにさまざまな取り組みができるのが学級活動・ホームルームの良いところです。

例えば、授業開始や終わりのあいさつは毎時間やっていますね。これをしまくとぅばにしてみると次のようになります。



イラスト・サイトウカナエ

「なまから 授業 はじみらな」  
(今から授業を始めようね)

教科書を読む(音読する)授業はけっこうありますね。国語や社会、生活や道徳などの授業では本を読むことが多いです。「先生の後に続いて読んでみよう」などの呼び掛けは、次のように言います。

「〇〇にちーてい、しつもんぬ あいびーん」  
(〇〇について質問があります)

「うー。うにげー さびら」  
(はい。よろしくお願ひします)

「わん あとうから ゆでい んーでー」  
(私の後について読んでごらん)

授業の終わりのあいさつは次のように言います。

同じクラスの友達が休んでいるときは次のように確認します。

「わん あとうから ゆでい んーでー」  
(私の後について読んでごらん)

「くまうてい うわらやー」  
(ここで終わろうね)

「〇〇さー ゆくていどう うるい?」  
(〇〇さんは休んでいる?)

また「ん なっし ゆでい んーだな」  
(みんなで読んでみようね)

または「なー、くりしし うわらな」  
(もう、これで終わろうね)

「〇〇さー やしむんでい しらしぬ あいびーたん」  
(〇〇さんは休むと連絡がありました)

そして、声に出して読む場所を終わるときは、次のように呼びかけます。

「にふえーでーびたん」  
(ありがとうございました)

「あれー ちゅーや ゆくとーいびーん」  
(彼、彼女は今日は休んでいます)

「とー、うっさやー」  
(よし、そこまでね)

すべての会話をしまくとぅばにするのは難しいですが、毎日使う言葉をしまくとぅばに置き換えてみると、授業に変化が出て、何だか楽しい気分になりませんか?しまくとぅばのイントネーションは柔らかく聞こえます。私たちの地域のことばをもっと日常で活用しましょう。

また「?んままでいっし しむさ」  
(そこまでいいよ)

質問があるときは先生に次のように呼びかけ

★「ん」はのどを緊張させて発音させる「ん」、「う」はのどをゆるめてやわらかく発音する「う」です。「?」や「?」は特別な発音を表す「補助」の文字。

※先生や保護者の方へ しまくとぅばで授業を行う際の文例集は、『授業で使える「しまくとぅば」文例集』とし

て2019年に「沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育プログラム開発事業研究会」が出版しています。沖縄県立芸術

大学芸術文化研究所ホームページで音声と書籍のデータを公開しています。この機会にぜひ活用してください。

文例集の書籍データと、文例ごとの音声データにアクセスできます

2022年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業

第3種郵便物認可

琉球新報

2022年(令和4年)5月8日 日曜日

「りゅうPON!」5

## ていーち! Teach!!



しまくとぅばと琉球の文化が深く関係していることは、これまでの回でも取り上げてきました。今回は、琉球舞踊を教えるときのしまくとぅばについて紹介します。基本の動作「すり足」を教えるとき、どう表現するのでしょうか。(第2週掲載)

## 踊りの動作を教える

鈴木 耕太 (沖縄県立芸術大学芸術文化研究所 准教授)  
比嘉 いずみ (沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻 准教授)

海開きを終え、ゴールデンウィークは家族で海へ行ったり、沖縄の自然や文化に触れたりして過ごす人も多いのではないかと思います。沖縄ではこの短い「春」の季節を「ウリスン」や「ワカナツイ(若夏)」と表現します。この時期が過ぎれば本格的な夏がやってきます。



イラスト・サイトウカナエ

琉球舞踊では、この春から夏にかけて芸能コンクールや「こども舞踊大会」など大きなイベントが開かれます。この記事を読んでいる人の中にも、今年はチャレンジする人がいるのではないのでしょうか。

### 「すり足」を表現

今回は琉球舞踊において使われる基本的な動作の「しまくとぅば」を紹介します。沖縄の先人たちは、舞踊の動作を教えるときに、身近にある自然をうまく表現の中に織り交ぜています。それは次のような言葉です。

「シナトウバサングトウ...」

「シナヌナーカンカイアシツティ、シナトウバサングトウ、アシンジャセー」  
(砂の中に足を入れて、その砂を飛ばさないように、足を出さない)

に足を入れた経験があると思います。軟らかくてサラサラした砂を足の指の上に乗せて、その砂を飛ばさないようにつま先を上げるのをイメージできますか?

この言葉は、琉球舞踊の「歩み」の動作をするときのものです。よく、すり足で歩むように、と指導されると思いますが、言葉だけだと、足のつま先をどのくらい上げればいいのか、あいまいで分かりにくいと思います。

### 昔の人の「伝える工夫」

琉球舞踊で一番基本となる動作は「歩み」です。この基本となる動作は、簡単なようで奥が深いものです。実際に、何十年と舞踊の経験がある先生でも、毎回のお稽古の時には「歩み」の動作に注意して踊りを踊っています。自分の歩みが力んでいたり、緊張していたりなど、上

手くできていない時には、沖縄の砂浜を思い出して、砂の中に足を入れ、砂を飛ばさないように足を出すイメージを実際にやってみましょう。そうすると自然と「歩み」の動作が上手くいくはずですよ。

琉球舞踊や歌三線など、沖縄の文化は長い間「しまくとぅば」で伝承されてきました。文化を伝えるためのしまくとぅばには、昔の人たちのアイデアや伝えるための工夫が含まれています。今回、紹介した言葉のように、身の回りのことや気になることを「しまくとぅば」でどうやって表現するのだろうか?という興味を持つきっかけになるとうれしく思います。



こども舞踊大会で「買花(ぬちばな)」を披露する子どもたち=2021年7月、那覇市の琉球新報ホール



「かぎやで風」を踊る子どもたち  
「繁昌節」を愛くるしく踊る子どもたち

踊りの小道具や、楽器の部分の名前など 琉球芸能に関するしまくとぅばを探してみよう!

いくつ見つけられるかな?

- 五つ以上 ▶ 「うしゅがなし」 レベル★★★★★
- 四つ ▶ 「うえーかた」 レベル★★★★
- 三つ ▶ 「ペーちゃん」 レベル★★★
- 二つ ▶ 「さどらぬし」 レベル★★
- 一つ ▶ 「にや」 レベル★

2022年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業

ていーち! Teach!!

しまくとぅば 9

これまでに琉球芸能としまくとぅばは深い関係があることが分かりましたね。先月は、琉球舞踊を教えるときに使うしまくとぅばを知りました。今月は、歌三線の稽古にまつわるしまくとぅばを学びましょう。(第2週掲載)

現代と異なる発音・表記

あら かき とし みち 新垣 俊道 (沖縄県立芸術大学准教授)

三線音楽は大きく分けて古典音楽と民謡に分けることができますが、どちらとも歌詞は琉歌が使用されています。琉歌は沖縄の古語で詠まれているため、現代とは異なる発音・表記をするものがあります。

難しい「い」と「あ」の違い

三線の稽古でよく注意されるのが「い」「あ」の発音の区別です。「あ」は「い」と同じとして使わなくなった「ひらがな」です。しかしその二つは微妙に発音が異なり、それをしっかりと区別して発しないと全く異なった意味になってしまいます。ただその発音がとても大変で、「い」を発する直前に瞬間的に息を止めるような動きをして、「あ」を発する際は意識して息を止めず流れるようにすることで発音するなどその発音にはとても苦労します。

そのため、三線の稽古場で「あ」を「い」と発すると、先生から「喉んかい力入りねーからー」「いんかいないんどー(喉に力を入れて歌うと「い」の発音になるぞ)」と指導を受けたりします。

習得へ日々の鍛錬

また稽古の際、笑い話でよく例題として出さ



イラスト・サイトウカナエ

れるのが「いん」「あん」の違いです。しまくとぅばで「いん」は「犬」のことを指します。それに対し「あん」は「縁」になります。歌詞のなかで「縁がやゆら(縁があるのでしょ)」という表現がよく出てきますが、ここで「あん」を「いん」の発音で歌ってしまうと、「犬があるのでしょ」という意味になってしまいます。先生からは、すかさず「犬ぐあーぬあるばーい? (犬があるのか)」とか、「犬ぐあーどうやんな? (犬なのか)」と笑われ、その後は「縁どうやえーさに。『い』やあらん。『あ』

どうやる。発音や気付きらんねー(縁だろ。『い』ではない。『あ』だよ。発音は気を付けないと)」と指摘されてしまいます。このように微妙に異なる発音を意識して区別しないと全く違った意味、また何の事を歌っているのか分からなくなってしまいます。古典音楽であれ民謡であれ、発音の習得はとても大切です。歌三線の稽古は、演奏や歌そしてこのような発音を含めた総合的な鍛錬が日々繰り返されています。

◇ウェブサイト「NIEルーム」に ①「いやー(あなた)」と「やー(家)」 ②「わー(私)」と「うわー(豚)」 ③「いん(犬)」「あん(縁)」の音声を掲載しました。アクセスして聞いてみよう。違いが分かるかな?

「い」「あ」のように発音によって意味が変わる単語があります。 「わ」「や」の音声を掲載しました。私、豚、あなた、家。 その他に発音によって意味が変わるしまくとぅばをさがしてみよう!!

2022年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業

毎週日曜日発行 新報小中学生新聞 「いっPON!」

琉球新報と「いっPON!」は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部132円のところNIE(教育に新聞を)価格の1部あたり40円で購入できます。 問い合わせ・申し込みは、琉球新報NIE推進室 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

ていーち! Teach!!

しまくとぅば 10

今回はしまくとぅばと沖縄の伝統芸能「組踊」の関係について紹介します。そのセリフは日常使うしまくとぅばとはちょっと違います。夏休みのように時間がたくさんあるときにじっくり組踊鑑賞してみるのもいいかもしれません。(第2週掲載)

組踊を「聴き」に行こう

すずき こうた 鈴木 耕太 (沖縄県立芸術大学准教授)

皆さんは「組踊」(クミウドゥイ)を観たことはありますか? 組踊は沖縄の誇る古典劇で、今から約300年前、琉球王国時代の1719年に初演されました。最初に演じられた作品は5作品あって、それらはすべて玉城朝薫によって創作されたので「朝薫五番」と呼ばれています。

残すべき文化財

組踊はせりふに琉球古典語、音楽に琉球古典音楽、そして所作(舞台上の動き)の基本は琉球舞踊を用いて創作されています。劇にかかわるすべてが「メイドイン・オキナワ(リュウキュウ)」の作品で、日本復帰の時に、国の重要無形文化財に指定され、2010年にはユネスコの無形文化遺産の一覧にも掲載された芸能なのです。

せりふは「書き言葉」

この組踊、実は、せりふは「しまくとぅば」ではありません。しまくとぅばは基本的に「話し言葉」を指しますが、組踊のせりふは一部の役(間の者・しまくとぅばでマルムン)を除いて、主に「讀文」という、首里方言の「書き言葉」になっています。この首里方言の「書き言葉」は、先ほども紹介した「琉球古典語」と言っています。

では、琉球古典語としまくとぅばはどのように違うのでしょうか。分かりやすく説明すると、今の皆さんの「作文の文章」と「普段の会



イラスト サイトウ・カナエ

話」の違いのようなものです。作文では、です・ます調の文章を書いて、話し言葉に比べると少し堅い文章になります。組踊のせりふもそれと似ています。そして組踊のせりふは主に琉歌と同じ8・8・8・6の決まった言葉の数で書かれています。大きな違いはそのようなのですが、発音はしまくとぅばと全く一緒(例えば「采」はクミ、「犬」はインなど)なので、しまくとぅばを理解すると、組踊のせりふも理解しやすくなるのです。

まるでミュージカル

組踊は演劇なのですが、組踊を見に行くことをしまくとぅばで「クミウドゥイ チチガイ

組踊を聴いてみよう! 映像の47分ごろから「万歳敵討」が始まります。最後まで視聴したあなたは、「うしゆがなし」レベル★★★★★



「朝薫五番」の一つ、「執心鐘入」。組踊が初めて上演されてから300年を記念して、300年前の舞台を野外で再現したときに演じられた—2019年10月、浦添市の組踊公園

2022年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業

ていーち！ Teach!!



夏休みもそろそろ終盤ですね。暑い日が続いていますが、皆さんはどのように過ごしていますか？ 今回はしまくとぅばの形容詞について一緒に勉強してみましょう。(第2週掲載)

形容詞を使ってみよう

鈴木 耕太(沖縄県立芸術大学准教授)
仲原 稔(沖縄県立芸術大学非常勤講師)

形容詞という難しい！とイメージしてしまいがちですが、物や生き物の様子が「どのようになっているか、つまり「特徴」を表す言葉です。日常会話によく使われています。例えば今回最初に登場した「暑い」の「あつ」も形容詞です。「広い」や「大きい」、「少ない」など、普段の会話で使っていると思えます。この他、「面白い」「楽しい」「かわいい」なども形容詞です。しまくとぅばの形容詞は日本語の形容詞と少し違った形をしています。たとえば、次のしまくとぅばの形容詞を見てみましょう。



イラスト・サイトウカナエ

Table with 2 columns: しまくとぅば, 日本語. Rows include アチサン, マギサン, イキラサン, チュラサン, ウムサン.

よく見てみると、しまくとぅばも日本語も形容詞の語尾がそれぞれ「～サン」、「～い」というように決まった語尾になっていることに気づくと思います。さっそく、形容詞を使って文章を作ってみましょう。①へ ※最初の「暑い」の例を参考に( )内に形容詞を入れてみよう！

けっこう簡単に形容詞を使った文が作れたと思います。次はステップアップ。さっきのことは丁寧語にしてみましょう。②へ 通常の言い方の「～サン」の部分「～サイビン」に取り替えるだけで簡単に丁寧語になるのです。

この他、話し手の感想を伝えるときには、語尾の「～」の代わりに「～ヨー」を付けた「～サヨー」という言い方にすると「～だなあ」という意味になり、普段の暮らしで便利に使えます。暑かったら「アチサヨー」(暑いなあ)、大きかったら「マギサヨー」(大きいなあ)のように、感じたことを感想として表現する際によく使われています。形容詞には、日本語と一部似た発音になる

① 夏は暑い → ナチヤ (アチサン)
太陽は大きい → ティーダヤ ( )
休みは少ない → ヤシミヤ ( )
海は美しい → ウミヤ ( )
しまくとぅばは面白い → シマクトウバヤ ( )

② 夏は暑いです → ナチヤ (アチサイビン)
太陽は大きい → ティーダヤ ( )
休みは少ない → ヤシミヤ ( )
海は美しい → ウミヤ ( )
しまくとぅばは面白い → シマクトウバヤ ( )

「タカサン」(高い)や「ナガサン」(長い)のような単語が多いのですが、ときどき「イバサン」(狭い)や「シダサン」(涼しい)のように独特の語形もあります。また、形容詞には「アカサン」(赤い)、「クルサン」(黒い)、「オーサン」(青い)、「シルサン」(白い)など、色を表す単語もあります。夏休み中に目に入るもの、感じたことを形容詞で表現し、使ってみましょう！

形容詞を使ってみよう! ②の問題、いくつ書けたかな? 全て「うしゅがなし」書けた! レベル★★★★★

- 答え①ティーダヤ(マギサン) ヤシミヤ(イキラサン) ウミヤ(チュラサン) シマクトウバヤ(ウムサン)
- 答え②ティーダヤ(マギサイビン) ヤシミヤ(イキラサイビン) ウミヤ(チュラサイビン) シマクトウバヤ(ウムサイビン)

ていーち！ Teach!!



これまでしまくとぅばと踊り、三線、組踊といった伝統芸能とのかかわりを学んできましたね。今回は地域の祭りに出てくる芸能とのかかわりについて学びます。(来月は16日掲載します)

地域の芸能を見てみよう

鈴木 耕太(沖縄県立芸術大学准教授)

夏の暑さが続き、秋の気配が恋しいこの頃ですね。旧暦の8月15日(今年は9月10日でした)は沖縄本島各地で「村踊り」「村芝居」「十五夜」などと呼ばれる、豊年に感謝する祭りが行われます。今回は地域の芸能と「しまくとぅば」の関係や魅力についてお話ししましょう。

豊年祝う演目

地域の芸能で披露される芸能は、「長者の・大主」という演目が一番目に行われることが多いです。この演目は、その地域の長寿者が舞臺に登場して、豊年についてお祝いや喜びの言葉を述べ、引き連れている孫たちに踊りを踊らせるもので、豊年の雰囲気より一層際立たせまします。その他の祭りでは、地域の守り神である・獅子舞や、さまざまな琉球舞踊の演目も演じられます。

首里言葉の韻文使う

各地で演じられる芸能について、「しまくとぅば」の視点から特徴を見ていくと、先に挙げた「長者の大主」のような演目の口上(せりふ)などは、首里方言の韻文(書き言葉)となっています。これは、沖縄本島中部や、北部地域も同じです。また、組踊のせりふや琉球舞踊の歌詞(琉歌)なども同じです。ですから、沖縄の各地の芸能も、首里方言の韻文を知



イラスト・サイトウカナエ

っていれば理解できる、ということになります。

そうすると、地域のしまくとぅばは芸能に用いられていないのか? という疑問が生まれます。実は、地域のしまくとぅばも演じられる芸能の中に入り込んでいます。それは組踊に登場する「マルムン」という役のせりふの中にあります。

内容伝えるマルムン

組踊の中で上演時間が長い作品には、前半と後半の間に「マルムン」が登場して、これまでの内容と、これから起こることを説明する場面

があります。そこで語られるせりふは、上演している地域のしまくとぅばを用いています。

組踊のせりふである首里方言の韻文は、自分たちの使っている日常的なしまくとぅばではないので、意味を理解するのに難しいこともありますが、地域のしまくとぅばは観客の皆さんにも伝わりやすいという効果があります。それだけでなく、「マルムン」は内容を面白おかしく伝えるので、しまくとぅばによる「話芸」のような要素があります。

これまで旧暦8月15日の芸能をお休みしていた地域も多くありますが、再びいつものように上演され、しまくとぅばの話芸を楽しめることを願います。



組踊「伏山敵討」の中で、按司らとのせりふのやりとりで会場を沸かせるマルムン(間の者)の「狩人」(右端)。=2020年2月、国立劇場おきなわ

答え ①ジュウグヤ ②ウフシュ ③シーシ ④スイ ⑤クミウドウイ

文中のキーワードをしまくとぅばで読んでみよう! ①～⑤の赤い文字だよ! 全部できた ▶ 「うしゅがなし」レベル★★★★★

ていーち! Teach!!

しまくとぅば 13

4月に、授業開始や終わりのあいさつなど、授業やホームルームで使える「しまくとぅば」を紹介しました(沖縄中南部を例に出しました)。半年がたちましたが、今回も学校内で使えるしまくとぅばについて、紹介していきます。(次回は11月13日掲載)

休み時間に使える表現

鈴木 耕太(沖縄県立芸術大学准教授)
仲原 稔(沖縄県立芸術大学非常勤講師)

例えば、授業が終わって一息つく「休み時間」。この時間を楽しんでいる人も多いでしょう。休み時間のことをしまくとぅばで「なかゆくい」といいます。給食の後の長い休み時間は「ひるぬ なかゆくい」などと分けて使うと分かりやすいです。



イラスト サイトウカナエ

友達と遊ぶ約束をする

「なかゆくい」に友達同士で遊ぶ約束をしまくとぅばにしてみましょう。「〇〇して遊ぼう」という呼びかけは「〇〇し あしばな」となります。「〇〇」は野球やサッカー、その他の「遊び」の名前を入れて使えます(例:「サッカーし あしばな」 サッカーをして遊ぼう)。

教室から別の場所へ一緒に移動しようと誘う場合は、「〇〇んかい(まじゅん)いか」を使ってみてください。「まじゅん」は「一緒に」という言葉ですが、「いか」だけでも「行こう」と、相手を誘う言い方になります(単に「〇〇んかい いか(〇〇に 行こうよ)」でも良いです)。「〇〇」には体育館や教室名など「場所名」を入れて使ってみましょう。

右の問題にチャレンジ!→

返事はどうする?

長い昼休みのとき、校庭や花壇、図書室などで「植物」や「昆虫」や「本」などを探したり、調べたりすることもあるでしょう。「〇〇を探しに行こう」は「〇〇 とぅめーてい いかな」となります。探し物が「クマゼミ」なら「さんざなー とぅめーてい いかな」、「ホウセンカ」なら「ていんさぐ とぅめーてい いかな」となります。本は「すむち」ですが、

好きな本のタイトルでも構いません。花の名前、虫の名前のしまくとぅばを調べて使ってみてはどうでしょう。

誘われたとき、「いいよ!」と返事する場合は「しむんどー(いいよ)や「いー(うん)と言いましょ。また誘ってほしいときは、「また、いかやー」(また行こうね)や「また、あしばやー」(また、遊ぼうね)、「あしばな」(遊ぼうよ)なども使ってみてください。

「しまくとぅば」にしてみましょう。
左の問題、しまくとぅばで言えたかな?
2問ともできた! 「うしゅがなし」 レベル★★★★★
1問だけでできた! 「ペーちゃん」 レベル★★★
できなかった(涙) 「にや」 レベル★

もしろい」のように現在のことだと「うむさん」になります。もし遊んだ後に使う場合は「うむさん」ではなく「うむさたん」と言い方が変わります。例えば、「今日の昼休みは〇〇して遊んで面白かったね」だと「ちゅーぬ ひるぬ なかゆくえー 〇〇し あしでい うむさたんやー」というのです。相手に楽しかったことを伝えて、「また まじゅん あしばな」(また あしばやー)のように次の約束をするのもいいでしょう。

答え①体育館んかい まじゅん いか ②図書室んかい いかな

2022年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業

ていーち! Teach!!

しまくとぅば 14

芸術の秋ですね。沖縄の伝統文化にもぜひ親しんでほしいです。今回は、沖縄県立芸術大学で琉球舞踊を教える際に用いられる言葉を紹介します。(第2週掲載)

舞踊の稽古で用いる言葉

鈴木 耕太(沖縄県立芸術大学准教授)

今年は復帰50年の節目の年ですね。「美ら島おきなわ文化祭2022」や先日行われた世界のウチナーンチュ大会など関連イベントも多く、沖縄の芸術文化に触れる機会も多かったのではないのでしょうか。

私の勤めている沖縄県立芸術大学は、沖縄の芸術文化を専門的に学ぶコースがあり、その中には琉球芸能専攻という琉球古典音楽や琉球古典舞踊、組踊を専門的に学ぶ専攻があります。その琉球芸能専攻では「しまくとぅば」を用いた講義を行っています。今回はその中からよく用いられる言葉を紹介します。

例えば、「歩み」の稽古をする時に、「にじりんかい、みぐてい」「ふいじゃいんかい、みぐてい」などと使います。これはどのような意味が分かりますか? 「にじり」「ふいじゃい」は日常生活でよく使う言葉ですので、クイズにします。「みぐてい」は「めぐって」なので「まわって」という意味になります。

他には「やふあつてんぐわー」という言葉もよく使われます。舞踊の動き(所作といえます)を稽古するとき、アドバイスするための言葉です。どのような意味なのか、想像してみてください。声に出してみると雰囲気や気付きがかもしれません。

日常会話と違う意味も

また、普通のしまくとぅばが、琉球舞踊のお稽古の時に用いられると、本来の意味が少し変わることもあります。「歩み」の稽古の際に使われる「めーんかい、うっちゃかれー」という言葉は、「前の方に寄りかかりなさい」という意味ですが、「歩み」の動作をする時には前に寄りかかるとそのまま倒れてしまいます。ここでの「めーんかい、うっちゃかれー」は、「重



イラスト・サイトウカナエ

Q 琉球舞踊の稽古でよく使うしまくとぅば、意味が分かるかな?
クイズ
①「にじり」 ②「ふいじゃい」
③「やふあつてんぐわー」
④「がまく」 ⑤「ふいさ」
⑥「あどう」
⑦「くしながに」
④~⑦は体の部位だよ

左のクイズ、いくつできたかな?
七つ全部できた!
「うしゅがなし」 レベル★★★★★
六つもしくは五つできた
「うえーかた」 レベル★★★★
四つもしくは三つできた
「ペーちゃん」 レベル★★★
二つできた 「ざとぅぬし」 レベル★★
一つだけ 「にや」 レベル★

心(こころ)を少し前の方に移動させる」という意味になります。同じしまくとぅばでも、日常会話で用いるときと、特別な状況(ここでは琉球舞踊のお稽古)で用いられるときには、意味が変わることもあるのです。

しまくとぅばを用いて琉球舞踊を教えること

は、琉球舞踊の歌詞である琉歌の意味や表現を知るための「きっかけ」づくりになります。また、復帰前まではしまくとぅばを用いたお稽古も行われていたようです。私たちの古くから伝わる文化を「わざ」とともに「ことば」も残していきたいですね。

答え ①右 ②左 ③柔らく ④腰 ⑤脚 ⑥かかと ⑦上体(背中)

2022年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業

掲示板投稿募集

- ①住所
②氏名(ペンネームの人)
③学年(年齢)
④電話番号
を書いて、郵便やメール、ファクスで送ってね。掲載者には図書カードを贈呈。

ゆんたく広場(400字以内)

- 内容はなんでもOKだよ
ことばであそぼ俳句や川柳、だじやれなど
イラスト はがきの大きさ(縦書き)でね
コラ川道場 新聞の見出しで川柳を作ろう!

ジュニア通信員

あなたの学校などを紹介する記事や、子ども記者になって書いてください。詳しくはお問い合わせを

追跡きつりレポート

2人か3人1組の子ども記者が好きなテーマを取材します

君も漫画家!

はがき(横書き)に4コママンガを描いて送ってね。マンガを描くときはペンを使ってね。鉛筆や蛍光ペンで描くと見えなくなるので気をつけてね

新報小中学生新聞



琉球新報とりゅうPON!は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部132円のところNIE(教育に新聞を) 価格の1部あたり40円で購入できます。

問い合わせ・申し込みは、琉球新報NIE推進室
☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

ていーち! Teach!!



15

「しまくとぅば実践教育事業」では、普段の授業で使える沖縄語の教材を作り、琉球芸能をはじめとする沖縄文化についてしまくとぅばを通して理解することを自指しています。その「しまくとぅば」の実力を測るのにぴったりなのがしまくとぅば普及センターが実施している「しまくとぅば検定」です。検定の問題には沖縄の文化的なことも多く取り込まれています。(第3週掲載)

検定で実力測ってみよう

西岡 敏(沖縄国際大学教授)

「しまくとぅば検定」は2018年度に「プレ検定」として沖縄中南部9級から始まり、19年度から沖縄中南部9級・8級・7級の「検定」が正式にスタートしました。20年度に6級が、21年度に5級が加わり、さらには、石垣島や与那国島、本部町にも「しまくとぅば検定」が広がっています。

問題の例文見てもみよう

本年度も沖縄中南部言葉では9級から5級の「しまくとぅば検定」が行われます。「しまくとぅば検定」ではどんな問題が出ているのでしょうか。その問題作成には沖縄県が発行している『しまくとぅば読本』(15年)が参考にされているようです。



イラスト サイトウカナエ ☆祖母シーサーと孫シーサーは何と言ってるのかな?

- 例: 『しまくとぅば読本』(小学生、p.6) (教科のうち) しちゅしゅー 社会 やいびーん。(好きなのは 社会 です)
『しまくとぅば検定』(21年度9級・「読んで答える問題」より会話文の一部) ゆきこ: わーが しちゅしゅー 算数とぅ 音楽 やいびーん。(私が 好きなのは 算数と 音楽 です)

『しまくとぅば読本』に出ている「しちゅしゅー 検定」でも会話文の一つとして使われている。○○ やいびーん」のパターンが「しまくとぅば」のことがわかります。次の例はどうでしょうか。

- 例: 『しまくとぅば読本』(小学生、p.30) ちゅらばな とぅめーいが 行かな。(きれいな花を 採りに 行こう。)[一中略一] ていんさーぐぬ はな やれー、ちみ すみてい あしぱーいんどー。(ホウセンカの 花 だったら つめを 染めて 遊べるよ。)

- 『しまくとぅば検定』(21年度8級・「読んで答える問題」より会話文の一部) さくら: はんしーや、わらびぬ ばすねー ぬー っし あしどーいびーたが。(おばあは 子どもの ときには 荷を して 遊んでいましたか) おばあ: にかしや ちゅらばな ちでい あちみたい。(昔は きれいな花を 摘んで 集めたり) ていんさーぐぬ はな やれー、ちみ すみてい あしだんどー。ホウセンカの 花 なら つめを 染めて 遊んだよ)

答え 孫シーサー: しまくとぅばで「おばあ」は何と言いますか? 祖母シーサー: 「はんしー」と言うんだよ!

2022年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業



琉球新報とりゅうPON! は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部132円のところNIE(教育に新聞を) 価格の1部あたり40円で購入できます。問い合わせ・申し込みは、琉球新報NIE推進室 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

ていーち! Teach!!



16

2023年が始まりました! 新たな年は新型コロナに打ち勝って、乗り越えていけるように頑張っていきたいものです。さて、今回は沖縄の古典劇である組踊と「しまくとぅば」についてお話ししたいと思います。(第2週掲載)

組踊風に唱えてみよう

鈴木 耕太(沖縄県立芸術大学准教授) 嘉数 道彦(沖縄県立芸術大学准教授)

300年以上の歴史をもつ組踊は、首里城に勤めていた琉球士族によって作られた演劇で、当時、首里を中心に使われていた言葉を基に、せりふや歌詞がつづられています。

字数に合わせた言葉

組踊では人物が登場する際に「ワンヤ 中城若松ドゥ ヤユル」など、自己紹介を行うのが特徴で、これを「名乗り」と言います。「ワン」は「私」、「ワンヤ」は「私は」、「○○ドゥ ヤユル」は「○○です」という意味で、「私は中城若松です」という自己紹介になるわけです。

日常的なしまくとぅばの会話としては、「ワンヤ 中城若松ヤイピーン」や「ワンヤ 中城若松ンディ言チャイピーン」などと自己紹介することも多いと思いますが、組踊のせりふは琉歌(8・8・8・6)のスタイル、字数に合わせて定型詩として作られているため、「ワンヤ○○○○ドゥヤユル」といった字数にはまるよう言葉がつづられているのが特徴です。自分の名前を当てはめて、ちょっと組踊風に唱えて遊んでみると面白いと思いますよ。

和語使用場面も

また、琉球の士族たちは、当時、教養として日本の文学や芸能を学び、その影響を大きく受けながら自分たちの芸能を生み出してきました。そこで、琉球の言葉を基本としながら、和語、現在の日本語が使用されているシーンもあります。本来「しまくとぅば」として発するのなら、「男」は「イキガ」、「女」は「イナグ」と言うところを、「アイウエオ」が「アイウイウ」と3母音に変換する方式で、「オト



イラスト サイトウカナエ

問題 組踊「銘苺子」に出てくる言葉を3母音の方式で変換してみよう!
1「姉」->
2「心」->
3「明雲」->
4「羽衣」->
5「天の雨」->

左の問題いくつできたかな?
五つ全部できた!
1「うしゅがなし」レベル★★★★★
四つ「うえーかた」レベル★★★★
三つ「べーちゃん」レベル★★★
二つ「ざとぬし」レベル★★
一つだけ「にや」レベル★

答え ①アニ②ククル③アキグム④ハグルム⑤ティンヌアミ

2022年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業



琉球新報とりゅうPON! は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部132円のところNIE(教育に新聞を) 価格の1部あたり40円で購入できます。問い合わせ・申し込みは、琉球新報NIE推進室 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

ていーち! Teach!!

# しまくとぅば

17

沖縄県立芸術大学の琉球芸能専攻では、沖縄県立芸術大学芸術文化研究所と共同で「しまくとぅば実践教育プログラム開発事業」を行っています。りゅうPON!ではこの事業に関わる先生たちによるコラムをお届けしていますが、今回はこの事業そのものを紹介します。(第2週掲載)

## 身体表現、言葉で表す

鈴木 耕太(沖縄県立芸術大学准教授)

もともと、沖縄県のある琉球諸島は、北にある鹿児島県の奄美諸島を含めて「琉球文化圏」を形成しています。この奄美から与那国島までに大きく六つの言語が話されており、沖縄県ではしまくとぅばの普及・発展を自指して、日々取り組んでいます。

### 踊りと歌の根底に「琉歌」

沖縄文化の代表とも言えるものに沖縄の音楽や舞踊が挙げられます。他の地域と大きく異なるその文化は、たくさんの魅力を持っています。沖縄県立芸術大学では、この沖縄の音楽や舞踊、組踊を学ぶことのできる、世界に一つだけの学科があります。それが「琉球芸能専攻」です。大学ではさまざまな授業を受けながら、琉球の踊りや歌を学びますが、その歌詞にはしまくとぅばと関わりのある「琉歌」が用いられています。「琉歌」はしまくとぅばの書き言葉で表現されているので、しまくとぅばを理解することは、歌の意味を深く知ったり、踊りの表現世界を深く知ることができたりするきっかけになるのです。

そこで、しまくとぅばを身近に感じてほしい、ゆくゆくは「琉歌」などの表現を深く理解してもらうために、しまくとぅばで琉球芸能を学んできた世代の舞踊や琉球古典音楽の先生に「特別講師」として講義に招いて動きや表現をしまくとぅばで教えていただきます。

### 言葉の意味 想像し深める

舞踊は身体表現ですが、日本語とは異なる「しまくとぅばの表現」にはたくさんの魅力があります。例えば、踊りを指導するときに「①



イラスト サイトウカナエ

**問題** 文中の①～④のしまくとぅばの意味が分かるかな?

四つ全部分かった! ▶「うしゅがなし」 レベル★★★★★

三つ分かった! ▶「ペーちゃん」 レベル★★★

二つ分かった! ▶「さとぅぬし」 レベル★★

一つ分かった! ▶「にや」 レベル★

ミーグスイ」とか「②ミミグスイ」などという、後々、この稽古が自身の財産になる、と表現します。また、脇と胴体の間を少し空けるときは「③クーガ ダチョール ドーヨー」(〇〇を抱いているように)と表現しています。さらには、二才踊りにあるような勇ましく歩く様子を「④クダミティ アッキー」(〇〇歩みなさい)と表現しています。

身体表現をしまくとぅばで表すと、言い換えや直接的ではないニュアンスで表現されます。それはしまくとぅばの特徴であり、言葉の意味を想像するからこそ、言葉の持つ意味に深みが出るのではないかと思います。みなさんもしまくとぅばで「何か」を表現できるように勉強してみたいいかがでしょうか。

答え: ①目の薬(見てためになる) ②耳の薬(聞いてためになる) ③卵 ④力強く

2022年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業

新報小中学生新聞



琉球新報とりゅうPON! は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部132円のところNIE(教育に新聞を) 価格の1部あたり40円で購入できます。

問い合わせ・申し込みは、琉球新報NIE推進室 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpco.jp

ていーち! Teach!!

# しまくとぅば

18

早いもので、もう3月。卒業や修了のシーズンですね。みなさんは今年受けた授業の中で、一番心に残ったものは何でしょうか? 今月はしまくとぅばと授業についてお話ししましょう。(第2週掲載)

## 沖縄文化、どの言語で学ぶ?

鈴木 耕太(沖縄県立芸術大学准教授)

授業は私たちの毎日の生活の一部となっていると思いますが、その授業はどのような「ことば」で行われていますか? 日本語? 英語? それとも…。日本のことを学ぶのであれば、日本語を使って学習することがその文化や歴史を知る上で効果的です。それは、学んでいる事柄の多くが「日本語」(時には古い言葉もありますが)だからです。

### 琉球舞踊の授業では

では、沖縄の文化を勉強する時にはいったいどのような言葉だと良いのでしょうか? 実はこの疑問にはちゃんとした正解はありません。ですが、沖縄の文化を学ぶ時に、必ずと言っていいほど「しまくとぅば」が出てきます。例えばモノの名前、色々の名前、場所の名前…挙げればきりがありません。

そこで、沖縄県立芸術大で琉球芸能を教える時には、日本語以外に「しまくとぅば」を用いて授業を行っています。もちろん、受講する学生たちの中には県外出身や、県内離島出身の人もいます。ですが、授業で首里方言を中心としたしまくとぅばを日本語に混ぜながら使うことで、学生たちは、1年の授業が終わるころにはしまくとぅばや、琉歌について理解が深まっています。

### ハワイの取り組み

私たちの大学でのこのような取り組みは、ハワイで実際に行われている言語教育プログラムを、一部、取り入れたものなのです。このような教育を「イマージョン(浸す)教育」といいます。一つの言語の海に浸すことで、言葉を覚



イラスト サイトウカナエ

**問題** イラストで、先生は何と言っているのでしょうか。①～③の中から選びましょう。

① 鈴木さんは欠席かな?

② 鈴木さんは寝ているのかな?

③ 鈴木さんは元気かな?

※答えはこのコーナーの下にあります。

正解した! 「うしゅがなし」 レベル★★★★★

不正解だった 「にや」 レベル★

えるスピードや、理解力が上がることが分かっています。

先ほども述べましたが、沖縄の文化を学ぶ時に最適な言語は何でしょう? このような問いに答えを出すために、学ぶためのプログラム、教えるためのプログラムを試行錯誤しながら「しまくとぅば事業」を進めているところなのです。

ハワイ大学でハワイ語の言語復興を進めている先生方からは「try And error (試行錯誤) で進めていくことが大事です!」とコメントをもらいました。結果が出ていないことだからこそ、少しずつ成果を積み重ねながら、私たちの「しまくとぅば教育」の旅はこれからも続いていくのです。

答えは① ※児童は「鈴木さんは休むと連絡がありました」と言っています。

2022年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業

新報小中学生新聞



琉球新報とりゅうPON! は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部132円のところNIE(教育に新聞を) 価格の1部あたり40円で購入できます。

問い合わせ・申し込みは、琉球新報NIE推進室 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpco.jp

8. 令和4年度しまくとぅば実践教育授業録画日一覧（括弧内の数字は回数）

【前期】

授業実施回数 舞踊実技Ⅰ（比嘉）8回、舞踊創作演習Ⅰ（比嘉）15回  
地謡実技Ⅲ（新垣）5回、琉球古典音楽研究Ⅱ（新垣）2回

令和4年

4月13日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（1）  
4月18日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（1）  
4月20日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（2）  
4月27日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（3）  
5月11日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（4）  
5月18日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（5）  
5月23日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（2）  
5月25日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（6）  
6月1日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（7）  
6月8日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（8）  
6月6日 地謡実技Ⅲ／新垣（1）  
6月13日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（3）・地謡実技Ⅲ／新垣（2）  
6月15日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（9）  
6月20日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（4）・地謡実技Ⅲ／新垣（3）  
6月22日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（10）  
6月27日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（5）・地謡実技Ⅲ／新垣（4）  
6月29日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（11）・琉球古典音楽研究Ⅱ／新垣（1）  
7月4日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（6）・地謡実技Ⅲ／新垣（5）  
7月6日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（12）  
7月13日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（13）・琉球古典音楽研究Ⅱ／新垣（2）  
7月18日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（7）  
7月20日 舞踊創作演習Ⅰ比嘉（14）  
7月25日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（8）  
7月27日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（15）

【後期】

授業実施回数 舞踊実技Ⅳ（比嘉）8回、総合実習Ⅱ・Ⅳ（比嘉、嘉数）10回  
地謡実技Ⅳ（新垣）5回、舞踊実技Ⅱ（嘉数）2回、舞踊実技Ⅳ（嘉数）2回

令和4年

10月3日 舞踊実技Ⅳ／比嘉（1）  
10月17日 舞踊実技Ⅳ／比嘉（2）  
10月24日 舞踊実技Ⅳ／比嘉（3）  
10月28日 総合実習Ⅱ・Ⅳ／比嘉、嘉数（1）  
11月7日 舞踊実技Ⅳ／比嘉（4）  
11月11日 総合実習Ⅱ・Ⅳ／比嘉、嘉数（2）  
11月18日 総合実習Ⅱ・Ⅳ／比嘉、嘉数（3）  
11月25日 総合実習Ⅱ・Ⅳ／比嘉、嘉数（4）  
11月28日 地謡実技Ⅳ／新垣（1）  
12月2日 総合実習Ⅱ・Ⅳ／比嘉、嘉数（5）  
12月5日 舞踊実技Ⅳ／比嘉（5）・地謡実技Ⅳ／新垣（2）  
12月12日 舞踊実技Ⅳ／比嘉（6）・地謡実技Ⅳ／新垣（3）  
12月16日 総合実習Ⅱ・Ⅳ／比嘉、嘉数（6）  
12月19日 舞踊実技Ⅳ／比嘉（7）・地謡実技Ⅳ／新垣（4）  
12月23日 総合実習Ⅱ・Ⅳ／比嘉、嘉数（7）  
12月26日 地謡実技Ⅳ／新垣（5）

令和5年

1月11日 舞踊実技Ⅳ／嘉数（1）  
1月18日 舞踊実技Ⅳ／嘉数（2）  
1月13日 総合実習Ⅱ・Ⅳ／比嘉、嘉数（8）  
1月23日 舞踊実技Ⅳ／比嘉（8）・舞踊実技Ⅱ／嘉数（1）  
1月27日 総合実習Ⅱ・Ⅳ／比嘉、嘉数（9）  
2月2日 舞踊実技Ⅱ／嘉数（2）  
2月3日 総合実習Ⅱ・Ⅳ／比嘉、嘉数（10）

令和4年度 しまくとぅば実践教育プログラム開発事業  
事業報告書

令和5年3月31日

編集 鈴木 耕太 喜屋武 愛香 金城 安恵

発行 沖縄県立芸術大学芸術文化研究所

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町 3-6

電話098-882-5040

事業委託者 琉球新報社 担当 滝本、池宮